



CDR-HD1300

HDD/CDレコーダー



ヤマハHDD/CDレコーダーCDR-HD1300をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。本機の優れた性能を十分に発揮させると共に、永年支障なくお使いいただくためにも、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。お読みになったあとは、保証書と共に保管してください。

保証書をご確認ください

保証書に販売店名、購入日などが記入されておりませんと、保証期間中でも万一サービスの必要がある場合に実費をいただくことがあります。

取扱説明書

安全上のご注意(安全に正しくお使いいただくために)

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

この「安全上のご注意」に書かれている内容には、お客様が購入された製品に含まれないものも記載されています。

絵表示の例



気をつけなければならない内容を表しています。
たとえば△は「感電注意」を示しています。



してはいけない行為を表しています。
たとえばⓧは「分解禁止」を示しています。



必ずしなければならない行為を表しています。
たとえばⓄは「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示しています。



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



プラグを抜く

下記の場合には、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- 異常なおいや音がある。
 - 煙が出る。
 - 内部に水や異物が混入した。
- そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない。

- 重いものを上に載せない。
 - ステープルで止めない。
 - 加工をしない。
 - 熱器具には近づけない。
 - 無理な力を加えない。
- 芯線がむき出しのまま使用すると、火災や感電の原因となります。



水ぬれ禁止

本機を下記の場所には設置しない。

- 浴室・台所・海岸・水辺
 - 加湿器を過度にきかせた部屋
 - 雨や雪、水がかかるところ
- 水滴の混入により火災や感電の原因となります。



接触禁止

雷がなりはじめたら電源プラグには触れない。

感電の原因となります。



分解禁止

分解・改造は厳禁。キャビネットは絶対に開けない。

火災や感電の原因となります。
修理・調整は販売店にご依頼ください。



禁止

放熱のため本機を設置する際には：

- 布やテーブルクロスをかけない。
 - じゅうたん・カーペットの上には設置しない。
 - あおむけや横倒しには設置しない。
 - 通気性の悪い狭いところへは押し込まない。
- (少なくとも本機の左右20cm、上30cm、背面10cm以上離して設置してください。)
本機の内部に熱がこもり火災の原因となります。



禁止

電池を充電しない。

電池の破裂や液もれにより火災やけがの原因となります。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



必ず行う

本機を落としたり、本機が破損した場合には、必ず販売店に点検を依頼してください。

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



必ず行う

必ずAC100V(50/60Hz)の電源電圧で使用する。

それ以外の電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



必ず行う

電源プラグのゴミやほこりは定期的にとり除く。

ほこりがたまったまま使用を続けるとプラグがショートして火災や感電の原因となります。



禁止

CDの挿入口や、背面にある放熱用の通風孔にもものを入れたり、落としたりしない。

火災や感電の原因となります。



禁止

本機の上には、花瓶・植木鉢・コップ・化粧品・薬品・ろうそくなどを置かない。

- 水や異物が中に入ると、火災や感電の原因となります。
- 接触面が経年変化を起こし、本機の外装を損傷する原因となります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。

本機が落下や転倒してけがの原因となることがあります。



禁止

直射日光のあたる場所や温度が異常に高くなる場所(暖房機のそばなど)には設置しない。

本機の外装が変形したり内部回路に悪影響が生じて、火災の原因となることがあります。



必ず行う

電源を入れる前や再生を始める前には、アンプの音量(ボリューム)を最小にする。

突然大きな音が出て聴力障害等の原因となることがあります。



プラグを抜く

長期間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

火災や感電の原因となることがあります。



接触禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。



禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードをひっぱらない。

コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

移動をするときには電源スイッチを切り、すべての接続をはずす。

- 接続機器が落下や転倒してけがの原因となることがあります。
- コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。



禁止

長時間音が歪んだ状態で使用しない。

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

大きな音で長時間ヘッドホンを使用しない。

聴力障害の原因となることがあります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



必ず行う

電池は極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に従って、正しく入れる。

間違えると破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

指定以外の電池は使用しない。また種類の異なる電池や新しい電池と古い電池をいっしょに混ぜて使用しない。

破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

電池と金属片をいっしょにポケットやバッグなどに入れて携帯、保管しない。

電池がショートし破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

電池を加熱・分解したり、火や水の中へ入れない。

破裂や液もれにより火災やけがの原因となることがあります。



禁止

ほこりや湿気の多い場所に設置しない。

ほこりの堆積によりショートして、火災や感電の原因となることがあります。



プラグを抜く

手入れをするときには、必ず電源プラグを抜いて行う。

感電の原因となることがあります。



注意

本機はデジタル信号を扱います。他の電気製品に障害をあたえるおそれがあります。

それらの製品とはできるだけ離して設置してください。



禁止

CDの挿入口には手を入れない。

本機のメカニズムに手を引き込まれ、けがの原因となることがあります。



必ず行う

電源プラグはコンセントに根もとまで確実に差し込む。

差し込みが不十分のまま使用すると感電したり、プラグにほこりが堆積して発熱や火災の原因となることがあります。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

電源プラグを差し込んだときゆるみがあるコンセントは使用しない。

感電や発熱・火災の原因となることがあります。



禁止

ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したCDは、使用しない。

CDは機器内で高速回転しますので、飛び散って、けがの原因となることがあります。



注意

環境温度が急激に変化したとき、本機に結露が発生することがあります。

正常に動作しないときには、電源を入れたまましばらく放置してください。



禁止

薬物厳禁

ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。

外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。



注意

年に一度くらいは内部の掃除を販売店にご依頼ください。

ほこりがたまったまま使用を続けると、火災や故障の原因となることがあります。



禁止

レーザー光源をのぞき込まない。

レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

デジタルオーディオインターフェース規格は民生用と業務用では異なります。本機は民生用のデジタルオーディオインターフェースに接続する目的で設計されています。業務用のデジタルオーディオインターフェース機器との接続は、本機の故障の原因となるばかりでなくスピーカーをいためる原因となることがあります。

ハードディスク(HDD)について

■ ご使用の前に

- 本機にはハードディスク(HDD)が搭載されていません。内蔵型HDDを別途お買い求めの上、正しく取り付けてください。取り付け方法等の詳細については、添付の別紙を参照ください。
- 本機で新しいHDDを使用するにはフォーマットが必要です。新しいHDDを取り付けた際のフォーマットのしかたについては、添付の別紙を参照ください。

■ HDDの容量について

以下は、HDDの容量と、本機で使用した場合の録音可能時間の関係を示したものです。

HDDの容量	録音可能時間
20GB	約30時間
40GB	約60時間
60GB	約90時間
80GB	約120時間

■ HDDの取扱いについて

- 本機に搭載するHDDは、実際にフォーマットしたCDR-HD1300本体でのみ読み書きができます。他のCDR-HD1300でフォーマットしたHDDを使用するには、そのHDDを使用したいCDR-HD1300で再度フォーマットする必要があります。フォーマットのしかたについてはP.85を参照ください。
- HDDは精密機器ですので、HDDまたはHDD取り付け後の本機に振動や衝撃を与えないよう、取扱いには十分にご注意ください。誤った取扱いをすると、HDD上のデータが破損したり、HDDが故障する原因となることがあります。
- 衝撃、振動により生じたデータの消去、破損については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

■ CDプレーヤーモード

HDDを搭載していない場合、本機の録音機能は動作しません。この場合、CD/CD-R/CD-RWの再生のみ可能となります。なおHDDを搭載しない場合は、電源を入れてから起動するまで若干時間がかかりますので、ご注意ください。

本取扱説明書について

■ 本書の構成と読み方

本書は以下のように構成されています。

はじめに

本機を使用する前の準備(リモコン、接続)について説明します。ご使用前に必ずお読みください。

HDDへのコピー・録音

CDからHDDへコピーする方法や、接続した外部機器からHDDへ録音する方法について説明します。『さらに進んだ使い方』では、応用的な機能および操作を説明しています。まず使ってみたい場合は、『さらに進んだ使い方』をとばしてお読みください。

編集

HDDへコピー・録音したデータを編集する方法について説明します。アルバム、トラック、ディスクというHDD上のデータのまとまりごとに説明されています。『編集メニュー一覧』で概要を把握することができますので、まずそちらを参照ください。

CD-R/CD-RWへのコピー・録音

HDDからCD-RまたはCD-RWへコピーする方法や、接続した外部機器からCD-RまたはCD-RWへ録音する方法について説明します。『さらに進んだ使い方』では、応用的な機能および操作を説明しています。まず使ってみたい場合は、『さらに進んだ使い方』をとばしてお読みください。

CDの複製

市販のCDをまるごと複製する方法を説明します。

再生

HDDにコピー・録音したデータや、作成したCDまたは市販のCDを再生する方法を説明します。

参考資料

本機のシステムに関する設定や、困ったときの対処の方法などを説明します。

■ 本書の記載について

- 本取扱説明書は製品開発に先がけ印刷されております。その後、操作性の向上、その他の理由により、製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。
- 説明の便宜上、文中のイラスト等が実際の製品と異なる場合があります。

本機の特長

- 最大10倍速でのCDからHDDへのコピー
- 最大8倍速でのHDDからCD-Rへのコピー
- 最大4倍速でのHDDからCD-RWへのコピー
- AudioMASTER™による高音質コピー(HDDからCD-Rへのコピー時のみ)
- 衛星放送等の長時間録音&外部タイマーを使用したタイマー録音対応

目次

はじめに

付属品	2
CD/CD-R/CD-RWについて	3
デジタル録音のルールとシステムについて	5
デジタル録音のルール	5
本機のシステム	5
HDD上のデータについて	6
各部の名称	7
フロントパネル	7
リモコン	8
ディスプレイ	10
ディスプレイの切り替え	11
リアパネル	12
接続する	12

HDDへのコピー・録音

CDからHDDへのコピー	14
CDの全曲をそのままコピーする	14
お好みの曲を選んでコピーする	16
さらに進んだ使い方	17
外部機器からHDDへの録音	20
デジタル機器から録音する	20
アナログ機器から録音する	21
外部タイマーを使用して録音する	22
録音レベルを調節する	24
さらに進んだ使い方	25

編集

編集メニュー一覧	29
アルバム編集	30
アルバム編集の操作	30
トラック編集	39
トラック編集の操作	39
ディスク編集	52
ディスク編集の操作	52
編集を取り消す(Undo)	58
ブックマークについて	59

CD-R/CD-RWへのコピー・録音

HDDからCD-R/CD-RWへのコピー	60
ひとつのグループの全曲をそのままコピーする	60
お好みの曲を選んでコピーする	62
高音質でコピーする	63
さらに進んだ使い方	64
外部機器からCD-R/CD-RWへの録音	67
さらに進んだ使い方	69
ファイナライズ	70
CD-RWの消去	71

CDの複製

CDの複製(Duplicate)	72
高音質で複製する	74

再生

再生	76
CDの再生	76
HDDの再生	76
聞きたい部分を探す(サーチ)	77
聞きたいグループを探す(グループスキップ)	77
聞きたい曲を探す(トラックスキップ)	78
オンスクリーン表示を見ながら選曲する	79
ヘッドホンを使って聞く	79
いろいろな再生のしかた	80
聞きたい部分を時間で探す(タイムサーチ)	80
プレイスタイルを設定する	80
聞きたい曲を繰り返し聞く(1曲リピート再生)	81
すべての曲を繰り返し聞く(全曲リピート再生)	82
順不同に聞く(ランダム再生)	82
曲の最初の部分だけを聞く(イントロ再生)	83
聞きたい曲を好きな順に聞く	83

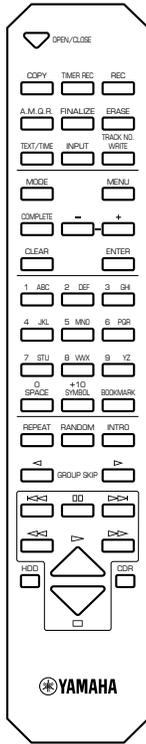
参考資料

DAC(デジタル/アナログ変換)モード	84
HDDユーティリティ	85
システムユーティリティ	86
オンスクリーン表示	89
メッセージ表示一覧	90
故障かな?と思ったら	92
製品情報のご案内	93
仕様	94
ヤマハホットラインサービスネットワーク	95

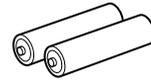
付属品

付属品がすべてそろっているか、確認してください。

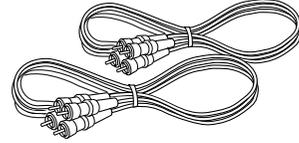
- リモコン



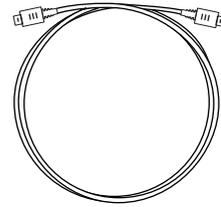
- 単3乾電池(2本)



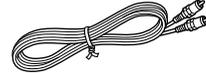
- ステレオピンケーブル(2本)



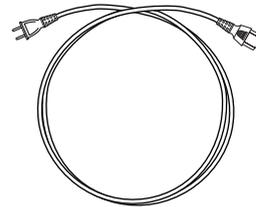
- 光ファイバーケーブル



- ビデオ用ピンケーブル



- 電源コード



■ 本機で録音できるディスクについて

本機の性能を十分に生かすために、信頼できるCD-RまたはCD-RWをご使用ください。

本機で録音する場合、下記のマークが付いたディスクを必ずご使用ください。



FOR CONSUMER
FOR CONSUMER USE
FOR MUSIC USE ONLY

■ 録音用ディスクについて

- CD-Rディスクは一度のみ録音が可能で、録音したデータの消去はできません。
- CD-RWディスクは録音、データの消去、新たな録音が何度でも可能です。

■ 本機で録音できないディスクについて

- 上記のマーク/表示が付いていないディスク
- パソコン用のデータを記録するためのディスク
- 「FOR PROFESSIONAL USE ONLY」と表示のあるプロフェッショナル用のディスク

■ 79分のCD-Rについて

市販されているCD-Rのパッケージに「80」という表示があるディスクの実際の録音時間は79分57秒です。本書ではパッケージに「80」の表示があるCD-Rを「79分のCD-R」と表現しています。

■ CD-R/CD-RWのファイナライズについて

CD-Rを一般のCDプレーヤーで再生したり、CD-RWをCD-RW対応プレーヤーで再生するためには、ファイナライズが必要です。ファイナライズすると、TOC(Table of Contents)がディスクに書き込まれます。

ファイナライズ済みのCD-R

- 一般のCDプレーヤーで再生することができます。
- 曲を追加して録音することはできません。
- ファイナライズ済みのCD-Rでも、CDプレーヤーによっては再生できない場合があります。

ファイナライズ済みのCD-RW

- 一般のCDプレーヤーでは再生ができません。本機のような、CD-RW対応プレーヤーでのみ再生が可能です。
- 録音した曲を消去したり、TOCを消去すれば追加録音も可能です。

■ データ消失などの責任について

本機の使用に伴い、HDD、CD-RまたはCD-RWに書き込んだデータの消失、破損などお客様に生じた逸失利益、特別な事情から生じた損害(損害発生につき弊社が予見、または予見し得た場合を含みます)および第三者からお客様に対してなされた損害賠償請求に基づく損害については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 本機で再生できるディスクについて

前記のマーク/表示のついたCD-R、CD-RW、下記のマークが付いた市販のCDをご使用ください。



注意

- CD規格に準拠しない特殊なディスクを使用すると、正常に動作しない場合があります。

■ AudioMASTER™でコピーしたCD-Rの再生について

AudioMASTER™はCD-Rへのコピー時の線速度を高めることにより、より音の品位が高いCDを作成します。この方式でコピーしたCD-RはCD規格を満足しておりますので、通常のCDプレーヤーで再生できます。

ただし、ごくまれに他のCDレコーダーでは正常に再生されない場合があります。

■ DVDプレーヤーでの再生について

ファイナライズ済みのCD-RまたはCD-RWをDVDプレーヤーで再生する場合、お手持ちのDVDプレーヤーがCD-RまたはCD-RWの再生に対応しているか、ご確認ください。

対応していない場合は、DVDプレーヤーでの再生はできません。

重要

- 本機のご使用に際しては、著作権法に抵触しないよう、ご注意ください。

著作権について

放送やレコード、ディスク、テープ、その他の録音物の音楽作品は、著作権法により保護されています。

したがって、それらから録音したディスクやテープを

- 売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合
- 営利(店のBGMなど)のために使用する場合は、権利者の許諾が必要です。

詳しい内容や申請、その他の手続きについては、下記までお尋ねください。

お問い合わせ先:

(社)日本音楽著作権協会(JASRAC)

TEL(03)3481-2121

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

お問い合わせ先:

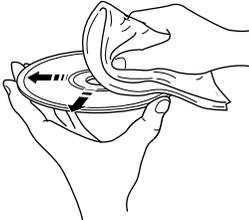
(社)私的録音補償金協会

TEL(03)5353-0336

■ ディスクの取り扱い

録音ができずに録音したデータが損なわれる、本機が故障する等の障害が発生する原因となるため、ディスクのお取り扱いに関して、以下の事項を必ずお守りください。

- 本機は     マークのあるコンパクトディスク (8cmのディスクを含む) をお使いください。本機ではCD-G、CD-ROM、VCD、CDV、DVDなどは再生できません。
- ディスクは本来、消耗しないようにできていますが、ディスクの取り扱い方によっては傷がつく場合があります。そのようなときは、正しく再生できないことがあります。
- CD-RやCD-RWのレーベル面に文字を書き込むときは、油性のフェルトペン等を使用してください。
- クリーニングディスクや歪んだディスクは使用しないでください。故障の原因となる場合があります。
- CD-RやCD-RWの記録面に、ほこりや指紋、傷などがあつたり、直射日光が当たると、録音や再生できなくなる場合がありますので、以下の点に特にご注意ください。
 1. できるだけディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。
 2. 使用後のディスクは必ずケースに入れて保管してください。
 3. 記録面に、指紋やほこりが付いたら、柔らかい布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。コンパクトディスクにはレコード盤のような音溝はありません。ホコリや汚れは柔らかい布で軽く拭き取るだけで十分です。



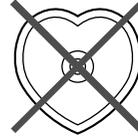
- レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。ディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。また、水で拭くことも避けてください。
- 直射日光の当たる場所や、高温多湿な場所に長時間置くとディスクが変形したり、変色したりして、使用できなくなる恐れがありますので、避けてください。

注意!



■ 本機の故障を防ぐために

- 規格外のディスクはご使用にならないでください。ハート型や花の形などの変形ディスク(シェイプCD)は、重量バランスがアンバランスであるため、ご使用にならないでください。規格外のコンパクトディスクを本機にセットしますと、正しく再生できないばかりでなく、ディスクトレイが開いたり、異音の発生や故障の原因となる場合があります。



- レーベル面に紙やシール(レーベル面用ラベルシート含む)などを貼ったり、ボールペン等の先の尖ったものや硬いもので文字を書かないでください。
- ディスクにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとがあるものはお使いにならないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となる場合があります。
- 8cmのディスクをご使用の場合、上に12cmのディスクを重ねて置かないようご注意ください。
- 市販のラベルプリンターで表面に印刷したディスクは使用しないでください。

デジタル録音のルール

■ SCMS – Serial Copy Management Systemについて

本機は、シリアルコピーマネージメントシステムの規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。

「シリアルコピーマネージメントシステム」は、各種デジタルオーディオ機器の間で、「デジタル信号をデジタル信号のまま録音」というデジタル信号同士のコピーを「1世代まで」と規制したものです。

デジタル入力で録音した音源は、それをを用いて次のデジタル録音をすることができません。

これには、次の2つの原則があります。

原則1

CDなど市販のデジタル音源は、本機へデジタルコピー（第1世代のコピー）ができます。ただし、それをを用いて、さらにデジタルコピーすることはできません。

原則2

本機のアナログ入力を経由して録音した音源は、それから次のデジタルコピー（第1世代のコピー）ができます。ただし、それをを用いて、さらにデジタルコピーすることはできません。

本機では、デジタル録音の際に、常にこのSCMSのステータスをトラックごとに監視しています。デジタル録音やコピーが禁止されているトラックは、それをを用いてのデジタル録音やコピーができません。

なお、アナログ入出力を経由してのアナログ録音やコピーには、この規制は適用されません。

本機でCDからHDD、またはHDDからCD-RまたはCD-RWへコピーする際は、「Copy Method」により、以下の選択ができます。

- Auto Dig/Anlg:
トラックごとにSCMSを判定し、デジタルコピーができない場合には、自動的にアナログコピーに切り替えます。
- Digital Copy:
デジタルコピーが可能なトラックのみコピーします。
- Digital Move:
HDDからCD-RまたはCD-RWへコピーする場合、Digital Copyでデジタルコピーが不可能なトラックもコピーすることができます（次項参照）。
- Analog Copy:
SCMSにかかわらず、アナログでコピーします。

■ Digital Move (デジタルムーブ)について

本機には、長時間の録音が可能な大容量のHDDが内蔵されています。いちどHDDに録音されたさまざまな音源をあとで編集して、CD-RまたはCD-RWにコピーすることにより、本機一台でオリジナルCDを作成できます。

HDD上で作成されたマスターをCD-RまたはCD-RWにデジタルのままコピーしたい場合、Digital Moveという機能を使用すると、SCMSで次のデジタルコピーが禁止されているトラックについて、デジタルのままHDDからCD-RまたはCD-RWへコピーすることができます。

ただし、データをHDDからCD-RまたはCD-RWへ移動させるという概念であるため、HDD上の元データは、その時点で消去されます。詳しくはP.65を参照ください。

本機のシステム

■ 録音できるディスクやトラックの数とその長さ

- ひとつのディスクに録音できるトラック数(曲数)は最大99曲です。
- すでに99曲が録音されている場合は、たとえ録音時間が余っていても、そのディスクには録音できません。
- トラックの最短時間は4秒です。4秒以内に録音を停止すると、4秒になるまで録音し停止します。また、最長時間は99分59秒です(HDDの場合)。
- 本機のHDDには、最大99曲が記録されたディスクを999個まで記録することが可能ですが、実際にはHDDの容量(総録音可能時間)により、記録できるディスク数は制限されます。
- HDD上のひとつのディスクの最長時間は99分59秒ですが、各トラックはフレーム単位(75フレーム=1秒)で管理されているため、トラックおよびディスクの最長時間は99分59秒から増減することがあります。
- CD-RまたはCD-RWに録音する際には、1トラック目の冒頭に自動的に2秒間の無音部分が付加されます。したがって、CD-RまたはCD-RWの録音可能総時間は2秒短くなります。

■ サンプリング周波数の変換について

- 本機のデジタル入力は、32kHz、44.1kHz、48kHz、96kHzのサンプリング周波数に対応しています。これらの入力は本機内部ですべてサンプリング周波数44.1kHz、16bitのデジタル信号に変換されて、HDDまたはCD-R、CD-RWに記録されます。
- アナログ入力も同様のデジタル信号に変換されて記録されます。
- 本機のデジタル出力は、サンプリング周波数44.1kHz、16bitのデジタル信号を出力します。

■ オーディオ以外の信号について

- 本機はオーディオ信号専用の録音機として設計されています。入力されたデジタル信号がオーディオ信号の場合に限り、録音可能です。
- CD TEXTが記録されているCDをHDDへコピーした場合、CD TEXTは、コピー禁止でなければ、自動的にコピーされます。外部CDプレーヤーから録音した場合には、いかなる場合でもCD TEXTはコピーされません。CD TEXTをコピーする場合には、内蔵ドライブを使用してください。
- CDグラフィックのように、デジタル信号にグラフィックデータが記録されている場合には、オーディオ信号以外のデータは記録されません。
- CD-ROM、DVDなどのオーディオ信号以外のデータを記録することはできません。

■ データ処理について

- データ処理のため、実際の曲のデータ以外に、少量のHDD容量を消費する場合があります。
- 本機のHDDには、最大999個のアルバムを記録できますが、アルバムを大量に記録した場合、編集する際の、データ処理速度が若干遅くなる場合があります。

HDD上のデータについて

本機に内蔵のHDDへ録音された曲には、以下のような概念で番号がつけられ整理されます。

ディスク

一回の連続した録音は、ディスクという単位で番号をつけて記録されます。本機のHDDには最大999個のディスクを記録することができます(ただし、HDDの容量により制限されることがあります)。ひとつのディスクの最長時間は99分59秒です。

トラック

ひとつのディスクには最大99曲のトラックを記録することができます(ただし、HDDの容量により制限されることがあります)。ひとつのトラックの最短時間は4秒、最長時間は99分59秒です。

アルバム

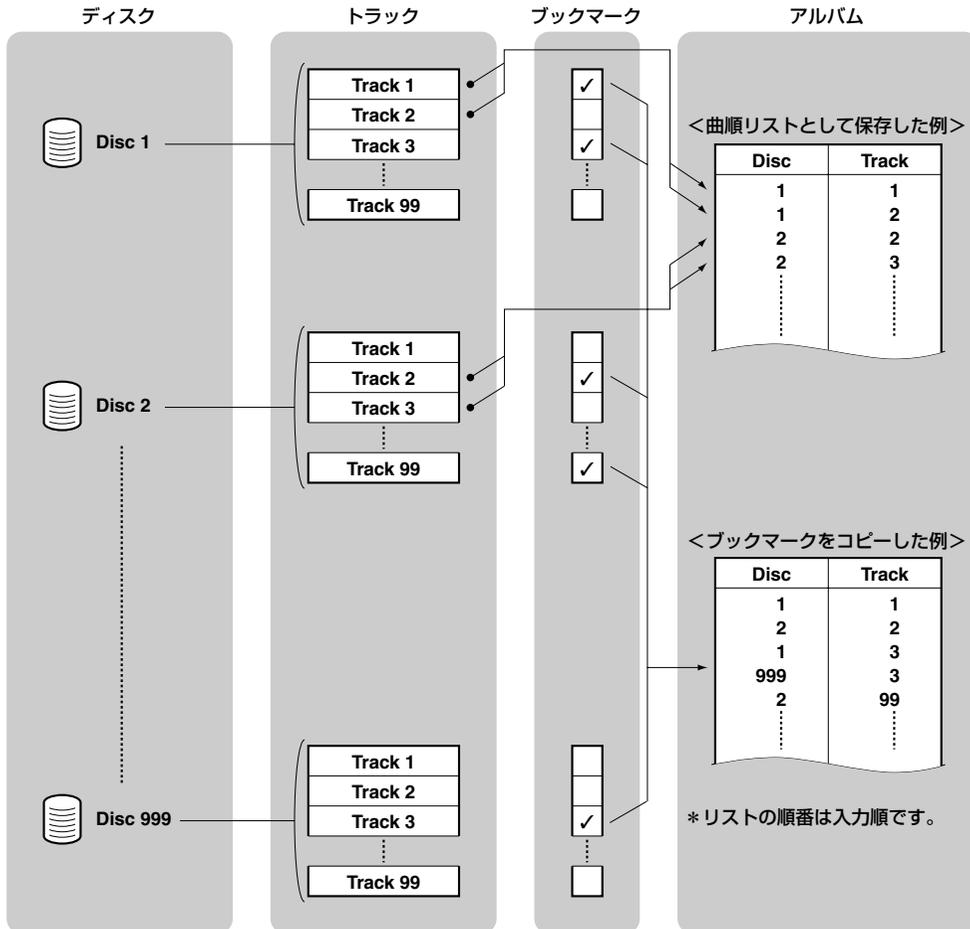
複数のディスクから曲を選択し、曲順リストとして保存したものをアルバムと呼びます。通常のCDプレーヤーの「プログラム」機能(好みの順番で曲を再生する機能)に相当するものです。本機のHDDには最大999個のアルバムを記録することができます。

ブックマーク

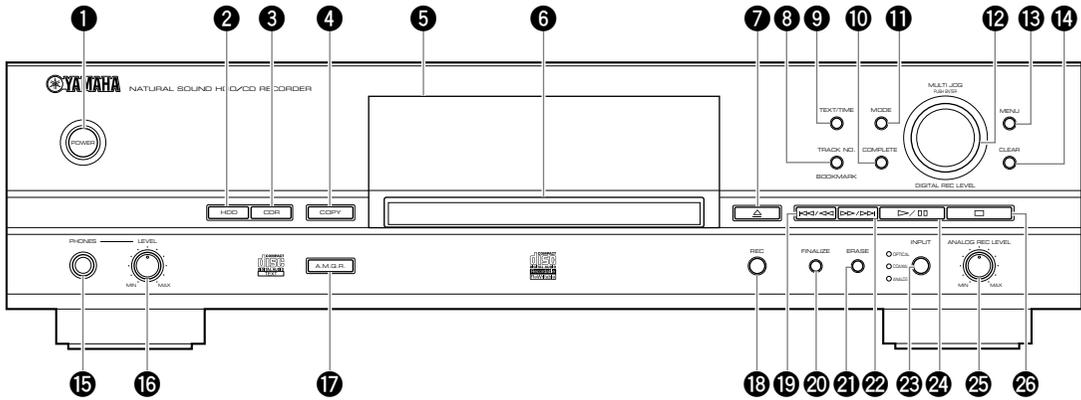
本機では曲を再生しながら、聞きたい曲や、アルバムに保存したい曲に一時的な印をつけることができます。印がつけられた曲のリストをブックマークと呼びます。一時的な印であるため、複数の保存ができませんが、ブックマークをアルバムにコピーすることにより、簡単にアルバムを作成できます。詳しくはP.32を参照ください。

グループ

ディスク、アルバム、ブックマークを総称してグループと呼びます。



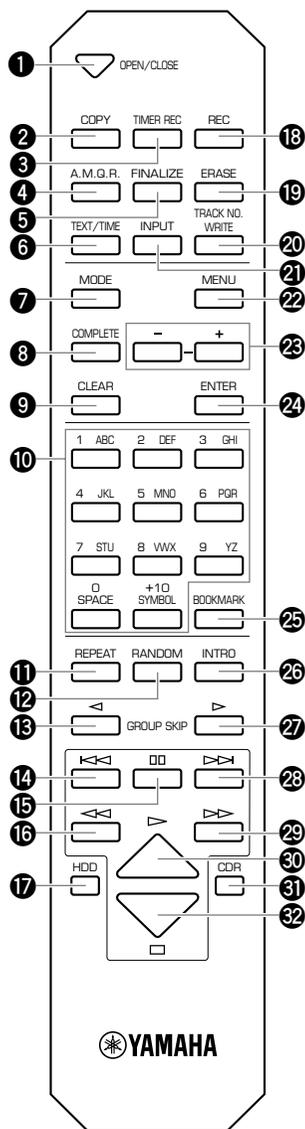
フロントパネル



- ① パワー POWERスイッチ
- ② ハードディスク HDDボタン
- ③ CDRボタン
- ④ コピー COPYボタン
- ⑤ ディスプレイ
- ⑥ ディスクトレイ
- ⑦ \triangle (ディスクトレイ開閉) ボタン
- ⑧ トラック ナンバー ブックマーク TRACK NO./BOOKMARK ボタン
- ⑨ テキスト タイム TEXT/TIME ボタン
- ⑩ コンプリート COMPLETE ボタン
- ⑪ モード MODE ボタン
- ⑫ マルチ ジョグ デジタル レック レベル MULTI JOG ノブ/DIGITAL REC LEVEL ツマミ
- ⑬ メニュー MENU ボタン

- ⑭ クリア CLEAR ボタン
- ⑮ フォンス PHONES ジャック
- ⑯ フォンス レベル PHONES LEVEL ツマミ
- ⑰ A.M.Q.R. ボタン
- ⑱ レック REC ボタン
- ⑲ \lll / \lll (スキップ/サーチ) ボタン
- ⑳ ファイナライズ FINALIZE ボタン
- ㉑ イレース ERASE ボタン
- ㉒ \ggg / \ggg (サーチ/スキップ) ボタン
- ㉓ インプット INPUT ボタン
- ㉔ \triangleright / \square (再生/一時停止) ボタン
- ㉕ アナログ レック レベル ANALOG REC LEVEL ツマミ
- ㉖ \square (停止) ボタン

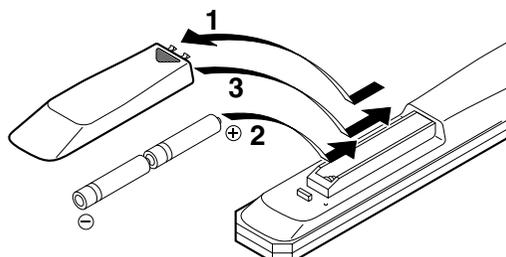
リモコン



- ① オープン クローズ OPEN/CLOSEボタン
- ② コピー COPYボタン
- ③ タイマー レック TIMER RECボタン
- ④ A.M.Q.R.ボタン
- ⑤ ファイナライズ FINALIZEボタン
- ⑥ テキスト タイム TEXT/TIMEボタン
- ⑦ モード MODEボタン
- ⑧ コンプリート COMPLETEボタン
- ⑨ クリア CLEARボタン
- ⑩ 英/数字ボタン
- ⑪ リピート REPEATボタン
- ⑫ ランダム RANDOMボタン
- ⑬ グループ スキップ GROUP SKIP ◀ボタン
- ⑭ ◀◀(トラックスキップ)ボタン
- ⑮ ◻◻(一時停止)ボタン
- ⑯ ◀◀(サーチ)ボタン
- ⑰ ハードディスク HDDボタン
- ⑱ レック RECボタン
- ⑲ イレース ERASEボタン
- ⑳ トラック ナンバー ライト TRACK NO. WRITEボタン
- ㉑ インプット INPUTボタン
- ㉒ メニュー MENUボタン
- ㉓ +、-ボタン
- ㉔ エンター ENTERボタン
- ㉕ ブックマーク BOOKMARKボタン
- ㉖ イントロ INTROボタン
- ㉗ グループ スキップ GROUP SKIP ▶ボタン
- ㉘ ▶▶(トラックスキップ)ボタン
- ㉙ ▶▶(サーチ)ボタン
- ㉚ ▶(再生)ボタン
- ㉛ CDRボタン
- ㉜ ◻(停止)ボタン

■ 電池交換のしかた

1. リモコンの裏のふたをはずします。
2. 単3乾電池を2個、プラス(+)とマイナス(-)の向きを確認して、表示どおりに正しく入れてください。
3. 電池をセットしたらカチッと音がするまでふたを閉めます。



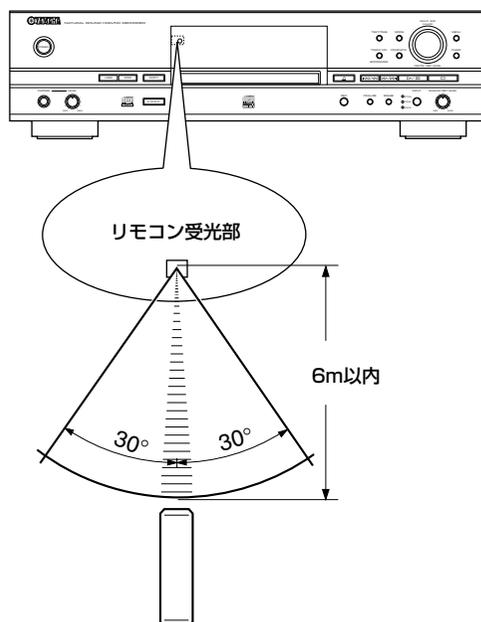
■ 電池交換の時期は？

リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。このときは、2本とも新しい電池に交換してください。

■ 乾電池についてのご注意

- 単3乾電池をご使用ください。
- 新しい電池と、一度使用したものを混ぜて使用しないでください。
- アルカリやマンガンなど、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 充電式の乾電池はご使用になれません。
- 電池のプラス(+)とマイナス(-)を金属片で直接つなぐこと(ショート)はしないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいてください。
- 万一液もれが起こったときは、電池入れについた液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。

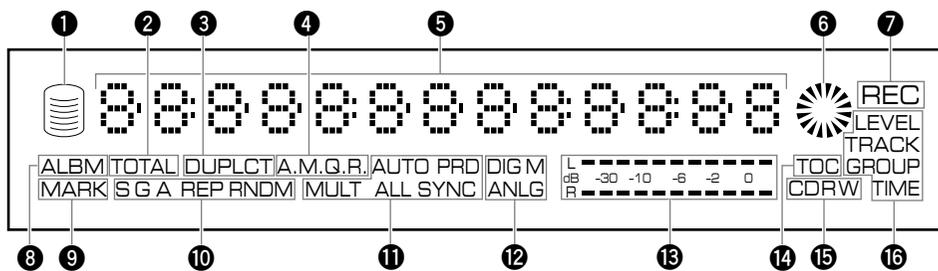
■ リモコンで操作できる範囲



ご注意

- 本機のリモコン操作によって誤動作をする機器があるときは、その機器の設置場所を変えてください。
- お茶や水をこぼしたり、落としたりしないでください。ストーブのそばや風呂場など、温度・湿度の高いところにも置かないようご注意ください。
- リモコン受光部に、直射日光や照明器具などの強い光が当たらないようご注意ください。強い光が当たっていると、リモコンが動作しなかったり、誤動作の原因となります。

ディスプレイ



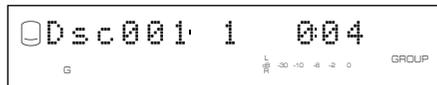
- ① HDDマーク
ハードディスク
- ② TOTALインジケータ
トータル
- ③ DUPLCTインジケータ
デュプリケート
- ④ A.M.Q.R.インジケータ
- ⑤ インフォメーションディスプレイ
- ⑥ CDRマーク
- ⑦ RECインジケータ
レック
- ⑧ ALBMインジケータ
アルバム
- ⑨ MARKインジケータ
マーク
- ⑩ 再生モード/プレイスタイルインジケータ
シングル
Sインジケータ
グループ
Gインジケータ
オール
Aインジケータ
リピート
REPインジケータ
ランダム
RNDMインジケータ
- ⑪ 録音/コピーモードインジケータ
オート
AUTOインジケータ
ピリオド
PRDインジケータ
マルチ
MULTインジケータ
オール
ALLインジケータ
シンクロ
SYNCインジケータ
- ⑫ コピー方式インジケータ
デジタル
DIGインジケータ
ムーブ
Mインジケータ
アナログ
ANLGインジケータ
- ⑬ レベルメータ
- ⑭ TOCインジケータ
トラック
- ⑮ CD-RWインジケータ
- ⑯ MULTI JOGステータスインジケータ
マルチ ジョグ
レベル
LEVELインジケータ
トラック
TRACKインジケータ
グループ
GROUPインジケータ
タイム
TIMEインジケータ

ディスプレイの切り替え

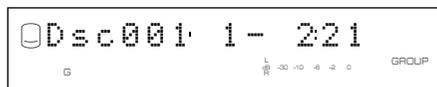
本機中央のディスプレイには、選択しているドライブ(HDDまたはCDRドライブ)についての情報が表示されます。TEXT/TIMEボタンを押すごとに、各表示が本機の動作状況にあわせて切り替わります。

■ HDD再生時の表示

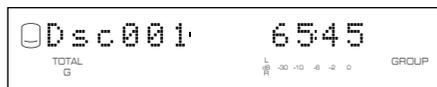
グループナンバー、トラックナンバーおよびトラック経過時間;



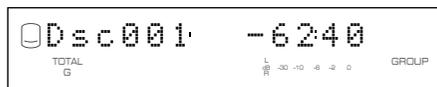
グループナンバー、トラックナンバーおよびトラック残り時間;



グループナンバーおよびグループ総時間;



グループナンバーおよびグループ残り時間;



グループタイトルまたはトラックタイトル;

グループタイトル



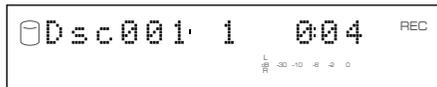
トラックタイトル



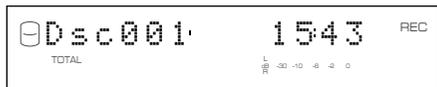
MULTI JOGノブを押すごとに、GROUPインジケーターとTRACKインジケーターが切り替わります。

■ HDD録音時の表示

ディスクナンバー、トラックナンバーおよびトラック経過時間;

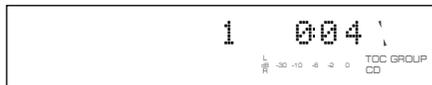


ディスクナンバーおよびディスク既録音時間;

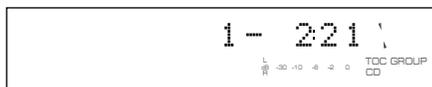


■ CD再生時の表示

トラックナンバーおよびトラック経過時間;



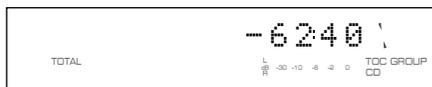
トラックナンバーおよびトラック残り時間;



ディスク総時間;



ディスク残り時間;

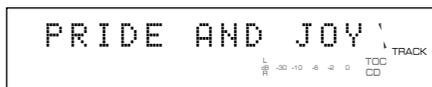


CD TEXT(記録されている場合);

ディスクタイトル



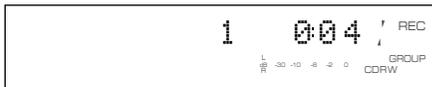
トラックタイトル



MULTI JOGノブを押すごとに、GROUPインジケーターとTRACKインジケーターが切り替わります。

■ CD-R/CD-RW録音時の表示

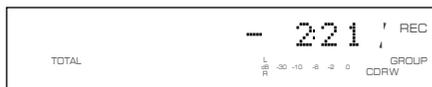
トラックナンバーおよびトラック経過時間;



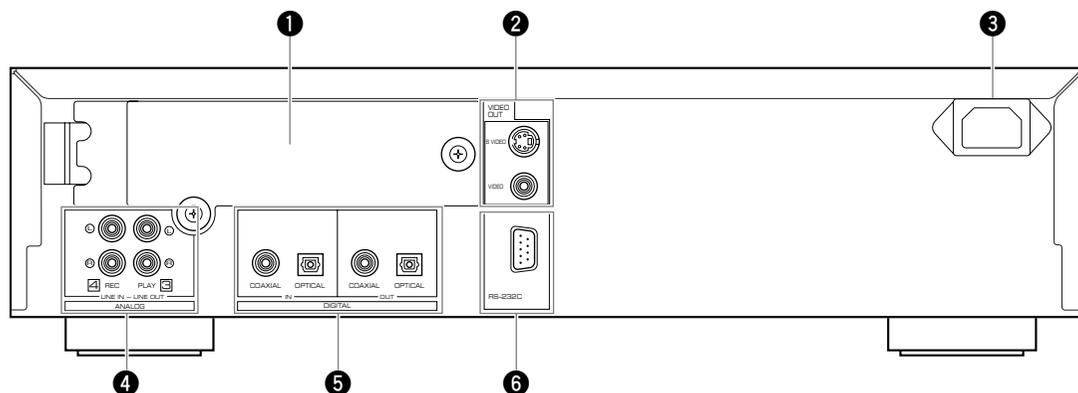
ディスク既録音時間;



ディスク録音可能残り時間;



リアパネル



- ① HDD用スロット
- ② ビデオ出力(VIDEO OUT)端子
Sビデオ(S VIDEO)端子
ビデオ(VIDEO)端子
- ③ 電源コード挿入口
- ④ アナログ入出力(ANALOG)端子
アナログ入力(LINE IN)端子
アナログ出力(LINE OUT)端子
- ⑤ デジタル入出力(DIGITAL)端子
同軸デジタル入力(COAXIAL IN)端子
光デジタル入力(OPTICAL IN)端子
同軸デジタル出力(COAXIAL OUT)端子
光デジタル出力(OPTICAL OUT)端子
- ⑥ RS-232C端子

接続する

接続を始める前に、必ず各機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

■ デジタル入出力端子を接続する

- 本機は光デジタル入出力端子と同軸デジタル入出力端子を装備しています。接続する機器にあわせて、光デジタル入出力端子または同軸デジタル入出力端子を接続してください。
- 光デジタル入出力端子を使って接続する場合は、光ファイバーケーブルを使用して接続します。本機の光デジタル入力端子は接続する各機器の光デジタル出力端子に、本機の光デジタル出力端子は接続する各機器の光デジタル入力端子に接続します。
- 同軸デジタル入出力端子を使って接続する場合は、同軸ケーブルを使用して接続します。本機と同軸デジタル入力端子は接続する各機器の同軸デジタル出力端子に、本機と同軸デジタル出力端子は接続する各機器の同軸デジタル入力端子に接続します。

■ アナログ入出力端子を接続する

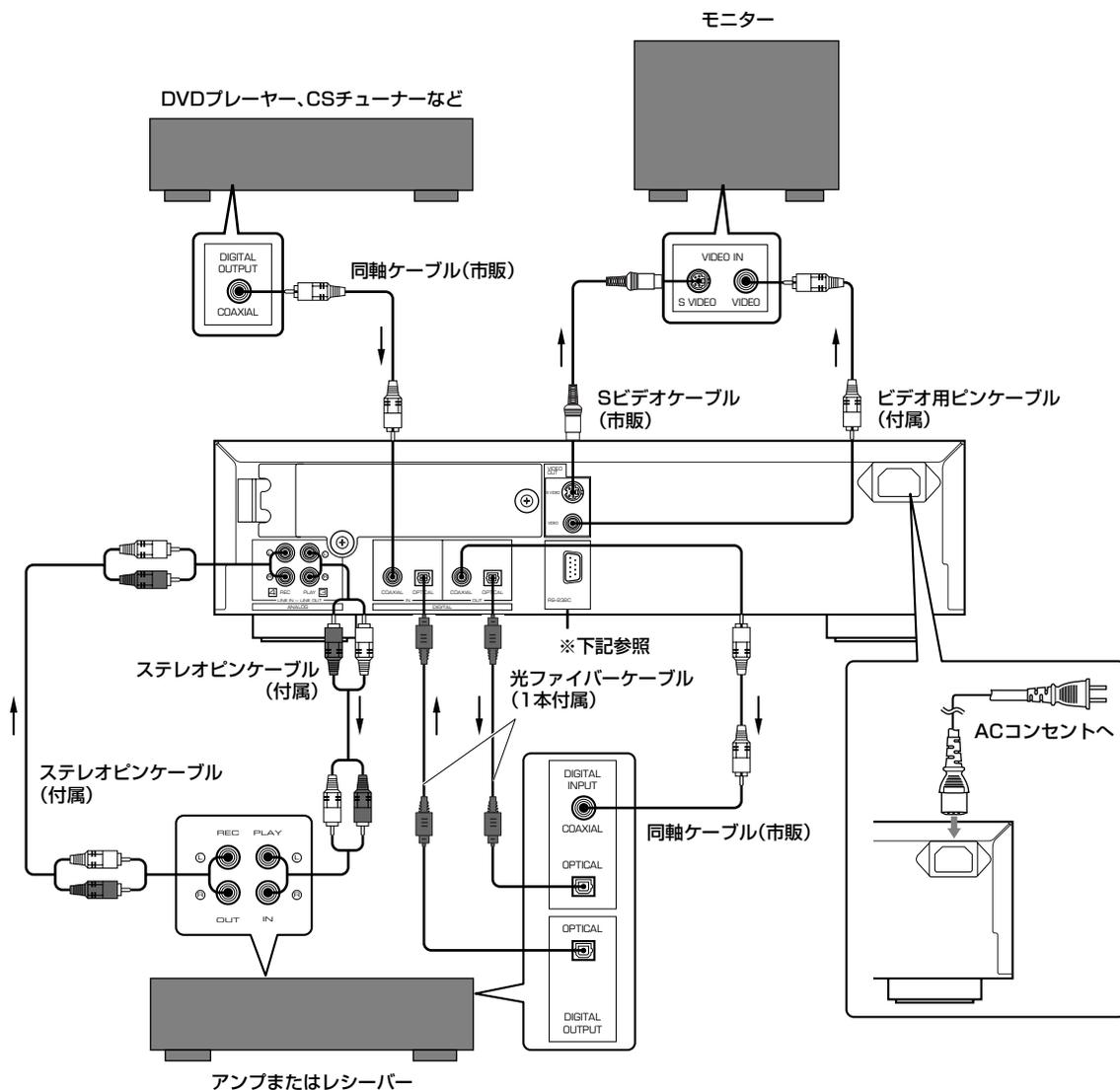
- 本機のアナログ入出力端子を、接続するアンプや各機器の入出力やチャンネル(L、R)をよく確認して正しく接続してください。
- 本機のアナログ入力端子は接続する各機器のアナログ出力端子に、本機のアナログ出力端子は接続する各機器のアナログ入力端子に接続します。
- 本機のアナログ入出力端子には③、④と番号がついています。弊社製のアンプ、レシーバーのアナログ入出力端子にも同じ番号がついていますので、弊社製のアンプ、レシーバーと接続する場合は、同じ番号がついている端子に接続してください。
- レコードプレーヤーを直接接続する場合は、市販のフォノイコライザーを接続してから、本機のアナログ入力端子に接続してください。

メモ

- HDD、CDの再生時には、アナログ/デジタル両出力端子から信号が出力されます。
- デジタル出力端子から出力される信号のうち、HDD再生時に出力される信号にはトラックマークの情報が付加されていません。この信号をMDレコーダー等で録音した場合、正しくトラックマークがつかないことがあります。

■ モニターの接続

- 本機にモニターを接続すると、再生するグループやトラックの一覧、コピー/録音時の設定等や各種設定項目の一覧を表示させることができます。お使いのモニターにあわせて、Sビデオ端子またはビデオ端子を接続してください。
- 市販のSビデオケーブルを使用して、本機のSビデオ端子とモニターのSビデオ入力端子を接続します。
- 付属のビデオ用ピンケーブルを使用して、本機のビデオ端子とモニターのビデオ入力端子を接続します。
- 下図の矢印(→)は信号の流れを示しています。



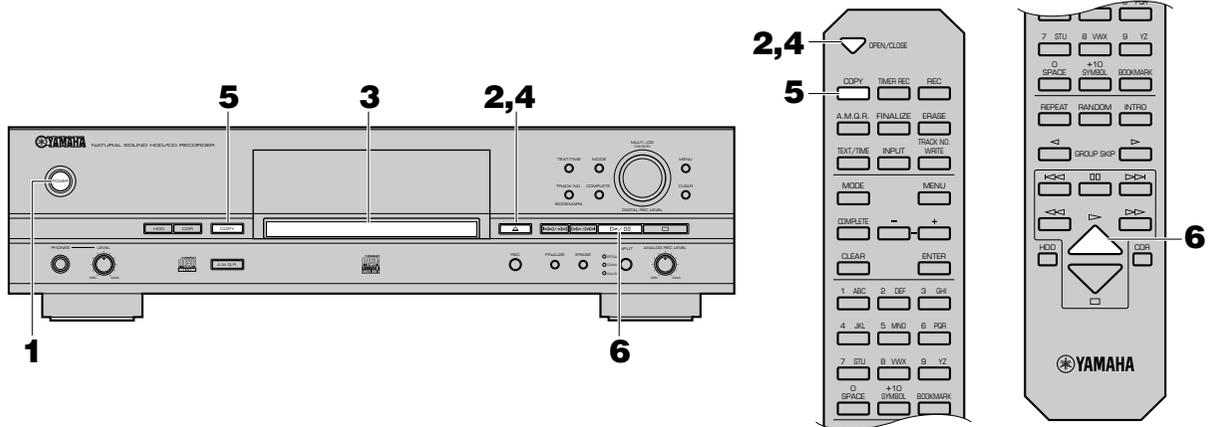
※将来、パーソナルコンピュータ等を接続するための端子です。パーソナルコンピュータ等の接続ソフト等がリリースされる場合には、ヤマハホームページでご案内いたします(P.93参照)。

■ 電源コードの接続

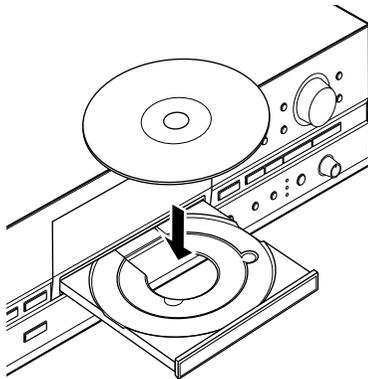
すべての接続が完了したら、電源コードを本機の電源コード挿入口にしっかりと差し込み、家庭用AC100V、50/60HzのACコンセントに電源プラグを接続します。
接続するときの電源プラグの向き(極性)によって音質が変わることがありますので、お好みの向きで接続してください。

CDの全曲をそのままコピーする

CDの全曲をHDDにコピーします。



1. 本体前面のPOWERスイッチを押して、電源を入れます。ディスプレイに"WELCOME TO YAMAHA HDD/CD SYSTEM"と表示されます。この表示が終わると、操作可能になります。
2. △ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、ディスクトレイを開きます。
3. コピー元のCDをトレイに置きます。ディスクトレイの溝にあわせ、レーベル面を上にしてCDを置きます。



4. △ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、ディスクトレイを閉じます。

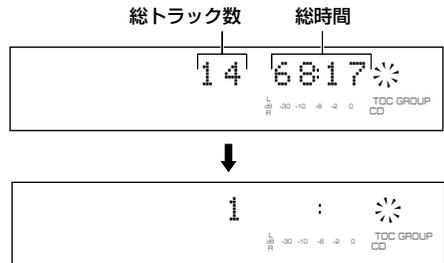
メモ

- ディスクトレイを静かに押しても、ディスクトレイは閉じません。この場合、CDの再生が始まってしまうので、□ボタンを押して再生を停止してください。

本機にCDを入れると、本機内部でCDの種類や容量を読み取ります。読み取り完了まで約10～15秒かかります。その間、ディスプレイには以下のように表示されます。

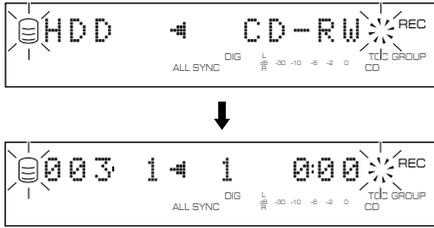


情報の読み取りが完了すると、ディスプレイには以下のように表示され、操作可能になります。

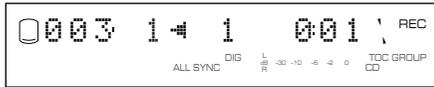


5. COPYボタンを1回押します。

ディスプレイには以下のように表示され、コピースタンバイ状態になります。この時点では、まだコピーは開始されません。

**6. コピーを開始します。**

▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、コピーが開始します。



以下の条件(初期設定)でコピーされます。

- Copy Method: Digital Copy
- Copy Level: OdB
- Copy Speed: Best Effort

設定を変更したい場合は、P.18『コピーメニューを設定する』を参照ください。

メモ

- コピーの準備のため、▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押してから、実際にコピーが開始されるまで多少時間がかかります。
- 本機は、高速でCDを回転させてコピーしますので、若干の振動および回転音が発生することがあります。このような場合は、コピー速度を落とすことにより、振動および回転音を小さくすることができます。(P.19『コピー速度を設定する』を参照ください。)

コピーの途中で中止するには、○ボタンを押してください。

コピーが終了すると、自動的にHDDとCDの動作が停止します。

CD TEXTの扱い

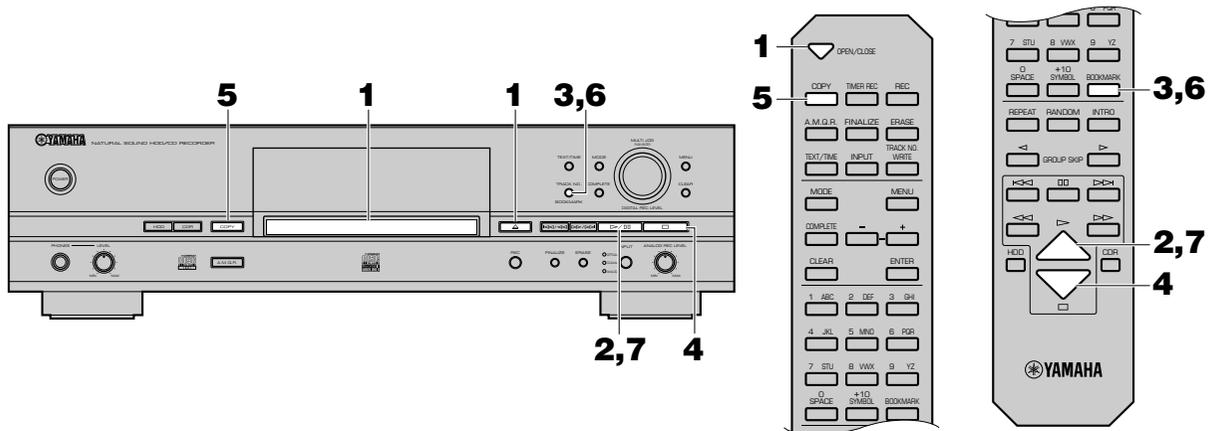
コピー元のCDに、コピー可能なCD TEXTがある場合は、コピー時に自動的にCD TEXTをコピーします。

コピー時の再生音の信号出力について

- 1倍速でコピーする場合には、アナログ/デジタル両出力端子から再生音の信号が出力されます。
- 2倍速でコピーする場合には、アナログ出力端子から速度に応じた再生音の信号が出力されます。(デジタル出力端子からは出力されません。)
- 4倍速以上でコピーする場合には、アナログ/デジタル両出力端子ともに再生音の信号は出力されません。

お好みの曲を選んでコピーする

CDの曲からお好みの曲を選んで、HDDにコピーします。



1. コピー元のCDを入れます。

△ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押してトレイを開き、レーベル面を上にして置きます。△ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押してトレイを閉めます。

2. CDの再生を開始します。

▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、一曲目から再生が始まります。

3. お好みのトラックの再生中に、TRACK NO./BOOKMARKボタン(リモコンではBOOKMARKボタン)を押します。ディスプレイにMARKインジケータが点灯します。



◀◀/◀◀または▶▶/▶▶ボタン(リモコンでは◀◀または▶▶ボタン)を押してトラックをスキップして、この操作を繰り返します。

ブックマークを解除するには

ブックマークをつけたトラックの再生中に、TRACK NO./BOOKMARKボタン(リモコンではBOOKMARKボタン)を押すと、MARKインジケータが消灯し、ブックマークが解除されます。

4. ブックマークをつけ終わったら、□ボタンを押して、再生を停止します。

ブックマークをつけた順番が曲順となり、保存されます。

すべてのブックマークを解除するには

停止中に本体のTRACK NO./BOOKMARKボタンを押しながらCLEARボタンを押すとディスプレイに"Bookmark Clr"と表示され、すべてのブックマークが解除されます。

メモ

- CDを取り出ししたり、本機の電源を切ると、そのCDでつけたブックマークはすべて解除されます。

5. COPYボタンを1回押します。

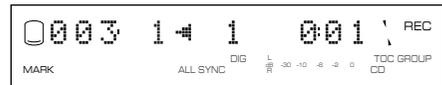
コピースタンバイ状態になります。この時点では、まだコピーは開始されません。

6. TRACK NO./BOOKMARKボタン(リモコンではBOOKMARKボタン)を押します。

ブックマークをつけた曲順リストが選択されます(MARKインジケータ点灯)。もう一度押すと、通常のコピースタンバイ状態に戻ります。

7. コピーを開始します。

▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、コピーが開始します。



メモ

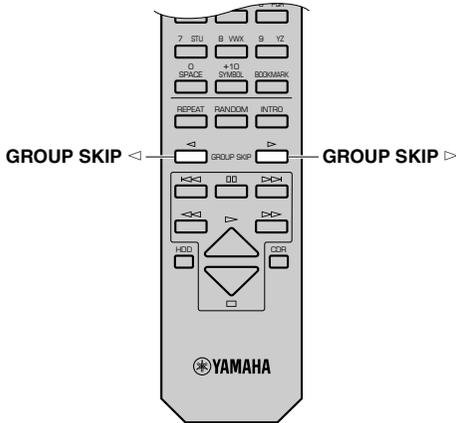
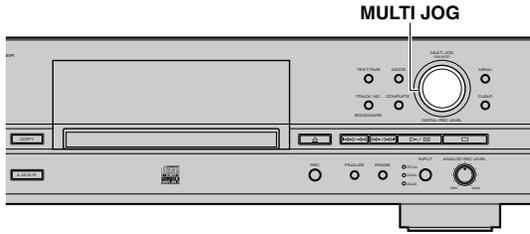
- コピーの準備のため、▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押してから、実際にコピーが開始されるまで多少時間がかかります。
- 本機は、高速でCDを回転させてコピーしますので、若干の振動および回転音が発生することがあります。このような場合は、コピー速度を落とすことにより、振動および回転音を小さくすることができます。(P.19『コピー速度を設定する』を参照ください。)

コピーの途中で中止するには、□ボタンを押してください。

コピーが終了すると、自動的にHDDとCDの動作が停止します。

さらに進んだ使い方

■ すでに録音されているディスクに追加コピーする



コピースタンバイ状態でMULTI JOGノブを回すと(リモコンではGROUP SKIP<ボタンまたはGROUP SKIP>ボタンを押すと)、コピー先のディスクナンバーを選択できます。



コピー先のディスクナンバー

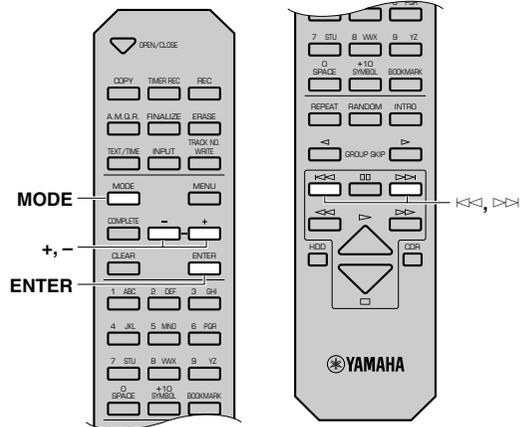
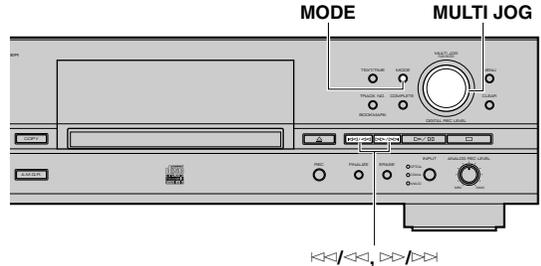
メモ

- この選択をしない場合は、HDD上の空いているディスクのうち、ディスクナンバーが最小のディスクにコピーされます。
- すでに曲が録音されているディスクを選択した場合、そのディスクの最終トラック以降へ追加記録されます。

■ コピーモードを設定する

本機には多様なコピーモードがあります。目的にあわせて適切なモードを選択してください。

初期設定: All Synchro



1. コピースタンバイ状態でMODEボタンを押します。コピーモードの選択に入ります。
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、コピーモードを選択します。以下のコピーモードから選択してください。

All Synchro(全曲シンクロコピー)

ソース側の再生と同期して全曲をコピーします。曲間を検出して自動的にトラックマークがつかます。

Multi Synchro(マルチシンクロコピー)

ソース側の再生と同期して指定した曲数をコピーします。曲数は最小1曲から最大99曲の範囲で指定できます。

3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、コピーモードを確定します。

"All Synchro"を確定した場合は、コピースタンバイ状態に戻ります。

"Multi Synchro"を確定した場合は、ディスプレイには以下のように表示されます。手順4へ進んでください。



4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、コピーする曲数を指定します。

最小1曲から最大99曲の範囲で指定できます。

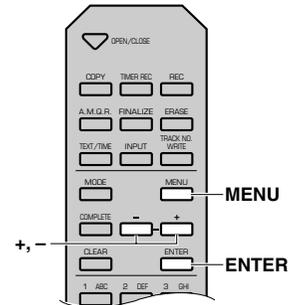
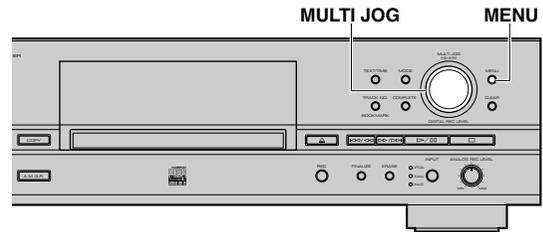
5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、確定します。

コピースタンバイ状態に戻ります。

6. <<</>>>または>>>/<<<ボタン(リモコンでは<<<または>>>ボタン)を押して、コピーを開始する曲を指定します。

■ コピーメニューを設定する

本機では、コピー時の詳細設定をコピーメニューにて設定することができます。以下の設定手順に従い、設定してください。



1. コピースタンバイ状態でMENUボタンを押します。
コピーメニューの設定に入ります。
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、設定したい項目を選択します。
設定できる項目は以下の3つです。
 - Copy Method(コピー方式の設定)
 - Copy Level(コピーレベルの設定)
 - Copy Speed(コピー速度の設定)
3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、設定したい項目を確定します。
4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、各項目を選択、設定してください。
各項目の選択、設定については、以下の各項目ごとの説明を参照してください。
5. 設定が終了したら、MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、設定を確定します。
6. MENUボタンを押して、メニューを終了します。
コピースタンバイ状態に戻ります。

■ コピー方式を設定する

コピーの方式を設定します。正しく設定しないと、コピーができない場合がありますので注意してください。



初期設定: Digital Copy

Digital Copy

常にデジタルコピーします。SCMS (P.5参照) により、デジタルコピーが禁止されているトラックは、コピーができません。

Auto Dig/Anlg

自動的にデジタルコピーするか、アナログコピーするかをトラックごとに切り替えます。SCMS (P.5参照) により、デジタルコピーが禁止されているトラックは、アナログコピーし、禁止されていないトラックはデジタルコピーします。

Analog Copy

常にアナログコピーします。

メモ

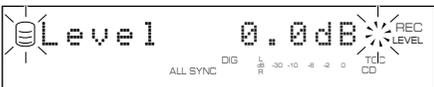
- アナログコピー時は、若干レベルが下がってコピーされる場合があります。
- 設定内容は記憶されて、次のコピー時にも適用されます。

■ コピーレベルを設定する

コピー時の音声レベルを設定します。通常、調節は不要ですが、必要に応じて調節することができます。



P.18『コピーメニューを設定する』の手順3で"Copy Level"を確定すると、ディスプレイには以下のように表示されます。



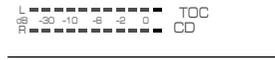
1. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、レベルを調節します。

-12dBから+12dBの範囲で、0.4dBステップで調節できます。

2. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、コピーレベルを確定します。

メモ

- コピー中はレベルの調節ができません。
- 最大音量時にピークレベルメーターの赤色の部分が点灯する場合は、いったんコピーを停止して、レベルを再調節してから再度コピーをしてください。



- レベルを調節すると、コピー速度は最大2倍速になります。

■ コピー速度を設定する

コピーする速度を設定します。



初期設定: Best Effort

Best Effort

コピー方式やコピーレベルの設定に応じた最大速度でコピーします。

- Digital Copy設定時: 最大10倍速
- Auto Dig/Anlg設定時: 最大2倍速
- Analog Copy設定時: 最大2倍速

1x Copy

コピー方式やコピーレベルの設定にかかわらず、等倍速でコピーします。

2x Copy

コピー方式やコピーレベルの設定にかかわらず、2倍速でコピーします。

メモ

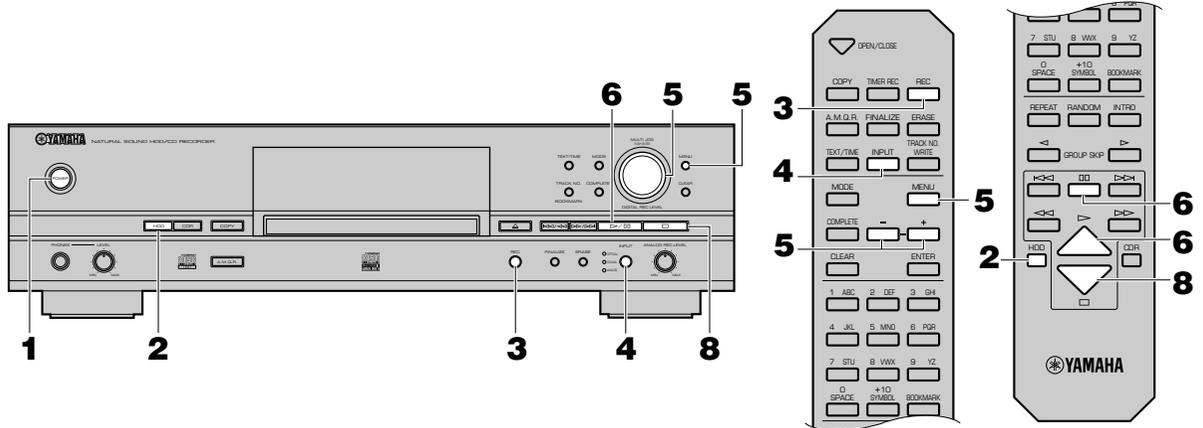
- "Best Effort"を選択した場合でも、CDの傷、よごれ等により、自動的にコピー速度が低下する場合があります。
- 設定内容は記憶されて、次のコピー時にも適用されます。

デジタル機器から録音する

CSチューナー、DVDプレーヤーなどデジタル接続された機器から録音します。

メモ

- HDDへの録音は、「ディスク」という単位で行われます。ひとつのディスクの最長時間は99分59秒です。これを超えて録音した場合には、自動的に次の空いているディスクに連続して録音します。

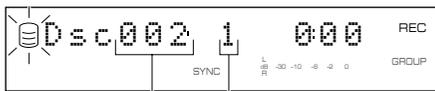


1. 本体前面のPOWERスイッチを押して、電源を入れます。
ディスプレイに"WELCOME TO YAMAHA HDD/CD SYSTEM"と表示されます。この表示が終わると、操作可能になります。

2. HDDボタンを押して、HDDを選択します。

3. RECボタンを押します。

HDDマークが点滅し、録音先のディスクナンバーとトラックナンバーが表示されます。この時点では、まだ録音は開始されません(録音一時停止状態)。



録音先のディスクナンバー 録音先のトラックナンバー

4. 録音する入力ソースを選択します。

OPTICALまたはCOAXIALインジケーターが点灯するまで、INPUTボタンを押します。

5. 録音レベルを調節します。

通常、デジタル録音時には調節は不要ですが、必要に応じて調節することができます。

録音するソースの一番大きい音の(レベルが高い)部分を再生してください。

MENUボタンを押すと、ディスプレイがレベル調節の表示になります。MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、レベルを調節します。レベルの調節が終わったら、MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、レベルを確定します。

メモ

- 録音レベルの調節は、最大音量時にピークレベルメーターの赤色の部分を点灯させない程度にしてください。

詳しくは、P.24「録音レベルを調節する」を参照ください。

6. 録音を開始します。

▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタンまたは00ボタン)を押すと、録音が始まります。



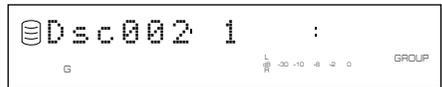
7. ソースを再生します。

録音を一時停止するには、▷/00ボタン(リモコンでは00ボタン)を押します。HDDマークが点滅し、トラックナンバーがひとつ繰り上がります。

録音を再び始めるには、▷/00ボタン(リモコンでは▷または00ボタン)を押します。

8. 録音を終えるには、□ボタンを押します。

ディスプレイには、録音が終わったディスクの最初のトラックナンバーが表示されます。



重要

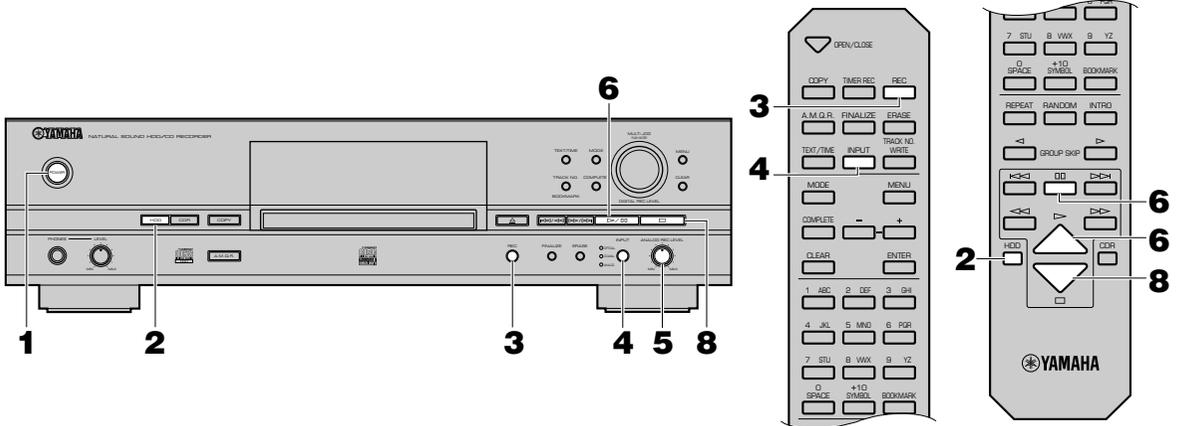
- 録音中に電源を切らないでください。正しく録音できなかったり、HDD上のデータが破損する原因となります。
- HDDが故障する原因となる場合があるので、録音中は衝撃や振動を本機に加えないでください。

アナログ機器から録音する

カセットデッキ、レコードプレーヤーなどアナログ接続された機器から録音します。

メモ

- HDDへの録音は、「ディスク」という単位で行われます。ひとつのディスクの最長時間は99分59秒です。これを超えて録音した場合には、自動的に次の空いているディスクに連続して録音します。



1. 本体前面のPOWERスイッチを押して、電源を入れます。

2. HDDボタンを押して、HDDを選択します。

3. RECボタンを押します。
録音一時停止状態になります。



4. 録音する入力ソースを選択します。
ANALOGインジケーターが点灯するまで、INPUTボタンを押します。

5. 録音レベルを調節します。
録音するソースの一番大きい音の(レベルが高い)部分を再生し、ANALOG REC LEVELツマミを回して、レベルを調節します。

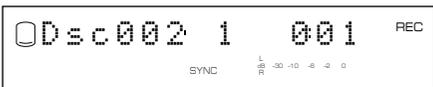
メモ

- 録音レベルの調節は、最大音量時にピークレベルメーターの赤色の部分を点灯させない程度にしてください。

詳しくは、P.24「録音レベルを調節する」を参照ください。

6. 録音を開始します。

▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタンまたは00ボタン)を押すと、録音が始まります。



7. ソースを再生します。

録音を一時停止するには、▷/00ボタン(リモコンでは00ボタン)を押します。HDDマークが点滅し、トラックナンバーがひとつ繰り上がります。

録音を再び始めるには、▷/00ボタン(リモコンでは▷または00ボタン)を押します。

8. 録音を終えるには、□ボタンを押します。

ディスプレイには、録音が終わったディスクの最初のトラックナンバーが表示されます。



重要

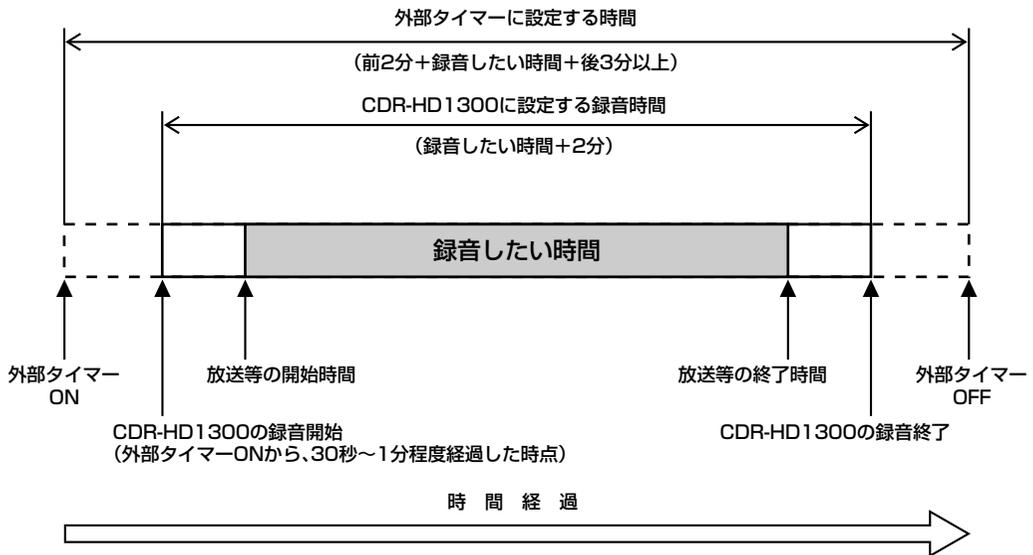
- 録音中に電源を切らないでください。正しく録音できなかったり、HDD上のデータが破損する原因となります。
- HDDが故障する原因となる場合があるので、録音中は衝撃や振動を本機に加えないでください。

外部タイマーを使用して録音する

■ 録音時間設定上のご注意

- 本機には時計機能が内蔵されていません。タイマー録音をおこなう場合、外部タイマーを使用してください。
- 外部タイマーにより本機の電源が入ってから、実際に録音が始まるまでには30秒から1分程度かかります(状況により変動します)。その間は録音されませんので、**外部タイマーにより電源を入れる時間は、録音したい放送等の開始時間から2分前に設定してください。**
- HDDレコーダーの特性として、録音する音声データのほかに、そのデータを管理するための情報を記録する必要があります。この管理情報は通常、録音が停止したときに記録されるため、録音停止前に電源が切れると、録音した音声データは記録されません。**外部タイマーにより電源を切る時間は、録音したい放送等の終了時間から3分以上後に設定してください。**
- 本機の録音トータル時間は、実際に録音したい時間に2分加えた時間を設定してください。

以下の図は、本機でタイマー録音するときの時間の流れを示したものです。



例: 9:00から10:00までの番組を録音する場合

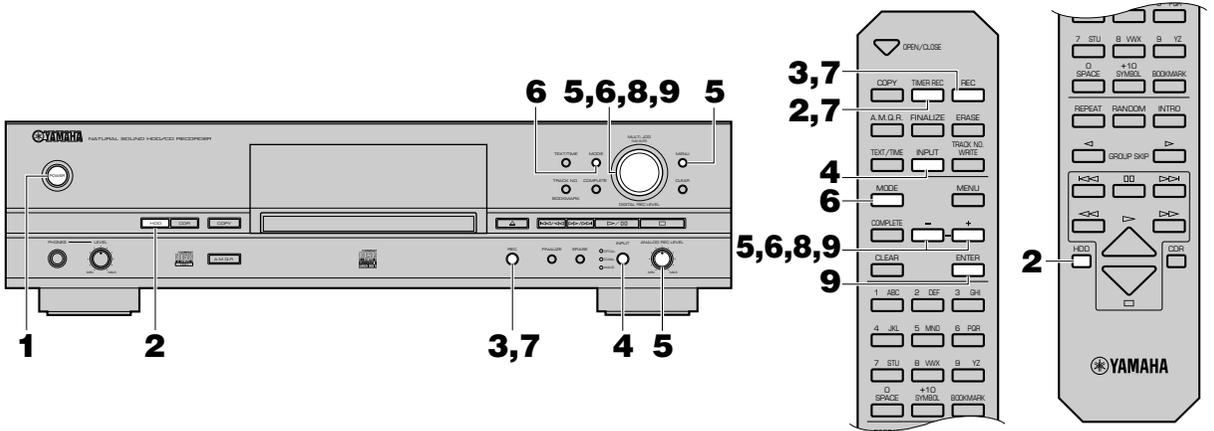
- 外部タイマーの電源が8:58に入るように設定します。
- 外部タイマーの電源が10:03以降に切れるように設定します。
- 本機の録音トータル時間は1時間2分に設定します。

メモ

- 実際録音されたものには、録音したい部分の前後に若干の余分な部分が録音されています。不要な部分は編集操作によって削除してください。
- タイマー録音中にデジタル入力信号の録音禁止信号(コピーガード信号など)が入力されると、録音が停止します。
- BSデジタル放送などのAAC信号が入力されると、録音が停止します。BSデジタル放送を録音する場合は、チューナーのデジタル出力設定をPCM固定にしてください。
- 録音トータル時間を99分59秒以上に設定した場合、複数のディスクにまたがって録音されます。録音した内容を連続して再生するには、P.80『プレイスタイルを設定する』でプレイスタイルを"Style All"に設定してください。

タイマー録音の設定のしかたは、次のページを参照してください。

■ タイマー録音の設定のしかた



1. 本体前面のPOWERスイッチを押して、電源を入れます。

2. HDDボタンを押して、HDDを選択します。

メモ

- タイマー録音の設定は、CD-RまたはCD-RWへの録音時には設定できません。
- リモコンのTIMER RECボタンを押して、直接手順7以降のトータル時間の設定に入ることもできます。

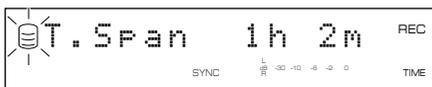
3. RECボタンを押します。
録音一時停止状態になります。

4. 録音する入力ソースを選択します。
INPUTボタンを押して、録音する入力ソースをOPTICAL、COAXIAL、ANALOGから選択します。

5. 録音レベルを調整します。
P.24「録音レベルを調節する」を参照してください。

6. 録音モードの選択をします。
マニュアル録音、トラックシンクロ録音、オートピリオド録音のいずれかを選択してください。これら以外の録音モードを選択した場合には、タイマー録音の設定はできません。

7. RECボタンを約3秒間押しつづけます(リモコンではTIMER RECボタンを押します)。
ディスプレイには以下のように表示され、タイマー録音するトータル時間の設定に入ります。



8. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、タイマー録音するトータル時間を設定します。
1分ステップで、録音可能最大時間までの範囲で設定できます。

9. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、タイマー録音するトータル時間を確定します。
ディスプレイには"Timer Standby"と表示されます。



タイマー録音の設定を解除するには、ロボタンを押します。

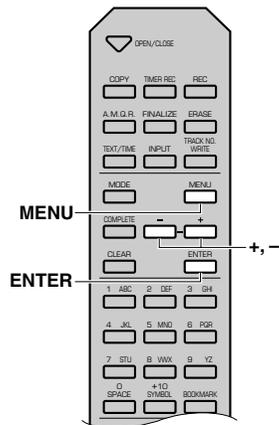
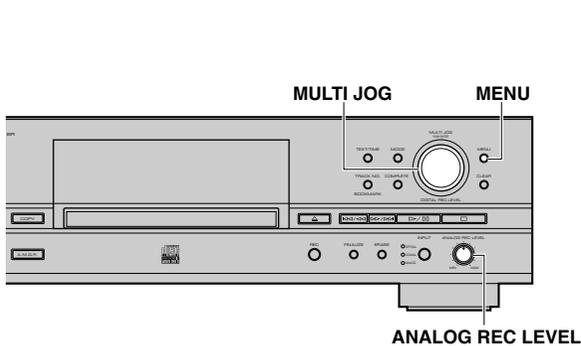
10. 本機の電源を入れたまま、外部タイマーによって電源を切ります。
外部タイマーにより再度電源が入ると、"Timer Standby"が約5秒間点滅したあと、設定にしたがって録音が始まります。

メモ

- タイマー録音を一度設定すると、電源が入るたびに録音が始まります。設定を解除したいときは、"Timer Standby"が点滅している間にロボタンを押すか、録音中にロボタンを押してください。

録音レベルを調節する

録音する入力ソース別に調節手順があります。録音する入力ソースに合わせて、下記の手順を参照してください。

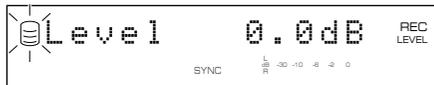


■ デジタル入力ソースを録音する場合

デジタル入力ソースの録音レベルは、デジタルソースの基準レベルのまま録音する0dBに初期設定されています。通常、調節は不要ですが、必要に応じて調節することができます。

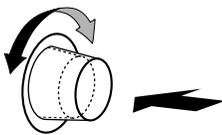
1. 録音一時停止状態でMENUボタンを押します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



2. 録音する入力ソースの一番大きい音の(レベルが高い)部分を再生します。

3. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、レベルを調節します。



-12dBから+12dBの範囲で、0.4dBステップで調節できます。

録音レベルの調節は、最大音量時にピークレベルメーターの赤色の部分を点灯させない程度にしてください。



4. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押すと、もとの表示に戻ります。

メモ

- 録音一時停止中、録音中にかかわらず、レベルの調節ができます。いったんストップすると0dBにリセットされます。
- 録音一時停止中にレベルを調節しているとき、MENUボタンを押すと、レベル調節がキャンセルされ、ディスプレイがもとの表示に戻ります。
- 録音一時停止中にレベルを調節しているとき、CLEARボタンを押すと、レベルが0dBに設定されます。

■ アナログ入力ソースを録音する場合

1. 録音する入力ソースの一番大きい音の(レベルが高い)部分を再生します。

2. ANALOG REC LEVELツマミを回して、レベルを調節します。

ツマミを右に回すとレベルが大きくなり、左に回すとレベルが小さくなります。

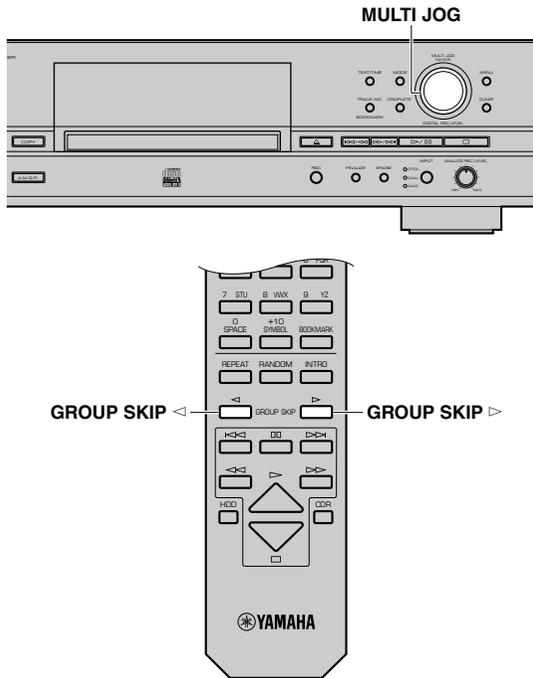
録音レベルの調節は、最大音量時にピークレベルメーターの赤色の部分を点灯させない程度にしてください。

メモ

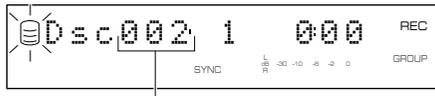
- 録音一時停止中、録音中にかかわらず、レベルの調節ができます。

さらに進んだ使い方

■すでに録音されているディスクに追加録音する



録音一時停止状態でMULTI JOGノブを回すと(リモコンではGROUP SKIP<ボタンまたはGROUP SKIP>ボタンを押すと)、録音先のディスクナンバーを選択できます。



録音先のディスクナンバー

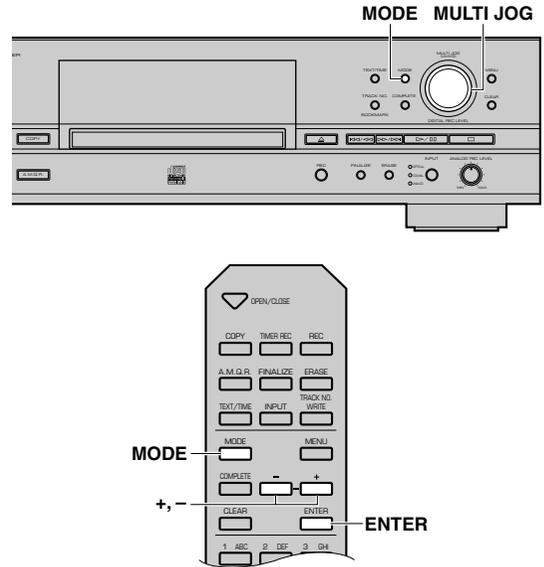
メモ

- この選択をしない場合は、HDD上の空いているディスクのうち、ディスクナンバーが最小のディスクに録音されます。
- すでに曲が録音されているディスクを選択した場合、そのディスクの最終トラック以降へ追加録音されます。

■録音モードを設定する

本機には多様な録音モードがあります。目的にあわせて適切なモードを選択してください。

初期設定: Track Synchro



1. 録音一時停止状態でMODEボタンを押します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、録音モードを選択します。

以下の録音モードから選択してください。

Manual(マニュアル録音)

録音開始、停止、トラックマーキング等すべての録音操作は、マニュアルで行います。

Track Synchro(トラックシンクロ録音)

録音開始および停止操作のみマニュアルで行います。トラックマークは曲間を検出して自動的につきます。

Multi Synchro(マルチシンクロ録音)

ソース側の再生と同期して指定した曲数を録音します。曲数は最小1曲から最大99曲の範囲で指定できます。いろいろなソースからお好みの曲だけを録音するときに便利です。

All Synchro(全曲シンクロ録音)

ソース側の再生と同期して全曲を録音します。曲間を検出して自動的にトラックマークがつきます。

Auto Period(オートピリオド録音)

指定した時間間隔で、トラックマークをつけながら、指定したトータル時間分を録音します。トラックマークをつける時間間隔は最短10秒から最長30分の範囲で、10秒ステップで指定できます。FM放送などの録音内容をサーチするときなどに便利です。

3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、録音モードを確定します。

"Manual"、"Track Synchro"および"All Synchro"を確定した場合は、録音一時停止状態に戻ります。

"Multi Synchro"を確定した場合は、ディスプレイには以下のように表示されます。手順4、5にしたがって設定します。



"Auto Period"を確定した場合は、ディスプレイには以下のように表示されます。手順6～9にしたがって設定します。



4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、曲数を指定します。

最小1曲から最大99曲の範囲で指定できます。

5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、指定する曲数を確定します。

録音一時停止状態に戻ります。

6. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、トラックマークをつける時間間隔を指定します。

最短10秒から最長30分の範囲で、10秒ステップで指定できます。

7. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、トラックマークをつける時間間隔を確定します。

ディスプレイには以下のように表示され、録音するトータル時間の指定に入ります。



8. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、録音するトータル時間を指定します。

9. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、録音するトータル時間を確定します。

録音一時停止状態に戻ります。

メモ

- オートピリオド録音時に、グループ残り時間がトラックマークをつける時間間隔に満たない場合は、自動的に次の空いているディスクに連続して録音します。
- オートピリオドで録音した場合にはフレーム単位で若干の誤差が生じるため、録音終了後の各トラック時間およびグループ総時間の表示が、指定した時間間隔およびトータル時間と合わないことがあります。

■ シンクロ録音時の条件を設定する

曲間を自動検出してトラックマークをつける、トラックシンクロ、マルチシンクロおよび全曲シンクロ録音時の、曲間の検出条件を設定することができます。設定項目は以下のとおりです。

OPT TH Level

光デジタル入力端子への信号を"信号なし"と判断する信号レベルを設定します。

初期設定: -50dB、可変範囲: -90~-20dB

COAX TH Level

同軸デジタル入力端子への信号を"信号なし"と判断する信号レベルを設定します。

初期設定: -50dB、可変範囲: -90~-20dB

ANLG TH Level

アナログ入力端子への信号を"信号なし"と判断する信号レベルを設定します。

初期設定: -40dB、可変範囲: -60~-20dB

Int. Time

曲間を判断する、"信号なし"(無音状態)の時間の長さを設定します。設定した時間分の無音状態が続くと、曲間と判断し、トラックマークをつけます。

初期設定: 2.0sec、可変範囲: 0.5~5.0sec

End Duration

全曲シンクロ録音時にソース再生の終了を判断する、"信号なし"(無音状態)の時間の長さを設定します。設定した時間分の無音状態が続くと、録音が終了します。

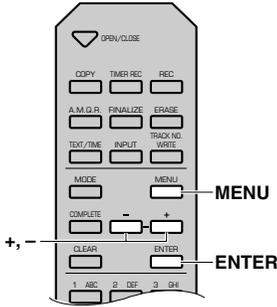
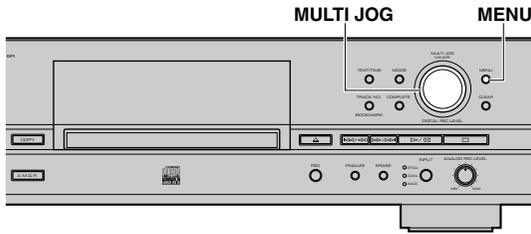
初期設定: 12.0sec、可変範囲: 2.0~60.0sec

メモ

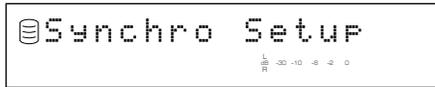
- "Int. Time"および"End Duration"の設定は、各入力端子共通で適用されます。

設定のしかたは、次のページを参照してください。

■ シンクロ録音時の条件設定のしかた



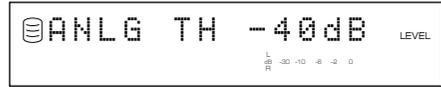
1. 停止状態でMENUボタンを押します。
ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Synchro Setup”を選択します。



3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押します。
ディスプレイが設定項目選択の表示になります。
4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、設定項目を選択します。
5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、設定項目を確定します。
"OPT TH Level"、“COAX TH Level”、“ANLG TH Level”を確定した場合は、手順6、7にしたがって設定します。
"Int. Time"、“End Duration”を確定した場合は、手順8、9にしたがって設定します。

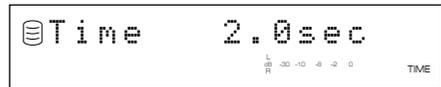
6. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、レベルを設定します。
1dBステップで設定できます。

例: "ANLG TH Level"を設定する場合



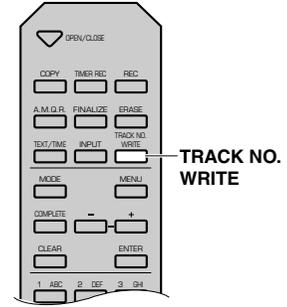
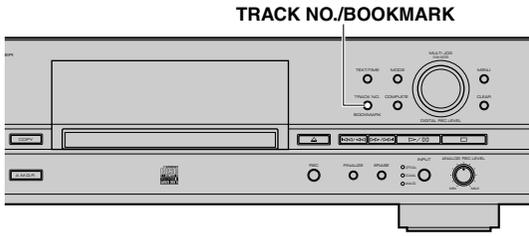
7. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、レベルを確定します。
ディスプレイが設定項目選択の表示に戻ります。
8. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、時間間隔を設定します。
"Int. Time"は0.5secステップで、“End Duration”は1.0secステップで設定できます。

例: "Int. Time"を設定する場合



9. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、時間間隔を確定します。
ディスプレイが設定項目選択の表示に戻ります。
- メニューを終了し、通常の停止状態に戻るには、MENUボタンを2回押します。

■ 録音中に曲番をつける (マニュアルマーキング)



本機は自動的に曲番をつけて録音しますが、録音中に自分で曲番をつけることができます(マニュアルマーキング)。

録音中、TRACK NO./BOOKMARKボタン(リモコンではTRACK NO. WRITEボタン)を押します。

- TRACK NO./BOOKMARKボタン(リモコンではTRACK NO. WRITEボタン)を押した箇所に、トラックマークが追加されます。
- マニュアルマーキングはトラックの先頭から5秒間録音したところで有効になります。また、99曲以上はひとつのディスクに記録できません。ディスクに録音残り時間がある場合でも、99曲トラックマークがついていると、それ以上追加して録音できません。

メモ

- 再生する機器によっては、シンクロ録音時でも、トラックマークが正しくつかない場合があります。この場合は、マニュアルでトラックマークをつけてください。
- シンクロ録音中もマニュアルでトラックマークをつけることができます。
- すでにHDDに録音されているトラックの途中で曲番をつけるには、P.46『Track Divide』でトラックを分割することにより、トラックの途中で新しい曲番をつけることができます。

編集メニュー一覧

HDDに記録されたアルバム、トラック、ディスクに対して、様々な編集をすることができます。編集メニューは以下の通りです。

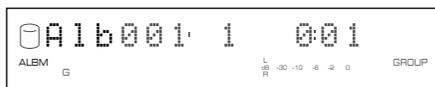
メニュー項目	メニュー内容	再生中の選択 ※	ページ	
Album Edit	Album New	新規アルバムを作成します。	—	31
	Edit Stored	すでに作成されているアルバムを編集します。	—	31、32
	Album Copy	他のグループをアルバムとしてコピーします。	—	32
	Album Rename	アルバムナンバーをつけかえます。	—	33
	Album Delete	アルバムを削除します。	○	33
	Album Pack	アルバムナンバーを前につめます。	—	34
	Album Title	アルバムにタイトルをつけます。	○	34、35
	Track Shuffle	アルバム内の、トラックの順番を変更します。	○	35、36
	Track Level	アルバム内の、トラックの音声レベルを調整します。	○	36、37
	Tr. Interval	アルバム内の、各トラックの間隔を調整します。	○	38
Track Edit	Track Rename	トラックナンバーをつけかえます。	○	40
	Track Adjust	トラックの開始位置を調節します。	○	41、42
	Track Erase	トラックを消去します。	○	42
	Part Erase	トラックの一部を消去します。	○	43、44
	Track Combine	連続したトラックを結合します。	○	45
	Track Divide	ひとつのトラックをふたつに分割します。	○	46、47
	Track Pack	トラックナンバーを前につめます。	—	47
	Add Fade In	トラックの先頭にフェードイン効果を付加します。	○	48、49
	Add Fade Out	トラックの末尾にフェードアウト効果を付加します。	○	49、50
	Track Title	トラックにタイトルをつけます。	○	50、51
Disc Edit	Disc Rename	ディスクナンバーをつけかえます。	○	53
	Disc Erase	ディスクを消去します。	○	54
	Disc Combine	連続したディスクを結合します。	○	54、55
	Disc Divide	ひとつのディスクをふたつに分割します。	○	55、56
	Disc Pack	ディスクナンバーを前につめます。	—	56
Disc Title	ディスクにタイトルをつけます。	○	57	
Undo	編集操作を取り消します。	—	58	

※再生中に選択できる項目については、○印がついています。

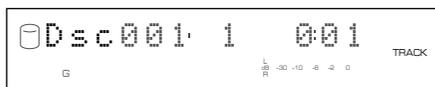
■ 再生中のメニュー選択について

再生の状態によって、選択できるメニューが以下のように変わります。

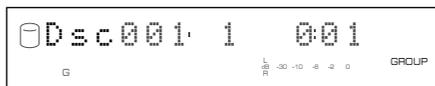
- アルバム再生中には、上記Album Editの○印がついた項目を選択できます。



- ディスク再生中でTRACKインジケータ点灯時には、上記Track Editの○印がついた項目を選択できます。



- ディスク再生中でGROUPインジケータ点灯時には、上記Disc Editの○印がついた項目を選択できます。



- ブックマーク再生中には、いずれの項目も選択できません。

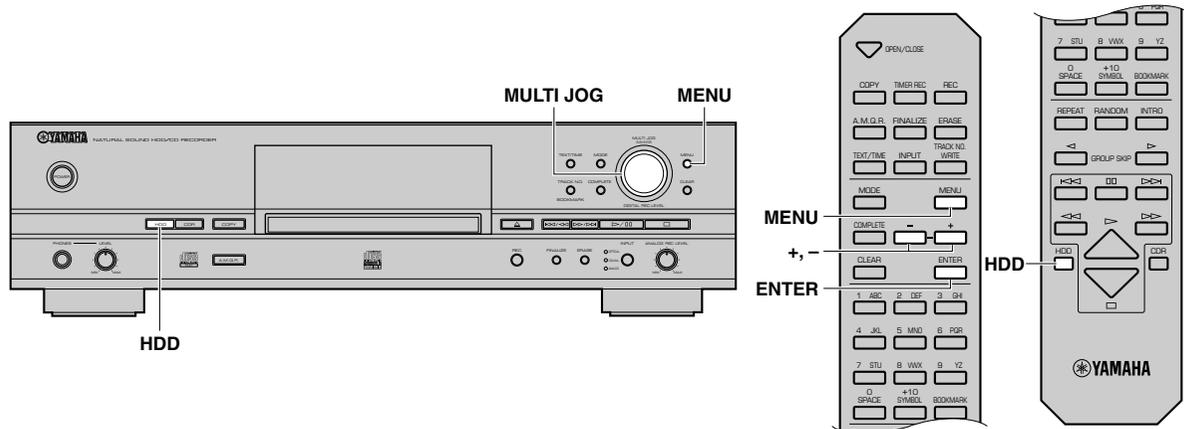
メモ

- TRACKインジケータとGROUPインジケータの点灯は、MULTI JOGノブを押すと切り替えることができます。
- 再生するグループは、GROUPインジケータが点灯している状態でMULTI JOGノブを回して、切り替えます。

アルバム編集

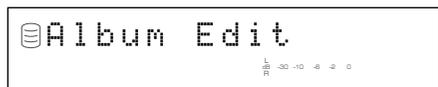
本機ではHDDに記録されているトラックから、お好みのトラックを選択して、アルバムとして記憶させておくことができます。また、一度作成されたアルバムはあとで編集することができます。

アルバム編集の操作



■ 停止状態からメニューに入る場合

1. HDDボタンを押して、HDDを選択します。
2. MENUボタンを押します。
ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。



3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押します。
ディスプレイが編集メニュー項目選択の表示になります。
4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、編集メニュー項目を選択します。
編集メニュー項目は以下のとおりです。
 - Album New
 - Edit Stored
 - Album Copy
 - Album Rename
 - Album Delete
 - Album Pack
 - Album Title
 - Track Shuffle
 - Track Level
 - Tr. Interval
5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押します。
選択した項目が確定され、実際の編集作業に入ります。
6. 項目別の説明(P.31~38)にしたがって、編集をします。
7. すべての編集が完了したら、□ボタンを押します。
停止状態に戻ります。

■ 再生中にメニューに入る場合

1. 編集したいアルバムの再生中に、MENUボタンを押します。
ディスプレイが編集メニュー項目選択の表示になります。
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、編集メニュー項目を選択します。
編集メニュー項目は以下のとおりです。
 - Album Delete
 - Album Title
 - Track Shuffle
 - Track Level
 - Tr. Interval
3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押します。
選択した項目が確定され、実際の編集作業に入ります。
4. 項目別の説明(P.31~38)にしたがって、編集をします。

メモ

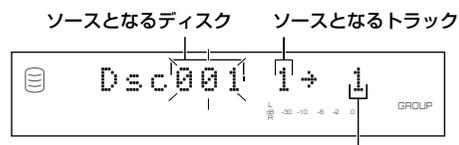
- 編集の途中でMENUボタンを押すと、入力操作が無効となり、以下の状態に戻ります。
 - 停止状態からメニューに入った場合は、編集メニュー項目の選択に戻ります。
 - 再生中からメニューに入った場合は、再生状態に戻ります。
- 編集の途中で□ボタンを押すと入力操作がすべて無効になり、停止状態に戻ります。

Album New

HDDに記録されているトラックから、お好みのトラックを選択して、アルバムを作成します。

1. P.30『停止状態からメニューに入る場合』の手順4で"Album New"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



作成するアルバムのトラック

ソースとなるディスクの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、ソースとなるディスクを選択します。
3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、ソースとなるディスクを確定します。

ソースとなるトラックの番号が点滅します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、ソースとなるトラックを選択します。
 5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、ソースとなるトラックを確定します。
- 作成するアルバムのトラックの番号が緑上がり、手順1の表示に戻ります。繰り返し、同様の手順でディスクとトラックを選択します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

6. COMPLETEボタンを押します。
- 指定したトラックが新規アルバムとして記録されます。編集メニュー項目の選択に戻ります。

メモ

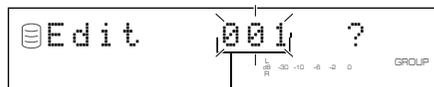
- アルバム作成中にTEXT/TIMEボタンを押すと、ディスプレイ表示を切り替えることができます。
 - ーソースとなるディスクやトラックにタイトルがついている場合は、タイトルが表示されます。
 - ータイトル表示中に、再度TEXT/TIMEボタンを押すと、作成中のアルバムの総時間が約1秒表示されたあと、手順1の表示に戻ります。
 - ーソースとなるディスクやトラックにタイトルがついていない場合は、作成中のアルバムの総時間が約1秒表示されたあと、手順1の表示に戻ります。
- ブックマークを使ってアルバムを作成することもできます(P.32『Album Copy』参照)。ブックマークについては、P.59『ブックマークについて』を参照ください。

Edit Stored

すでに作成されているアルバムにトラックを追加したり、アルバムからトラックを削除します。

1. P.30『停止状態からメニューに入る場合』の手順4で"Edit Stored"を選択し、確定します。

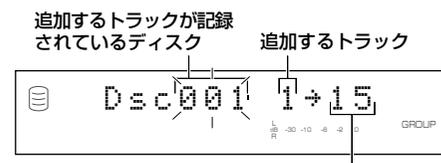
ディスプレイには以下のように表示されます。



編集するアルバム

編集するアルバムの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、編集するアルバムを選択します。
 3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、編集するアルバムを確定します。
- ディスプレイには以下のように表示されます。



追加先のトラックおよび削除するトラック

■ 新しくトラックを追加する場合

4. <<</>>>または>>/>>>ボタンを押して、追加先のトラックを選択します。
5. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、追加するトラックが記録されているディスクを選択します。
6. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、追加するトラックが記録されているディスクを確定します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

次のページへ続く

7. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、追加するトラックを選択します。
8. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、追加するトラックを確定します。
ひきつづきトラックを追加する場合は、手順4から同様の操作を繰り返します。
9. COMPLETEボタンを押します。
指定したトラックがアルバムに追加されます。
編集メニュー項目の選択に戻ります。

■ アルバムからトラックを削除する場合

4. <<</<<<または>>>/>>>ボタンを押して、削除するトラックを選択します。
5. CLEARボタンを押します。

メモ

- トラックナンバーは自動的に前につまります。

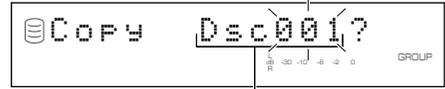
ひきつづきトラックを削除する場合は、手順4から同様の操作を繰り返します。

6. COMPLETEボタンを押します。
指定したトラックがアルバムから削除されます。
編集メニュー項目の選択に戻ります。

Album Copy

HDD上のディスク、他のアルバム、ブックマークを新規アルバムとしてまるごとコピーします。

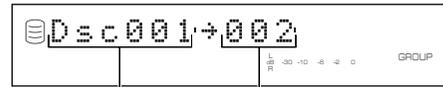
1. P.30『停止状態からメニューに入る場合』の手順4で"Album Copy"を選択し、確定します。
ディスプレイには以下のように表示されます。



コピー元グループ

コピー元グループの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、コピー元グループを選択します。
ディスク→アルバム→ブックマークの順番でコピー元グループが切り替わります。
3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、コピー元グループを確定します。
ディスプレイ表示が左スクロールし、コピー元グループの番号、コピー先アルバムの番号が表示されます。
コピー先アルバムの番号は、使われていない番号のうち最小の番号があてられます。



コピー元グループ コピー先アルバム

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

4. COMPLETEボタンを押します。
指定したグループが新規アルバムとしてコピーされます。
編集メニュー項目の選択に戻ります。

Album Rename

作成されたアルバムを移動させ、番号をつけかえます。

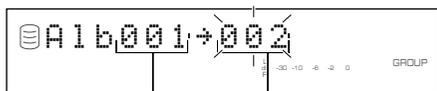
1. P.30『停止状態からメニューに入る場合』の手順4で"Album Rename"を選択し、確定します。
ディスプレイには以下のように表示されます。



移動するアルバム

移動するアルバムの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、移動するアルバムを選択します。
3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、移動するアルバムを確定します。
ディスプレイ表示が左スクロールし、移動するアルバムの番号、移動先アルバムの番号が表示されます。



移動するアルバム 移動先アルバム

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、移動先アルバムを選択します。
5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、移動先アルバムを確定します。
確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。
6. COMPLETEボタンを押します。
指定した移動先に、指定したアルバムが移動されます。
編集メニュー項目の選択に戻ります。

メモ

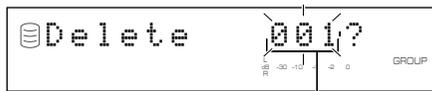
- 移動先アルバムの番号が使用されている場合には、その番号がついていたアルバム以降がひとつずつ後ろにずれます。ただし、後ろに空き番号がある場合には、その前までのアルバムが後ろにずれます。
- 移動したアルバムが使用していた番号は、空き番号となります。

Album Delete

作成したアルバムを削除します。

■ 停止状態からメニューに入る場合

1. P.30『停止状態からメニューに入る場合』の手順4で"Album Delete"を選択し、確定します。
ディスプレイには以下のように表示されます。



削除するアルバム

削除するアルバムの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、削除するアルバムを選択します。
3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、削除するアルバムを確定します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

4. COMPLETEボタンを押します。
指定したアルバムが削除されます。
編集メニュー項目の選択に戻ります。

■ 再生中にメニューに入る場合

1. P.30『再生中にメニューに入る場合』の手順2で"Album Delete"を選択し、確定します。
再生中のアルバムが削除するアルバムとして確定されます。
2. COMPLETEボタンを押します。
再生中のアルバムが削除されます。
削除したアルバムの、次のアルバムの先頭から再生が再開されます。次のアルバムがない場合は、削除したアルバムの、前のアルバムを再生します。

メモ

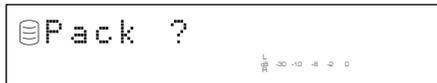
- 削除したアルバムが使用していた番号は空き番号となります。

Album Pack

アルバムナンバーのつけかえや、アルバムの削除により発生した空き番号をつめてアルバムを整理します。

1. P.30『停止状態からメニューに入る場合』の手順4で"Album Pack"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



2. COMPLETEボタンを押します。

アルバムの空き番号が前につまめて整理されます。編集メニュー項目の選択に戻ります。

Album Pack前

1	空き	3	4	空き	6
---	----	---	---	----	---

1	2	3	4	5	6
---	---	---	---	---	---

Album Pack後(空き番号がなくなる)

Album Title

作成したアルバムにタイトルをつけます。

■ 停止状態からメニューに入る場合

1. P.30『停止状態からメニューに入る場合』の手順4で"Album Title"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



タイトルをつけるアルバム

タイトルをつけるアルバムの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、タイトルをつけるアルバムを選択します。

3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、タイトルをつけるアルバムを確定します。ディスプレイには以下のように表示されます。



カーソルが点滅します。

確定したアルバムにすでにタイトルがついている場合は、そのタイトルが表示されます。

4. MULTI JOGノブ、またはリモコンの英/数字ボタンを使って、タイトルを入力します。

入力方法については次のページを参照ください。

5. すべての入力が終了したら、COMPLETEボタンを押します。

指定したアルバムにタイトルがつきます。編集メニュー項目の選択に戻ります。

■ 再生中にメニューに入る場合

1. P.30『再生中にメニューに入る場合』の手順2で"Album Title"を選択し、確定します。

再生中のアルバムがタイトルをつけるアルバムとして確定されます。

ディスプレイには以下のように表示されます。



カーソルが点滅します。

確定したアルバムにすでにタイトルがついている場合は、そのタイトルが表示されます。

2. MULTI JOGノブまたはリモコンの英/数字ボタンを使って、タイトルを入力します。

入力方法については次のページを参照ください。

3. すべての入力が終了したら、COMPLETEボタンを押します。

指定したアルバムにタイトルがつきます。

タイトルをつけたアルバムの先頭から再生が再開されず。

[次のページへ続く](#)

■ MULTI JOGノブを使ってタイトルを入力する

1. MULTI JOGノブを右に回します。

右に回すと、文字が出てきます。文字はアルファベット大文字、アルファベット小文字、数字、記号の順番に並んでいますので、適切なものを選択してください。

- ### 2. MULTI JOGノブを押して、選択した文字を確定します。
- カーソルが次の位置へ移動します。同様の操作を繰り返してタイトルをつけてください。最大32文字まで入力できます。

■ リモコンの英/数字ボタンを使ってタイトルを入力する

1. 入力したい文字を、リモコンの英/数字ボタンにより選択します。

1回押すごとに、文字はアルファベット大文字、アルファベット小文字、数字の順番に変わります。スペースはSPACEボタンを、記号はSYMBOLボタンを押して選択します。

- ### 2. 別の英/数字ボタンを押して、次の文字を選択します。
- カーソルが自動的に次の位置に移動します。同じボタンを使う場合には、>>>ボタンを押してカーソルを移動します。

メモ

- すでに文字が入力されている位置にカーソルを移動し、文字を新規に入力、確定すると、もともとあった文字以降が後ろへずれて、新規に入力した文字が挿入されます。

■ 入力した文字を修正するには

◀◀/◀◀または▶▶/▶▶ボタン(リモコンでは◀◀ボタンまたは▶▶)を押してカーソルを修正したい文字の位置に移動し、CLEARボタンを押してその文字を消してから、新規に文字を入力し、確定してください。

Track Shuffle

すでに作成されているアルバム内の、トラックの順番を変更します。

■ 停止状態からメニューに入る場合

- ### 1. P.30『停止状態からメニューに入る場合』の手順4で"Track Shuffle"を選択し、確定します。
- ディスプレイには以下のように表示されます。



トラックの順番を変更するアルバム

トラックの順番を変更するアルバムの番号が点滅します。

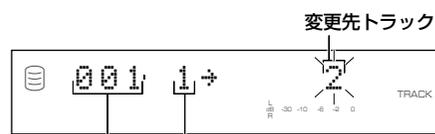
- ### 2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、トラックの順番を変更するアルバムを選択します。
- ### 3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、トラックの順番を変更するアルバムを確定します。
- 変更するトラックの番号が点滅します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

- ### 4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、変更するトラックを選択します。

- ### 5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、変更するトラックを確定します。

ディスプレイ表示が左スクロールし、変更するアルバムおよびトラックの番号、変更先トラックの番号が表示されます。



変更するアルバム 変更するトラック

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

次のページへ続く

6. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、変更先トラックを選択します。

7. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、変更先トラックを確定します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

8. COMPLETEボタンを押します。
指定したトラックの順番が変更されます。
編集メニュー項目の選択に戻ります。

再生中にメニューに入る場合

1. P.30『再生中にメニューに入る場合』の手順2で"Track Shuffle"を選択し、確定します。

再生中のトラックが順番を変更するトラックとして確定されます。

ディスプレイには再生中のアルバムの番号、再生中のトラックの番号、変更先のトラックの番号が表示されます。



再生中のアルバム 再生中のトラック

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、変更先トラックを選択します。

3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、変更先トラックを確定します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

4. COMPLETEボタンを押します。
再生中のトラックの順番が変更されます。
順番を変更したトラックの先頭から再生が再開します。

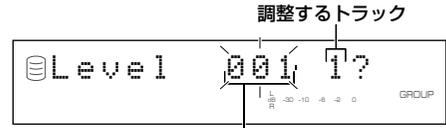
Track Level

すでに作成されているアルバム内の、トラックごとの音声レベルを調整します。

停止状態からメニューに入る場合

1. P.30『アルバム編集』の手順4で"Track Level"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



トラックのレベルを調整するアルバム

トラックのレベルを調整するアルバムの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、トラックのレベルを調整するアルバムを選択します。

3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、トラックのレベルを調整するアルバムを確定します。
調整するトラックの番号が点滅します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、調整するトラックを選択します。

5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、調整するトラックを確定します。

確定したトラックの再生が始まり、ディスプレイには以下のように表示されます。



レベルを調整するトラック

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

次のページへ続く

6. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、レベルを調整します。

-12dBから+12dBの範囲で、0.4dBステップで調整できます。

◀◀/◀◀または▶▶/▶▶ボタン(リモコンでは◀◀または▶▶ボタン)を押すと、選択したトラックの前後のトラックへスキップし、前後のトラックの音量と比較できます。

また◀◀/◀◀または▶▶/▶▶ボタンを押しつづけると(リモコンでは◀◀または▶▶ボタンを押すと)、選択したトラック内でサーチすることもできます。

7. COMPLETEボタンを押します。

指定したトラックのレベルが確定されます。
編集メニュー項目の選択に戻ります。

■ 再生中にメニューに入る場合

1. P.30『再生中にメニューに入る場合』の手順2で"Track Level"を選択し、確定します。

再生中のトラックがレベルを調整するトラックとして確定されます。

ディスプレイには以下のように表示されます。



再生中のトラック

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、レベルを調整します。

-12dBから+12dBの範囲で、0.4dBステップで調整できます。

◀◀/◀◀または▶▶/▶▶ボタン(リモコンでは◀◀または▶▶ボタン)を押すと、選択したトラックの前後のトラックへスキップし、前後のトラックの音量と比較できます。

また◀◀/◀◀または▶▶/▶▶ボタンを押しつづけると(リモコンでは◀◀または▶▶ボタンを押すと)、選択したトラック内でサーチすることもできます。

3. COMPLETEボタンを押します。

指定したトラックのレベルが確定されます。
レベルを調整したトラックの先頭から再生が再開します。

メモ

- レベルを調節したトラックを含むアルバムを再生すると、トラックの変わり目から少しずれたところで、レベルが変わる場合があります。このような場合には、次のページの"Track Interval"で、1~2秒程度曲間を増してください。
- レベルを調節したトラックを含むアルバムは、AudioMASTER™ (P.63参照)でコピーすることはできません。
- レベルを調節したトラックを含むアルバムをコピーする際、コピーレベルを調節すると(P.66参照)、“Track Level”での調節に加算して、コピーレベルの調節ができます。

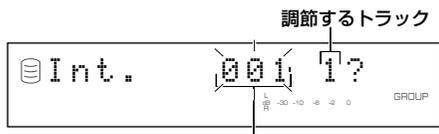
Tr. Interval

すでに作成されているアルバム内の、各トラックの間隔を調整します。

■ 停止状態からメニューに入る場合

1. P.30『アルバム編集』の手順4で"Tr. Interval"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



トラックの間隔を調整するアルバム

トラックの間隔を調整するアルバムの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、トラックの間隔を調節するアルバムを選択します。

3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、トラックの間隔を調整するアルバムを確定します。

調整するトラックの番号が点滅します。

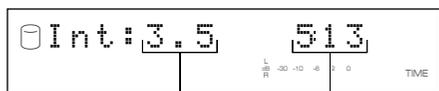
確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、調整するトラックを選択します。

5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、調整するトラックを確定します。

確定したトラックの前のトラックの末尾5秒間と、確定したトラックの先頭5秒間を繰り返し再生します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



トラックの間隔

再生中のトラックの演奏時間

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

メモ

- 確定したトラックの前に、トラックが存在しない場合、"No Previous"と表示され、手順4に戻ります。

6. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、トラックの間隔を調整します。

0秒から9.9秒の範囲で、0.1秒ステップで調整できます。

回すのをやめると、確定したトラックの前のトラックの末尾5秒間と、確定したトラックの先頭5秒間に、調整した間隔を入れて繰り返し再生します。

7. COMPLETEボタンを押します。

トラックの間隔が確定されます。

編集メニュー項目の選択に戻ります。

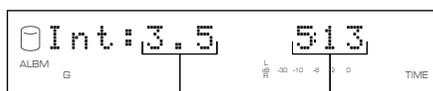
■ 再生中にメニューに入る場合

1. P.30『再生中にメニューに入る場合』の手順2で"Tr. Interval"を選択し、確定します。

再生中のトラックが間隔を調節するトラックとして確定されます。

確定したトラックの前のトラックの末尾5秒間と、確定したトラックの先頭5秒間を繰り返し再生します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



トラックの間隔

再生中のトラックの演奏時間

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、トラックの間隔を調整します。

0秒から9.9秒の範囲で、0.1秒ステップで調整できます。

回すのをやめると、確定したトラックの前のトラックの末尾5秒間と、確定したトラックの先頭5秒間に、調整した間隔を入れて繰り返し再生します。

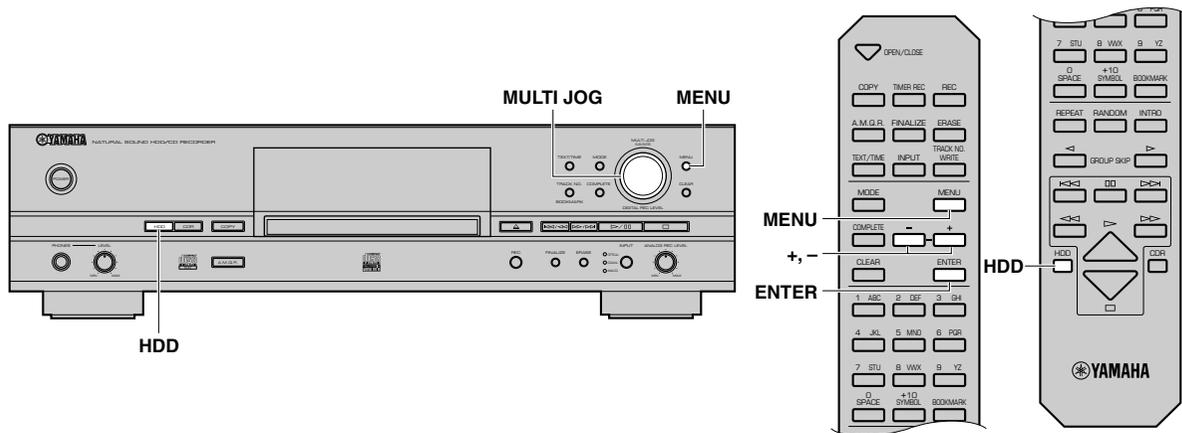
3. COMPLETEボタンを押します。

トラックの間隔が確定されます。

間隔を調整したトラックの先頭から再生が再開します。

本機ではHDDに記録されたトラックに対して、様々な編集をすることができます。

トラック編集の操作



編集

■ 停止状態からメニューに入る場合

1. HDDボタンを押して、HDDを選択します。
2. MENUボタンを押します。
ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。
3. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Track Edit”を選択します。



4. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押します。
ディスプレイが編集メニュー項目選択の表示になります。
5. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、編集メニュー項目を選択します。
編集メニュー項目は以下のとおりです。
 - Track Rename
 - Track Adjust
 - Track Erase
 - Part Erase
 - Track Combine
 - Track Divide
 - Track Pack
 - Add Fade In
 - Add Fade Out
 - Track Title
6. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押します。
選択した項目が確定され、実際の編集作業に入ります。
7. 項目別の説明(P.40～51)にしたがって、編集をします。
8. すべての編集が完了したら、□ボタンを押します。
停止状態に戻ります。

■ 再生中にメニューに入る場合

MULTI JOGノブを押して、TRACKインジケータを点灯させます。

1. 編集したいトラックが記録されているディスクの再生中に、MENUボタンを押します。
ディスプレイが編集メニュー項目選択の表示になります。
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、編集メニュー項目を選択します。
編集メニュー項目は以下のとおりです。
 - Track Rename
 - Track Adjust
 - Track Erase
 - Part Erase
 - Track Combine
 - Track Divide
 - Add Fade In
 - Add Fade Out
 - Track Title
3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押します。
選択した項目が確定され、実際の編集作業に入ります。
4. 項目別の説明(P.40～51)にしたがって、編集をします。

メモ

- 編集の途中でMENUボタンを押すと、入力操作が無効となり、以下の状態に戻ります。
 - 停止状態からメニューに入った場合は、編集メニュー項目の選択に戻ります。
 - 再生中からメニューに入った場合は、再生状態に戻ります。
- 編集の途中で□ボタンを押すと入力操作がすべて無効になり、停止状態に戻ります。

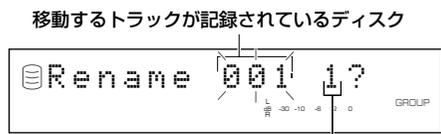
Track Rename

トラックを移動させ、番号をつけかえます。

■ 停止状態からメニューに入る場合

1. P.39『停止状態からメニューに入る場合』の手順5で"Track Rename"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



移動するトラック

移動するトラックが記録されているディスクの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、移動するトラックが記録されているディスクを選択します。

3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、移動するトラックが記録されているディスクを確定します。

移動するトラック番号が点滅します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、移動するトラックを選択します。

5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、移動するトラックを確定します。

ディスプレイ表示が左スクロールし、移動するトラックが記録されているディスクの番号、移動するトラックの番号、移動先トラックの番号が表示されます。



移動するトラック

移動先トラック

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

6. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、移動先トラックを選択します。

7. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、移動先トラックを確定します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

8. COMPLETEボタンを押します。

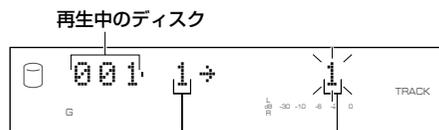
指定した移動先に、指定したトラックが移動されます。編集メニュー項目の選択に戻ります。

■ 再生中にメニューに入る場合

1. P.39『再生中にメニューに入る場合』の手順2で"Track Rename"を選択し、確定します。

再生中のトラックが移動するトラックとして確定されます。

ディスプレイには再生中のディスクの番号、再生中のトラックの番号、移動先ディスクの番号が表示されます。



再生中のトラック

移動先トラック

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、移動先トラックを選択します。

3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、移動先トラックを確定します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

4. COMPLETEボタンを押します。

指定した移動先に、再生中のトラックが移動されます。移動したトラックの先頭から再生が再開されます。

メモ

- 移動先トラックの番号が使用されている場合には、その番号がついていたトラック以降がひとつずつ後ろにずれます。ただし、後ろに空き番号がある場合には、その前までのトラックが後ろにずれます。
- 移動したトラックが使用していた番号は、空き番号となります。

Track Adjust

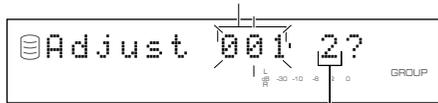
トラックの開始位置を前後に移動して、調節します。

■ 停止状態からメニューに入る場合

1. P.39『停止状態からメニューに入る場合』の手順5で"Track Adjust"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。

調節するトラックが記録されているディスク



調節するトラック

調節するトラックが記録されているディスクの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、調節するトラックが記録されているディスクを選択します。

3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、調節するトラックが記録されているディスクを確定します。

調節するトラックの番号が点滅します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

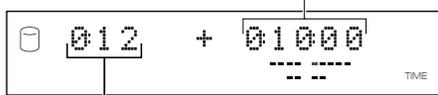
4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、調節するトラックを選択します。

5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、調節するトラックを確定します。

確定したトラックを再生します。

ディスプレイには以下のように表示されます。

移動時間量



トラックの演奏時間

メモ

- 確定したトラックの前に、トラックが存在しない場合、"No Previous"と表示され、手順4に戻ります。

6. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、移動時間量を調節します。

移動時間量は、「分:秒:フレーム」の単位で調節が可能です。(フレーム:秒以下の単位で、75フレームで1秒となります。)設定する単位の部分が点滅します。◀◀/◀◀または▶▶/▶▶ボタンで設定したい単位の部分を点滅させます。

回すのをやめると、移動時間量にしたがって、仮の開始位置をサーチし、その位置からディスクの最後までを繰り返し再生します。

調節を取り消すには、CLEARボタンを押します。

7. COMPLETEボタンを押します。

新しい開始位置が確定します。

編集メニュー項目の選択に戻ります。

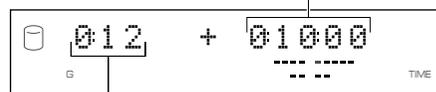
■ 再生中にメニューに入る場合

1. P.39『再生中にメニューに入る場合』の手順2で"Track Adjust"を選択し、確定します。

再生中のトラックが調節するトラックとして確定されます。

ディスプレイには以下のように表示されます。

移動時間量



トラックの演奏時間

メモ

- 確定したトラックの前に、トラックが存在しない場合、"No Previous"と表示され、再生状態に戻ります。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、移動時間量を調節します。

移動時間量は、「分:秒:フレーム」の単位で調節が可能です。設定する単位の部分が点滅します。◀◀/◀◀または▶▶/▶▶ボタンで設定したい単位の部分を点滅させます。

回すのをやめると、移動時間量にしたがって、仮の開始位置をサーチし、その位置からディスクの最後までを繰り返し再生します。

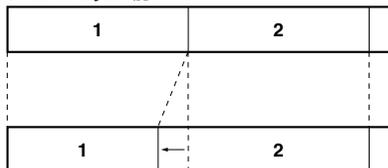
調節を取り消すには、CLEARボタンを押します。

次のページへ続く

3. COMPLETEボタンを押します。

新しい開始位置が確定します。
調節したトラックの先頭から再生が再開されます。

Track Adjust前



Track Adjust後(トラック2の開始位置を前に移動した場合)

メモ

- 調節後のトラックが、調節前にデジタルコピー禁止であった部分を含む場合、調節後のトラックもデジタルコピー禁止となります。
- 調節するトラックとその前のトラックでエンファシスが異なる場合、調節するトラックのエンファシスが優先されます。

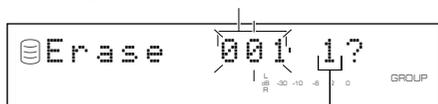
Track Erase

指定したトラックを消去します。

■ 停止状態からメニューに入る場合**1. P.39『停止状態からメニューに入る場合』の手順5で"Track Erase"を選択し、確定します。**

ディスプレイには以下のように表示されます。

消去するトラックが記録されているディスク



消去するトラック

消去するトラックが記録されているディスクの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、消去するトラックが記録されているディスクを選択します。**3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、消去するトラックが記録されているディスクを確定します。**

消去するトラックの番号が点滅します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、消去するトラックを選択します。**5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、消去するトラックを確定します。**

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

確定したトラックを確認したいときは、▷/◁ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、そのトラックを繰り返し再生します。

6. COMPLETEボタンを押します。

指定したトラックが消去されます。
編集メニュー項目の選択に戻ります。

■ 再生中にメニューに入る場合**1. P.39『再生中にメニューに入る場合』の手順2で"Track Erase"を選択し、確定します。**

再生中のトラックが消去するトラックとして確定されます。

2. COMPLETEボタンを押します。

再生中のトラックが消去されます。消去したトラックの、次のトラックの先頭から再生が再開されます。次のトラックがない場合は、消去したトラックの、前のトラックを再生します。

メモ

- 消去したトラックが使用していた番号は空き番号となります。

Part Erase

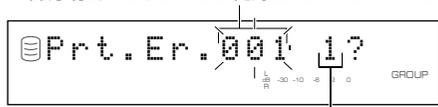
指定したトラックの一部を消去します。

■ 停止状態からメニューに入る場合

1. P.39「停止状態からメニューに入る場合」の手順5で"Part Erase"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。

部分消去するトラックが記録されているディスク



部分消去するトラック

部分消去するトラックが記録されているディスクの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、部分消去するトラックが記録されているディスクを選択します。

3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、部分消去するトラックが記録されているディスクを確定します。

部分消去するトラックの番号が点滅します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、部分消去するトラックを選択します。

5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、部分消去するトラックを確定します。

仮に設定された部分消去の開始位置(トラックの先頭から10秒間経過した位置)の前5秒間を繰り返し再生します。ディスプレイには以下のように表示されます。



トラックの演奏時間

6. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、部分消去の開始位置を設定します。

部分消去の開始位置は、「分:秒:フレーム」の単位で設定が可能です。設定する単位の部分が点滅します。◀◀/◀◀または▶▶/▶▶ボタンで設定したい単位の部分を点滅させます。

回すのをやめると、設定した開始位置をサーチし、その位置の前5秒間を繰り返し再生します。

7. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して)、開始位置を確定します。

仮に設定された部分消去の終了位置(開始位置の10秒後)から後ろ5秒間を繰り返し再生します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



トラックの演奏時間

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

8. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、部分消去の終了位置を設定します。

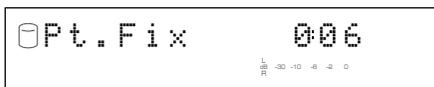
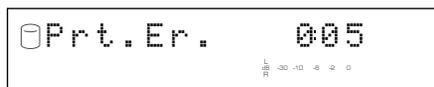
部分消去の終了位置は、「分:秒:フレーム」の単位で設定が可能です。設定する単位の部分が点滅します。◀◀/◀◀または▶▶/▶▶ボタンで設定したい単位の部分を点滅させます。

回すのをやめると、設定した終了位置をサーチし、その位置から後ろ5秒間を繰り返し再生します。

9. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して)、終了位置を確定します。

開始位置の前5秒間と終了位置の後ろ5秒間を連続して繰り返し再生します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



ご注意

- 開始位置の前約5秒間と終了位置の後ろ約5秒間とのつなぎ目で、一瞬音が途切れて再生されることがありますが、部分消去後のトラックは正常に再生されます。

終了位置の設定を変更したいときは、CLEARボタンを1回押して、手順8まで戻ります。

開始位置の設定を変更したいときは、CLEARボタンを2回押して、手順6まで戻ります。

10. COMPLETEボタンを押します。

指定した区間が削除されます。

編集メニュー項目の選択に戻ります。

次のページへ続く

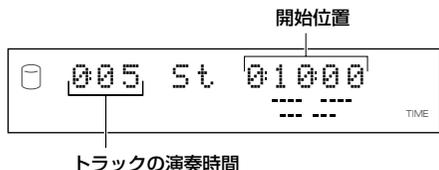
■ 再生中にメニューに入る場合

1. P.39『再生中にメニューに入る場合』の手順2で"Part Erase"を選択し、確定します。

再生中のトラックが部分消去するトラックとして確定されます。

部分消去の開始位置(MENUボタンを押した位置)の前5秒間を繰り返し再生します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、部分消去の開始位置を設定します。

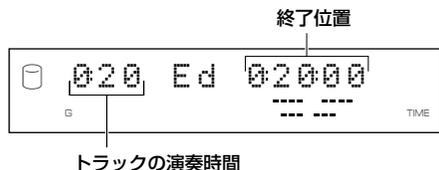
開始位置は、「分:秒:フレーム」の単位で調節が可能です。設定する単位の部分が点滅します。◀◀/◀◀または▶▶/▶▶ボタンで設定したい単位の部分を点滅させます。

回すのをやめると、設定した開始位置をサーチし、その位置の前5秒間を繰り返し再生します。

3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、開始位置を確定します。

仮に設定された部分消去の終了位置(開始位置の10秒後)から後ろ5秒間を繰り返し再生します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、部分消去の終了位置を設定します。

開始位置は、「分:秒:フレーム」の単位で調節が可能です。設定する単位の部分が点滅します。◀◀/◀◀または▶▶/▶▶ボタンで設定したい単位の部分を点滅させます。

回すのをやめると、設定した終了位置をサーチし、その位置から後ろ5秒間を繰り返し再生します。

5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、終了位置を確定します。

開始位置の前5秒間と終了位置の後ろ5秒間を連続して繰り返し再生します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



ご注意

- 開始位置の前5秒間と終了位置の後ろ5秒間とのつなぎ目で、一瞬音が途切れて再生されることがありますが、部分消去後のトラックは正常に再生されます。

終了位置の設定を変更するには、CLEARボタンを1回押して、手順4まで戻ります。

開始位置の設定を変更するには、CLEARボタンを2回押して、手順2まで戻ります。

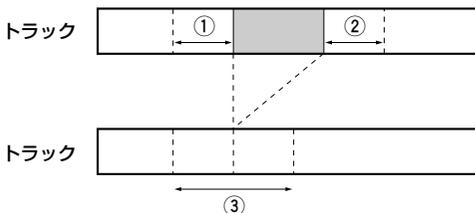
6. COMPLETEボタンを押します。

指定した区間が消去されます。

部分消去したトラックの先頭から再生が再開されます。

ご注意

- トラックの最短時間は4秒です。したがって部分消去により、4秒以下の曲をつくることはできません。



■: 消去したい部分

- ① 開始位置設定時のリピート再生区間
- ② 終了位置設定時のリピート再生区間
- ③ 終了位置確定後のリピート再生区間

Track Combine

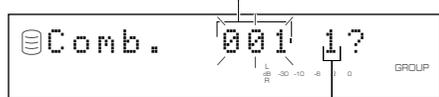
連続したトラックを統合し、ひとつのトラックにします。

■ 停止状態からメニューに入る場合

1. P.39『停止状態からメニューに入る場合』の手順5で"Track Combine"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。

先頭部分となるトラックが記録されているディスク



先頭部分となるトラック

先頭部分となるトラックが記録されているディスクの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、先頭部分となるトラックが記録されているディスクを選択します。

3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、先頭部分となるトラックが記録されているディスクを確定します。

先頭部分となるトラックの番号が点滅します。

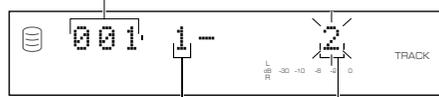
確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、先頭部分となるトラックを選択します。

5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、先頭部分となるトラックを確定します。

ディスプレイ表示が左スクロールし、先頭部分となるトラックが記録されているディスクの番号、先頭部分となるトラックの番号、末尾部分となるトラックの番号が表示されます。

先頭部分となるトラックが記録されているディスク



先頭部分となるトラック

末尾部分となるトラック

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

6. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、末尾部分となるトラックを選択します。

7. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、末尾部分となるトラックを確定します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

8. COMPLETEボタンを押します。

指定したトラックの間の全トラックがひとつのトラックになります。

編集メニュー項目の選択に戻ります。

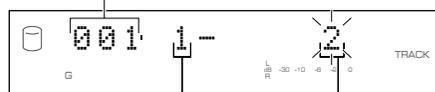
■ 再生中にメニューに入る場合

1. P.39『再生中にメニューに入る場合』の手順2で"Track Combine"を選択し、確定します。

再生中のトラックが先頭部分のトラックとして確定されます。

ディスプレイには再生中のディスクの番号、再生中のトラックの番号、末尾部分となるトラックの番号が表示されます。

再生中のディスク



再生中のトラック

末尾部分となるトラック

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、末尾部分となるトラックを選択します。

3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、末尾部分となるトラックを確定します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

4. COMPLETEボタンを押します。

指定したトラックの間の全トラックがひとつのトラックになります。

結合したトラックの先頭から再生が再開されます。

メモ

- 先頭部分となるトラック以降の、指定したトラックが使用していた番号は空き番号となります。
- 統合されたトラックのタイトルは、先頭部分のトラックのタイトルがそのまま有効となります。
- 結合するトラックの中に、ひとつでもデジタルコピー禁止のトラックがある場合、結合後のトラックはコピー禁止となります。
- エンファシスが異なるトラックを結合した場合、先頭トラックのエンファシスが結合後のトラック全体に反映されます。

Track Divide

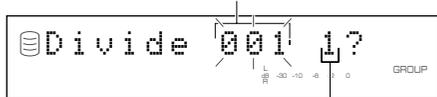
ひとつのトラックを指定した位置で分割して、ふたつのトラックにします。

■ 停止状態からメニューに入る場合

1. P.39『停止状態からメニューに入る場合』の手順5で"Track Divide"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。

分割するトラックが記憶されているディスク



分割するトラック

分割するトラックが記録されているディスクの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、分割するトラックが記録されているディスクを選択します。

3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、分割するトラックが記録されているディスクを確定します。

分割するトラックの番号が点滅します。

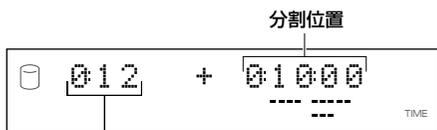
確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、分割するトラックを選択します。

5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、分割するトラックを確定します。

仮に設定された分割位置(トラックの先頭から10秒間経過した位置)から後ろ5秒間を繰り返し再生します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



トラックの演奏時間

6. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、分割位置を設定します。

分割位置は、「分:秒:フレーム」の単位で設定が可能です。設定する単位の部分が点滅します。◀◀/◀◀または▶▶/▶▶ボタンで設定したい単位の部分を点滅させます。

回すのをやめると、設定した分割位置をサーチし、その位置から後ろ5秒間を繰り返し再生します。



7. COMPLETEボタンを押します。

これで、指定したトラックを、指定した分割位置から分割します。

編集メニュー項目の選択に戻ります。

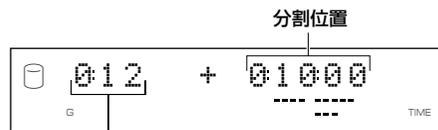
■ 再生中にメニューに入る場合

1. P.39『再生中にメニューに入る場合』の手順2で"Track Divide"を選択し、確定します。

再生中のトラックが分割するトラックとして確定されます。

分割位置(MENUボタンを押した位置)から後ろ5秒間を繰り返し再生します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



トラックの演奏時間

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、分割位置を設定します。

分割位置は、「分:秒:フレーム」の単位で調節が可能です。設定する単位の部分が点滅します。◀◀/◀◀または▶▶/▶▶ボタンで設定したい単位の部分を点滅させます。

回すのをやめると、設定した分割位置をサーチし、その位置から後ろ5秒間を繰り返し再生します。



次のページへ続く

3. COMPLETEボタンを押します。

再生中のトラックを、指定した分割位置から分割します。分割してできた、ふたつめのトラックの先頭から再生が再開されます。

ご注意

- トラックの最短時間は4秒です。したがって分割により、4秒以下の曲をつくることはできません。
- ひとつのディスクに記録できるトラック数は最大99曲です。すでにトラックが99曲存在している場合、"Track No.Full"が表示されます。

メモ

- 分割するトラック以降のトラックは、分割後ひとつずつ後ろにずれます。ただし、後ろに空き番号がある場合には、その前までのトラックが後ろにずれます。

Track Divide前

1	2	空き	4	5	6
分割					
1	2	3	4	5	6

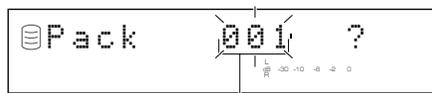
Track Divide後(トラック1を分割した場合)

Track Pack

トラックナンバーのつけかえや、トラックの消去により発生した空き番号をつめてトラックを整理します。

1. P.39「停止状態からメニューに入る場合」の手順5で"Track Pack"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



トラックの空き番号をつめるディスク

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、トラックの空き番号をつめるディスクを選択します。

3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、トラックの空き番号をつめるディスクを確定します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

4. COMPLETEボタンを押します。

トラックの空き番号が前につまんで整理されます。編集メニュー項目の選択に戻ります。

Track Pack前

1	空き	3	4	空き	6
1	2	3	4	5	6

Track Pack後(空き番号がなくなる)

Add Fade In

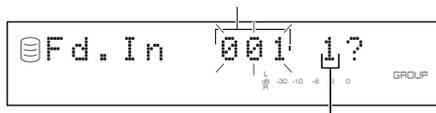
トラックの先頭にフェードインを付加します。フェードインを付加すると、トラックの先頭を徐々にレベルを上げて再生することができます。

■ 停止状態からメニューに入る場合

1. P.39『停止状態からメニューに入る場合』の手順5で"Add Fade In"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。

フェードインを付加するトラックが記録されているディスク



フェードインを付加するトラック

フェードインを付加するトラックが記録されているディスクの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、フェードインを付加するトラックが記録されているディスクを選択します。

3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、フェードインを付加するトラックが記録されているディスクを確定します。

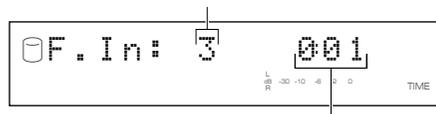
フェードインを付加するトラックの番号が点滅します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、フェードインを付加するトラックを選択します。

5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、フェードインを付加するトラックを確定します。
3秒間分(初期設定)のフェードインを付加しながら、トラックの先頭8秒間を繰り返し再生します。
ディスプレイには以下のように表示されます。

フェードインの時間



トラックの演奏時間

6. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、フェードインの時間を設定します。

フェードインの時間は、1秒から10秒の範囲で、秒単位で調節が可能です。

回すのをやめると、設定した時間分のフェードインを付加しながら、設定時間に5秒間加えた区間を繰り返し再生します。

設定を取り消すには、CLEARボタンを押します。

7. COMPLETEボタンを押します。

指定した時間分、トラックの先頭にフェードインが付加されます。

編集メニュー項目の選択に戻ります。

■ 再生中にメニューに入る場合

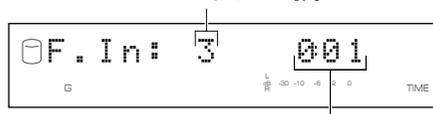
1. P.39『再生中にメニューに入る場合』の手順2で"Add Fade In"を選択し、確定します。

再生中のトラックがフェードインを付加するトラックとして確定されます。

3秒間分(初期設定)のフェードインを付加しながら、トラックの先頭8秒間を繰り返し再生します。

ディスプレイには以下のように表示されます。

フェードインの時間



トラックの演奏時間

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、フェードインの時間を設定します。

フェードインの時間は、1秒から10秒の範囲で、秒単位で設定が可能です。

回すのをやめると、設定した時間分のフェードインを付加しながら、設定時間に5秒間加えた区間を繰り返し再生します。

設定を取り消すには、CLEARボタンを押します。

[次のページへ続く](#)

3. COMPLETEボタンを押します。

指定した時間分、再生中のトラックの先頭にフェードインが付加されます。

フェードインを付加したトラックの先頭から再生が再開されます。

メモ

- トラックの時間が21秒以下の場合、フェードインを付加することができません。
- フェードインを付加したトラックに対して、以下の編集を行うと、フェードイン効果がなくなります。
 - －部分消去をした(Part Erase)。
 - －トラックを結合した(Track Combine)。
 - －トラックを分割した(Track Divide)。
 - －トラックの開始位置を調節した(Track Adjust)。
- "Track Adjust"を実行した場合には、調節したトラックとその前のトラック両方のフェードイン効果がなくなります。

Add Fade Out

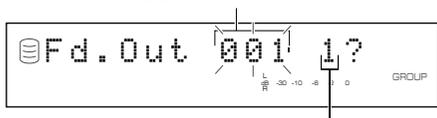
トラックの末尾にフェードアウトを付加します。フェードアウトを付加すると、トラックの末尾を徐々にレベルを下げて再生することができます。

■ 停止状態からメニューに入る場合

1. P.39『停止状態からメニューに入る場合』の手順5で"Add Fade Out"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。

フェードアウトを付加するトラックが記録されているディスク



フェードアウトを付加するトラック

フェードアウトを付加するトラックが記録されているディスクの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、フェードアウトを付加するトラックが記録されているディスクを選択します。

3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、フェードアウトを付加するトラックが記録されているディスクを確定します。

フェードアウトを付加するトラックの番号が点滅します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

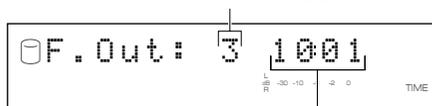
4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、フェードアウトを付加するトラックを選択します。

5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、フェードアウトを付加するトラックを確定します。

3秒間分(初期設定)のフェードアウトを付加しながら、トラックの末尾8秒間を繰り返し再生します。

ディスプレイには以下のように表示されます。

フェードアウトの時間



トラックの演奏時間

6. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、フェードアウトの時間を設定します。

フェードアウトの時間は、1秒から10秒の範囲で、秒単位で調節が可能です。

回すのをやめると、設定した時間分のフェードアウトを付加しながら、設定時間に5秒間加えた区間を繰り返し再生します。

設定を取り消すには、CLEARボタンを押します。

7. COMPLETEボタンを押します。

指定した時間分、トラックの末尾にフェードアウトが付加されます。

編集メニュー項目の選択に戻ります。

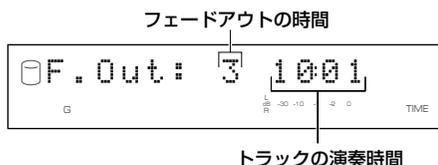
次のページへ続く

■ 再生中にメニューに入る場合

1. P.39『再生中にメニューに入る場合』の手順2で"Add Fade Out"を選択し、確定します。

再生中のトラックがフェードアウトを付加するトラックとして確定されます。

3秒間分(初期設定)のフェードアウトを付加しながら、トラックの末尾8秒間を繰り返し再生します。ディスプレイには以下のように表示されます。



2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、フェードインの時間を設定します。

フェードインの時間は、1秒から10秒の範囲で、秒単位で設定が可能です。

回すのをやめると、設定した時間分のフェードアウトを付加しながら、設定時間に5秒間加えた区間を繰り返し再生します。

設定を取り消すには、CLEARボタンを押します。

3. COMPLETEボタンを押します。

指定した時間分、再生中のトラックの末尾にフェードアウトが付加されます。

フェードアウトを付加したトラックの先頭から再生が再開されます。

メモ

- トラックの時間が21秒以下の場合、フェードアウトを付加することができません。
- フェードアウトを付加したトラックに対して、以下の編集を行うと、フェードアウト効果がなくなります。
 - 部分消去をした(Part Erase)。
 - トラックを結合した(Track Combine)。
 - トラックを分割した(Track Divide)。
 - トラックの開始位置を調節した(Track Adjust)。
- "Track Adjust"を実行した場合には、調節したトラックとその前のトラック両方のフェードアウト効果がなくなります。

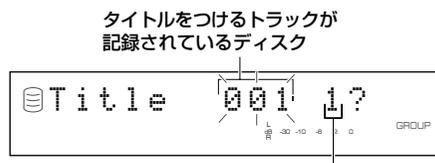
Track Title

トラックにタイトルをつけます。

■ 停止状態からメニューに入る場合

1. P.39『停止状態からメニューに入る場合』の手順5で"Track Title"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



タイトルをつけるトラックが記録されているディスクの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、タイトルをつけるトラックが記録されているディスクを選択します。

3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、タイトルをつけるトラックが記録されているディスクを確定します。

ディスクを確定すると、タイトルをつけるトラックの番号が点滅します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、タイトルをつけるトラックを選択します。

5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、タイトルをつけるトラックを確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



カーソルが点滅します。

確定したトラックにすでにタイトルがついている場合は、そのタイトルが表示されます。

次のページへ続く

6. MULTI JOGノブ、またはリモコンの英/数字ボタンを使って、タイトルを入力します。

入力方法については右記を参照ください。

7. すべての入力が終了したら、COMPLETEボタンを押します。

指定したトラックにタイトルが付きま

す。編集メニュー項目の選択に戻ります。

■ 再生中にメニューに入る場合

1. P.39『再生中にメニューに入る場合』の手順2で"Track Title"を選択し、確定します。

再生中のトラックがタイトルをつけるトラックとして確定されます。

ディスプレイには以下のように表示されます。



カーソルが点滅します。

確定したトラックにすでにタイトルがついている場合は、そのタイトルが表示されます。

2. MULTI JOGノブまたはリモコンの英/数字ボタンを使って、タイトルを入力します。

入力方法については右記を参照ください。

3. すべての入力が終了したら、COMPLETEボタンを押します。

再生中のトラックにタイトルが付きま

す。トラックをつけたディスクの先頭から再生が再開されます。

■ MULTI JOGノブを使ってタイトルを入力する

1. MULTI JOGノブを右に回します。

右に回すと、文字が出てきます。文字はアルファベット大文字、アルファベット小文字、数字、記号の順番に並んでいますので、適切なものを選択してください。

2. MULTI JOGノブを押して、選択した文字を確定します。

カーソルが次の位置へ移動します。同様の操作を繰り返してタイトルを入力してください。最大32文字まで入力できます。

■ リモコンの英/数字ボタンを使ってタイトルを入力する

1. 入力したい文字を、リモコンの英/数字ボタンにより選択します。

1回押すごとに、文字はアルファベット大文字、アルファベット小文字、数字の順番に変わります。スペースはSPACEボタンを、記号はSYMBOLボタンを押して選択します。

2. 別の英/数字ボタンを押して、次の文字を選択します。

カーソルが自動的に次の位置に移動します。同じボタンを使う場合には、<>ボタンを押してカーソルを移動します。

メモ

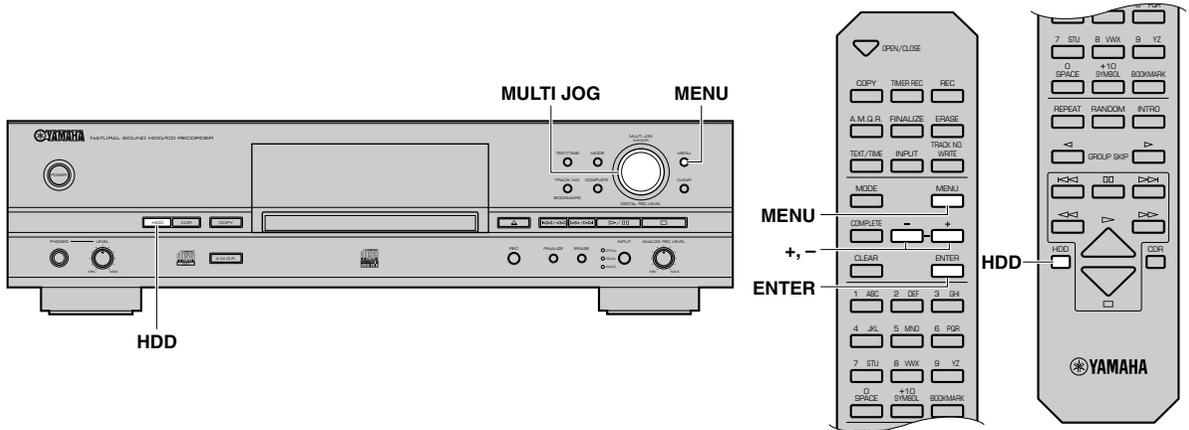
- すでに文字が入力されている位置にカーソルを移動し、文字を新規に入力、確定すると、もともとあった文字以降が後ろへずれて、新規に入力した文字が挿入されます。

■ 入力した文字を修正するには

<<</<<<ボタンまたは>>>/>>>ボタン(リモコンでは<<<ボタンまたは>>>ボタン)を押してカーソルを修正したい位置に移動し、CLEARボタンを押してその文字を消してから、新規に文字を入力し、確定してください。

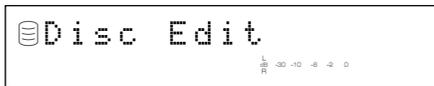
本機ではHDDに記録されたディスクに対して、様々な編集をすることができます。

ディスク編集の操作



■ 停止状態からメニューに入る場合

1. HDDボタンを押して、HDDを選択します。
2. MENUボタンを押します。
ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。
3. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Disc Edit”を選択します。



4. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押します。
ディスプレイが編集メニュー項目選択の表示になります。
5. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、編集メニュー項目を選択します。
編集メニュー項目は以下のとおりです。
 - Disc Rename
 - Disc Erase
 - Disc Combine
 - Disc Divide
 - Disc Pack
 - Disc Title
6. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押します。
選択した項目が確定され、実際の編集作業に入ります。
7. 項目別の説明(P.53~57)にしたがって、編集をします。
8. すべての編集が完了したら、□ボタンを押します。
停止状態に戻ります。

■ 再生中にメニューに入る場合

MULTI JOGノブを押して、GROUPインジケータを点灯させます。

1. 編集したいディスクの再生中に、MENUボタンを押します。
ディスプレイが編集メニュー項目選択の表示に変わります。
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、編集メニュー項目を選択します。
編集メニュー項目は以下のとおりです。
 - Disc Rename
 - Disc Erase
 - Disc Combine
 - Disc Divide
 - Disc Title
3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押します。
選択した項目が確定され、実際の編集作業に入ります。
4. 項目別の説明(P.53~57)にしたがって、編集をします。

メモ

- 編集の途中でMENUボタンを押すと、入力操作が無効となり、以下の状態に戻ります。
 - 停止状態からメニューに入った場合は、編集メニュー項目の選択に戻ります。
 - 再生中からメニューに入った場合は、編集しようとしたディスクの再生状態に戻ります。
- 編集の途中で□ボタンを押すと入力操作がすべて無効になり、停止状態に戻ります。

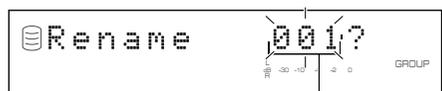
Disc Rename

ディスクを移動させ、番号をつけかえます。

■ 停止状態からメニューに入る場合

1. P.52『停止状態からメニューに入る場合』の手順5で"Disc Rename"を選択し、確定します。

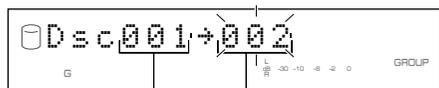
ディスプレイには以下のように表示されます。



移動するディスク

移動するディスクの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、移動するディスクを選択します。
3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、移動するディスクを確定します。
ディスプレイ表示が左スクロールし、移動するディスクの番号、移動先ディスクの番号が表示されます。



移動するディスク

移動先ディスク

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

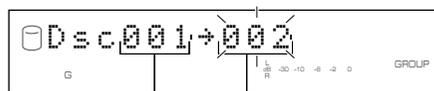
4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、移動先ディスクを選択します。
5. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、移動先ディスクを確定します。
確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。
6. COMPLETEボタンを押します。
指定した移動先に、指定したディスクが移動されます。
編集メニュー項目の選択に戻ります。

■ 再生中にメニューに入る場合

1. P.52『再生中にメニューに入る場合』の手順2で"Disc Rename"を選択し、確定します。

再生中のディスクが移動するディスクとして確定されます。

ディスプレイには再生中のディスクの番号、移動先ディスクの番号が表示されます。



再生中のディスク 移動先ディスク

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、移動先ディスクを選択します。
3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、移動先ディスクを確定します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

4. COMPLETEボタンを押します。

指定した移動先に、再生中のディスクが移動されます。
移動したディスクの先頭から再生が再開されます。

メモ

- 移動先ディスクの番号が使用されている場合には、その番号がついていたディスク以降がひとつずつ後ろにずれます。ただし、後ろに空き番号がある場合には、その前までのディスクが後ろにずれます。
- 移動したディスクが使用していた番号は、空き番号となります。

Disc Erase

指定したディスクを消去します。

■ 停止状態からメニューに入る場合

1. P.52『停止状態からメニューに入る場合』の手順5で"Disc Erase"を選択し、確定します。
ディスプレイには以下のように表示されます。



消去するディスク

消去するディスクの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、消去するディスクの番号を選択します。
3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、消去するディスクの番号を確定します。
確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。
4. COMPLETEボタンを押します。
指定したディスクが消去されます。
編集メニュー項目の選択に戻ります。

■ 再生中にメニューに入る場合

1. P.52『再生中にメニューに入る場合』の手順2で"Disc Erase"を選択し、確定します。
再生中のディスクが消去するディスクとして確定されます。
2. COMPLETEボタンを押します。
再生中のディスクが消去されます。
消去したディスクの、次のディスクの先頭から再生が再開されます。次のディスクがない場合は、消去したディスクの、前のディスクを再生します。

メモ

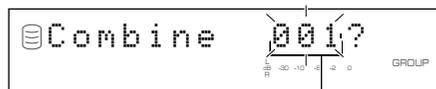
- 消去したディスクが使用していた番号は空き番号となります。

Disc Combine

連続したディスクを結合し、ひとつのディスクにします。

■ 停止状態からメニューに入る場合

1. P.52『停止状態からメニューに入る場合』の手順5で"Disc Combine"を選択し、確定します。
ディスプレイには以下のように表示されます。



先頭部分となるディスク

先頭部分となるディスクの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、先頭部分となるディスクを選択します。
3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、先頭部分となるディスクを確定します。
ディスプレイ表示が左スクロールし、先頭部分となるディスクの番号、末尾部分となるディスクの番号が表示されます。



先頭部分となるディスク 末尾部分となるディスク

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、末尾部分となるディスクを選択します。
5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、末尾部分となるディスクを確定します。
確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。
6. COMPLETEボタンを押します。
指定したディスク間の全ディスクがひとつのディスクになります。
編集メニュー項目の選択に戻ります。

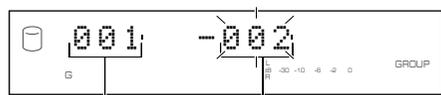
次のページへ続く

■ 再生中にメニューに入る場合

1. P.52『再生中にメニューに入る場合』の手順2で"Disc Combine"を選択し、確定します。

再生中のディスクが先頭部分のディスクとして確定されます。

ディスプレイには再生中のディスクの番号、末尾部分となるディスクの番号が表示されます。



再生中のディスク

末尾部分となるディスク

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、末尾部分となるディスクを選択します。

3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、末尾部分となるディスクを確定します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

4. COMPLETEボタンを押します。

指定したディスクの間の全ディスクがひとつのディスクになります。

結合したディスクの先頭から再生が再開されます。

ご注意

- ひとつのディスクに記録できるトラック数は最大99曲です。結合するディスクに記録されている合計トラック数が、これを超える場合、"Track No.Full"が表示されます。
- ひとつのディスクの最長時間は約99分59秒です。結合するディスクの合計時間が、これを超える場合、"No Enough Spc"が表示されます。

メモ

- 先頭部分となるディスク以降の、指定したディスクが使用していた番号は空き番号となります。
- 統合されたディスクのタイトルは、先頭部分のディスクのタイトルがそのまま有効となります。

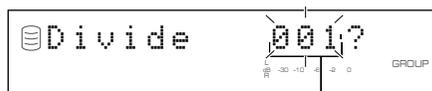
Disc Divide

ひとつのディスクを指定した位置で分割して、ふたつのディスクにします。

■ 停止状態からメニューに入る場合

1. P.52『停止状態からメニューに入る場合』の手順5で"Disc Divide"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



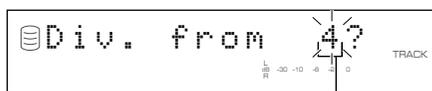
分割するディスク

分割するディスクの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、分割するディスクを選択します。

3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、分割するディスクを確定します。

ディスプレイに"Div.from"の文字と、分割位置(分割後のディスクの先頭になるトラックの番号)が表示されます。



分割後のディスクの先頭になるトラック

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、分割位置を選択します。

5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、分割位置を確定します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

6. COMPLETEボタンを押します。

指定したディスクを、指定した分割位置から分割します。編集メニュー項目の選択に戻ります。

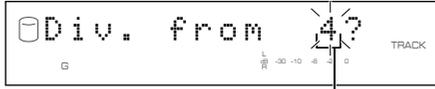
次のページへ続く

■ 再生中にメニューに入る場合

1. P.52『再生中にメニューに入る場合』の手順2で"Disc Divide"を選択し、確定します。

再生中のディスクが分割するディスクとして確定されま

す。ディスプレイには、"Div.from"の文字と、分割位置(分割後のディスクの先頭になるトラックの番号)が表示されます。



分割後のディスクの先頭になるトラック

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、分割位置を選択します。

3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、分割位置を確定します。

確定した内容をキャンセルするには、CLEARボタンを押します。

4. COMPLETEボタンを押します。

再生中のディスクを、指定した分割位置から分割します。分割してできた、ふたつめのディスクの先頭から再生が再開されます。

ご注意

- HDDに記録できるディスク数は最大999個です。すでにディスクが999個存在している場合、"Disc No.Full"が表示されます。

メモ

- 分割するディスク以降のディスクは、分割後ひとつずつ後ろにずれます。ただし、後ろに空き番号がある場合には、その前までのディスクが後ろにずれます。

Disc Divide前

1	2	空き	4	5	6
分割					
1	2	3	4	5	6

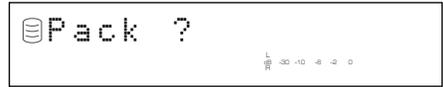
Disc Divide後(ディスク1を分割した場合)

Disc Pack

ディスクナンバーのつけかえや、ディスクの消去により発生した空き番号をつめてディスクを整理します。

1. P.52『停止状態からメニューに入る場合』の手順5で"Disc Pack"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



2. COMPLETEボタンを押します。

ディスクの空き番号が前につまって整理されます。編集メニュー項目の選択に戻ります。

Disc Pack前

1	空き	3	4	空き	6
1	2	3	4	5	6

Disc Pack後(空き番号がなくなる)

Disc Title

ディスクにタイトルをつけます。

■ 停止状態からメニューに入る場合

1. P.52『停止状態からメニューに入る場合』の手順5で"Disc Title"を選択し、確定します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



タイトルをつけるディスク

タイトルをつけるディスクの番号が点滅します。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、タイトルをつけるディスクを選択します。
3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、タイトルをつけるディスクを確定します。
ディスプレイには以下のように表示されます。



カーソルが点滅します。

確定したディスクにすでにタイトルがついている場合は、そのタイトルが表示されます。

4. MULTI JOGノブ、またはリモコンの英/数字ボタンを使って、タイトルを入力します。
入力方法については右記を参照ください。
5. すべての入力が終了したら、COMPLETEボタンを押します。
指定したディスクにタイトルがつけます。
編集メニュー項目の選択に戻ります。

■ 再生中にメニューに入る場合

1. P.52『再生中にメニューに入る場合』の手順2で"Disc Title"を選択し、確定します。

再生中のディスクがタイトルをつけるディスクとして確定されます。

ディスプレイには以下のように表示されます。



カーソルが点滅します。

確定したディスクにすでにタイトルがついている場合は、そのタイトルが表示されます。

2. MULTI JOGノブまたはリモコンの英/数字ボタンを使って、タイトルを入力します。

入力方法については下記を参照ください。

3. すべての入力が終了したら、COMPLETEボタンを押します。
指定したディスクにタイトルがつけます。
タイトルをつけたディスクの先頭から再生が再開されます。

■ MULTI JOGノブを使ってタイトルを入力する

1. MULTI JOGノブを右に回します。
右に回すと、文字が出てきます。文字はアルファベット大文字、アルファベット小文字、数字、記号の順番に並んでいますので、適切なものを選択してください。
2. MULTI JOGノブを押して、選択した文字を確定します。
カーソルが次の位置へ移動します。同様の操作を繰り返してタイトルを入力してください。最大32文字まで入力できます。

■ リモコンの英/数字ボタンを使ってタイトルを入力する

1. 入力したい文字を、リモコンの英/数字ボタンにより選択します。
1回押すごとに、文字はアルファベット大文字、アルファベット小文字、数字の順番に変わります。スペースはSPACEボタンを、記号はSYMBOLボタンを押して選択します。
2. 別の英/数字ボタンを押して、次の文字を選択します。
カーソルが自動的に次の位置に移動します。同じボタンを使う場合には、<>ボタンを押してカーソルを移動します。

メモ

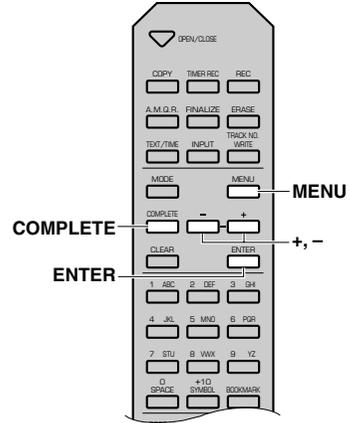
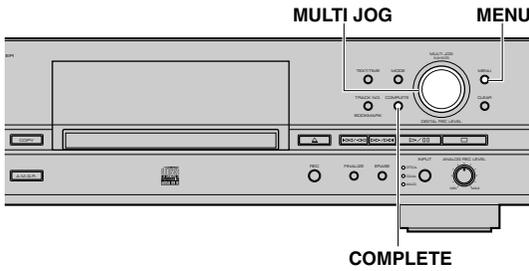
- すでに文字が入力されている位置にカーソルを移動し、文字を新規に入力、確定すると、もともとあった文字以降が後ろへずれて、新規に入力した文字が挿入されます。

■ 入力した文字を修正するには

<<</<<<ボタンまたは>>>/>>>ボタン(リモコンでは<<<ボタンまたは>>>ボタン)を押してカーソルを修正したい位置に移動し、CLEARボタンを押してその文字を消してから、新規に文字を入力し、確定してください。

編集を取り消す(Undo)

本機では、直前の編集操作に対して、その操作および結果を取り消すこと(Undo)ができます。



1. 停止状態で、MENUボタンを押します。ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Undo”を選択します。



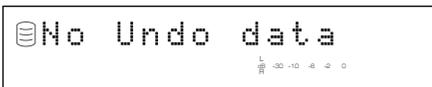
3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押すと、“Undo?”と表示されます。
4. COMPLETEボタンを押します。

直前の編集操作およびその結果が取り消されます。

ただし、編集操作後に、以下の操作をした場合には、編集操作を取り消せません。

- 録音をした、または録音しようとして録音一時停止状態にした。
- コピーをした、またはコピーしようとしてコピースタンバイ状態にした。
- 別の編集作業をした。
- HDDをフォーマットした。

編集操作を取り消せない場合は、以下のように表示されたあと、メニュー項目選択の表示に戻ります。

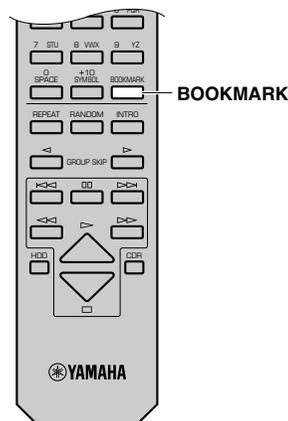
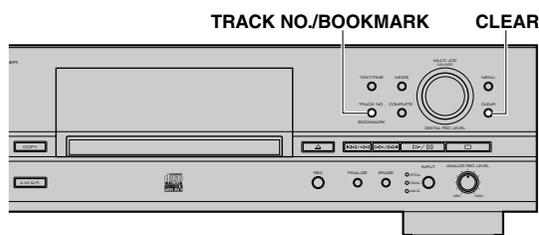


メモ

- トラックへのフェードイン、フェードアウトの付加については、いつでも解除が可能のため、取り消しの対象にはなりません。
- アルバム、トラック、ディスクのタイトル編集は取り消しの対象にはなりません。

ブックマークについて

本機ではトラックを再生しながら、そのトラックに一時的な印(ブックマーク)をつけることができます。ブックマークをつけたトラックは演奏順のリストとして保存されますので、聞きたいトラックをすぐに再生したり、アルバムを作成するときに便利です。



■ ブックマークをつける

再生中に、TRACK NO./BOOKMARKボタン(リモコンではBOOKMARKボタン)を押します。ディスプレイにMARKインジケータが点灯します。

MARK G

メモ

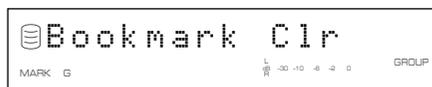
- 再生中、停止中にかかわらず、ブックマークがつけられたトラックが選択されているときは、常にMARKインジケータが点灯します。
- ブックマークをつけたトラックのリストは、HDDとCD各々ひとつずつ作成できます。
- HDD側でブックマークをつけて作成したトラックのリストは、HDDに保存されます。ただし、ひとつしか保存できないので、複数保存したいときは、アルバムにコピーしてください(P.32参照)。
- CD側でブックマークをつけて作成したトラックのリストは、CDを取り出したり、本機の電源を切ると消去されます。
- ブックマークを使ってアルバムを作成するには、ブックマークをつけたトラックのリストをアルバムにコピーします。P.32『Album Copy』で、「Mark」をコピー元として選択することにより、ブックマークをアルバムにコピーできます。

■ ブックマークを解除する

ブックマークをつけたトラックの再生中に、TRACK NO./BOOKMARKボタン(リモコンではBOOKMARKボタン)を押すと、MARKインジケータが消灯し、ブックマークが解除されます。

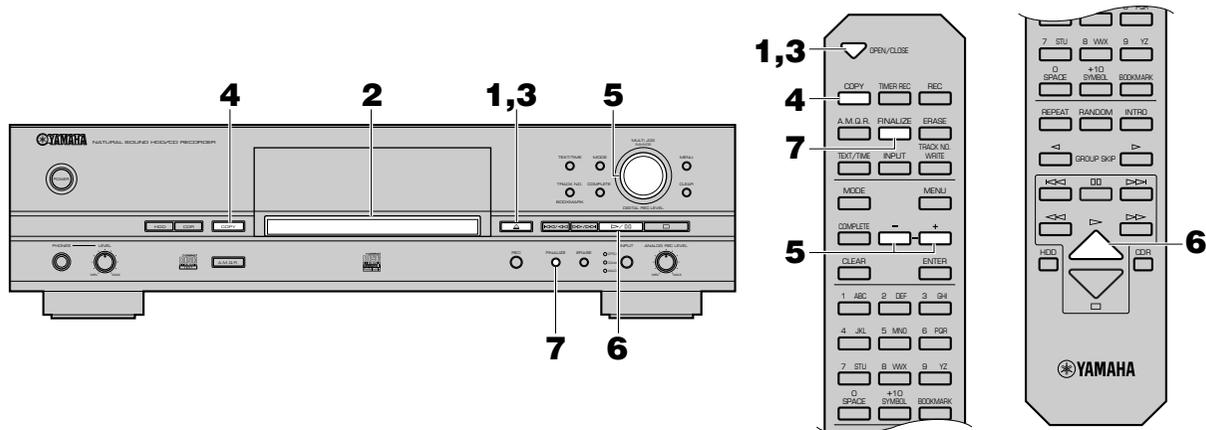
■ 操作中のドライブのブックマークをすべて解除する

停止中に本体のTRACK NO./BOOKMARKボタンを押しながらCLEARボタンを押すとディスプレイに以下の表示が出て、すべてのブックマークが解除されます。

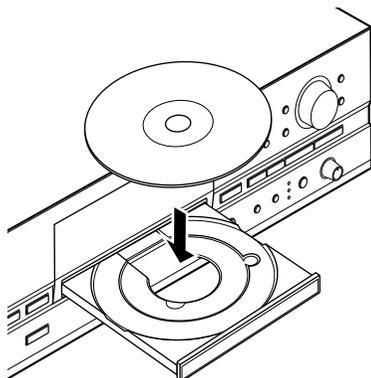


ひとつのグループの全曲をそのままコピーする

ディスク、アルバムなど、ひとつのグループの全曲をHDDにコピーします。



1. △ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、ディスクトレイを開けます。
2. 新品またはファイナライズされていない、CD-RまたはCD-RWを入れます。
ディスクトレイの溝にあわせ、記録面を下に向けてCD-RまたはCD-RWを置きます。



3. △ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、ディスクトレイを閉じます。

メモ

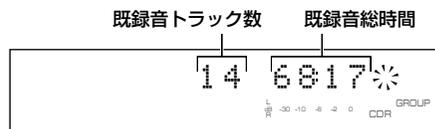
- ディスクトレイを静かに押しても、ディスクトレイは閉じません。ファイナライズされていないCD-RまたはCD-RWを入れた場合、再生が始まってしまうので、□ボタンを押して再生を停止してください。

本機にCD-RまたはCD-RWを入れると、本機内部でCD-RまたはCD-RWの種類や容量を読み取ります。読み取り完了まで約10~15秒かかります。その間、ディスプレイには以下のように表示されます。

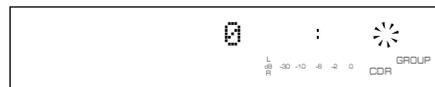
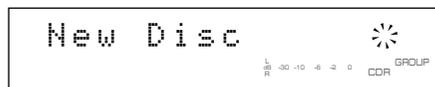


情報の読み取りが完了すると、ディスプレイには以下のように表示され、操作可能になります。

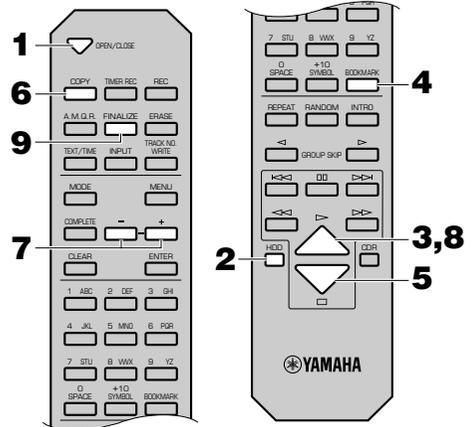
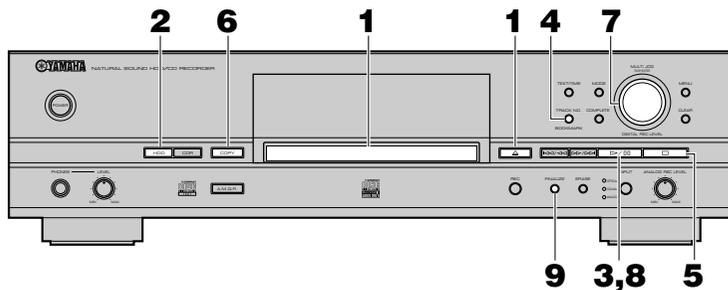
未ファイナライズのCD-RまたはCD-RWの場合



新品のCD-RまたはCD-RWの場合



お好みの曲を選んでコピーする



1. 新品またはファイナライズされていない、CD-RまたはCD-RWを入れます。

△ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押してトレイを開き、記録面を下に向けて置きます。△ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押してトレイを閉めます。

すでにブックマークをつけたトラックがあり、それをコピーする場合は手順6へ進んでください。

2. HDDボタンを押して、HDDを選択します。

3. HDD上のトラックの再生を開始します。

▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、再生が始まります。

4. お好みのトラックの再生中に、TRACK NO./BOOKMARKボタン(リモコンではBOOKMARKボタン)を押して、ブックマークをつけます。

ディスプレイにMARKインジケータが点灯します。



◀◀/◀または▶▶/▶ボタン(リモコンでは◀◀または▶▶ボタン)を押してトラックをスキップして、この操作を繰り返します。

ブックマークを解除するには

ブックマークをつけたトラックの再生中に、TRACK NO./BOOKMARKボタン(リモコンではBOOKMARKボタン)を押すと、MARKインジケータが消灯し、ブックマークが解除されます。

5. ブックマークをつけ終わったら、□ボタンを押して、再生を停止します。

ブックマークをつけた順番が曲順となり、保存されます。

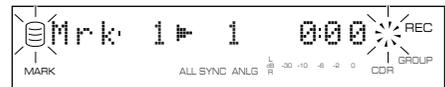
すべてのブックマークを解除するには

停止中に本体のTRACK NO./BOOKMARKボタンを押しながらCLEARボタンを押すとディスプレイに"Bookmark Clr"と表示され、すべてのブックマークが解除されます。

6. COPYボタンを2回押します。

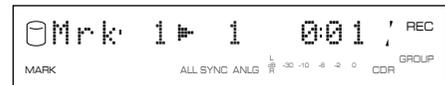
コピースタンバイ状態になります。この時点では、まだコピーは開始されません。

7. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、"Mrk"を選択します。



8. コピーを開始します。

▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、コピーが始まります。



メモ

- 入れたCD-RまたはCD-RWの記録条件等によっては、OPCがはたらきます。調節完了まで約15秒かかります。調節が完了し、"OPC Adjust"の表示が消えると、自動的にコピーが始まります。

コピーが終了すると、自動的にHDDとCDの動作が停止します。

9. FINALIZEボタンを押して、ファイナライズをします。

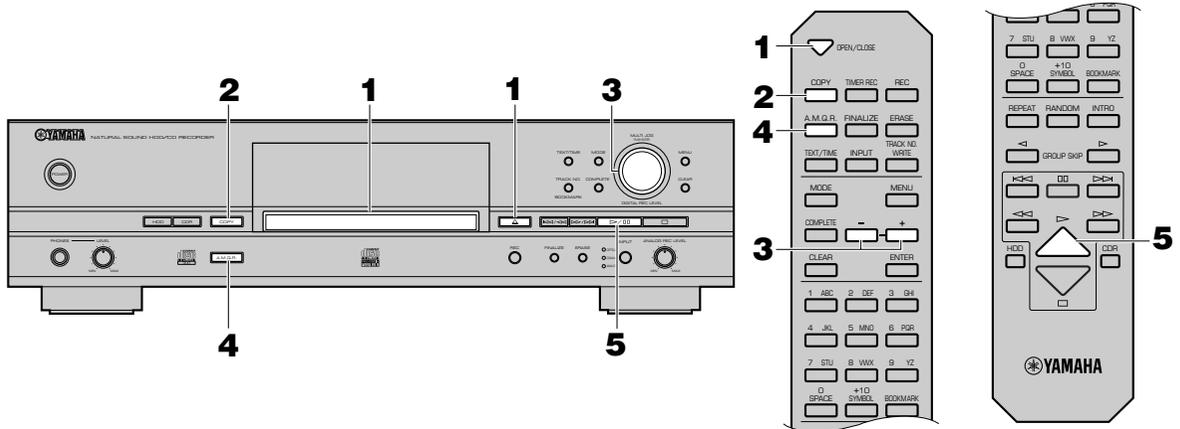
ファイナライズについては、P.70を参照ください。

高音質でコピーする

本機に搭載のAudioMASTER™機能を使用すれば、より音の品位が高いCDを作成することができます。

ご注意

- AudioMASTER™機能はHDDから新品のCD-Rへのコピー時のみ使用することができます。
- 録音可能時間は74分のCD-Rで63分、79分のCD-Rで68分になります。
- 外部機器から直接CD-RへAudioMASTER™で録音することはできません。



1. 新品のCD-Rを入れます。

△ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押してトレイを開き、記録面を下に向けて置きます。△ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押してトレイを閉めます。

2. COPYボタンを2回押します。

コピースタンバイ状態になります。この時点では、まだコピーは開始されません。

3. コピーしたいHDD上のグループを選択します。

MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)コピーしたいHDD上のグループを選択します。

4. A.M.Q.R.ボタンを押します。

A.M.Q.R.インジケーターが点灯します。



5. コピーを開始します。

▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、OPCを行ったあと、コピーが開始します。



以下の条件でコピーされます。

- Copy Method: Digital Move
- Copy Level: 0dB
- Copy Speed: 4x Speed

ご注意

- コピーを開始すると、完了するまでボタン操作を受けつけません。
- コピー中は絶対に電源を切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。

コピーが完了すると、自動的にHDDとCDの動作が停止します。

ご注意

- 選択したグループのトータル時間がCD-Rの録音可能時間(74分のCD-Rで63分、79分のCD-Rで68分)を超える場合は、以下のメッセージが表示され、AudioMASTER™でのコピーはできません。



- トラックのレベルが調節されたアルバムをコピー元として選択した場合は、以下のメッセージが表示され、AudioMASTER™でのコピーはできません。



- 74分または79分以外のCD-Rや4倍速の書き込みに対応していないCD-Rを本機に入れた場合、あるいはCD-RWを本機に入れた場合は、以下のメッセージが表示され、AudioMASTER™でのコピーはできません。

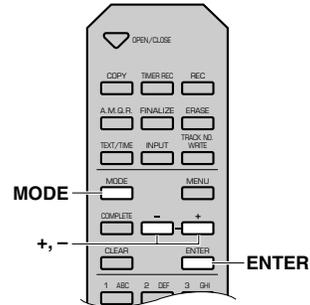
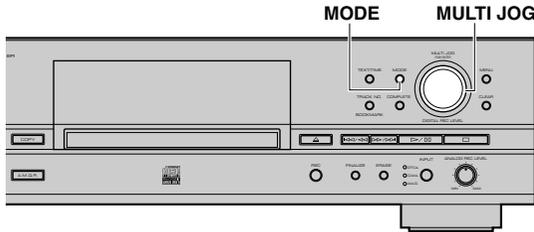


さらに進んだ使い方

■ コピーモードを設定する

本機には多様なコピーモードがあります。目的にあわせて適切なモードを選択してください。

初期設定: All Synchro



1. コピースタンバイ状態でMODEボタンを押します。
コピーモードの選択に入ります。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、コピーモードを選択します。
以下のコピーモードから選択してください。

All Synchro(全曲シンクロコピー)

ソース側の再生と同期して全曲をコピーします。曲間を検出して自動的にトラックマークがつかます。

Full Auto(フルオートシンクロコピー)

全曲シンクロコピー後、自動的にファイナライズされて、CD-RはすぐCDとして使用できます。

Multi Synchro(マルチシンクロコピー)

ソース側の再生と同期して指定した曲数をコピーします。曲数は最小1曲から最大99曲の範囲で指定できます。

3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、コピーモードを確定します。

"All Synchro"または"Full Auto"を確定した場合は、コピースタンバイ状態に戻ります。

"Multi Synchro"を確定した場合は、ディスプレイには以下のように表示されます。手順4へ進んでください。



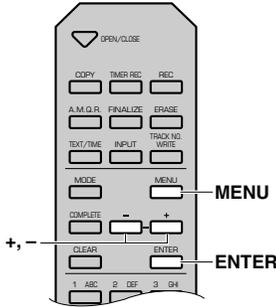
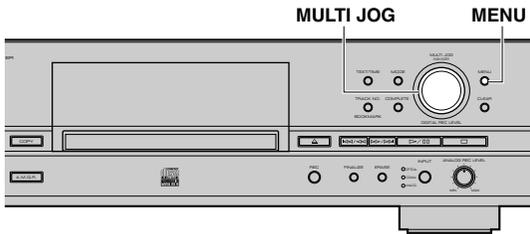
4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、コピーする曲数を指定します。
最小1曲から最大99曲の範囲で指定できます。

5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、確定します。
コピースタンバイ状態に戻ります。

6. コピーを開始するグループおよび曲を指定します。
MULTI JOGノブを回して、コピーを開始するグループおよび曲を指定します。GROUPインジケータが点灯しているときはグループの指定、TRACKインジケータが点灯しているときは曲の指定がそれぞれ可能です。MULTI JOGノブを押して、インジケータの切り替えをしてください。

■ コピーメニューを設定する

本機では、コピー時の詳細設定をコピーメニューにて設定することができます。以下の設定手順に従い、設定してください。



1. コピースタンバイ状態でMENUボタンを押します。
コピーメニューの設定に入ります。
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、設定したい項目を選択します。
設定できる項目は以下の3つです。
 - Copy Method(コピー方式の設定)
 - Copy Level(コピーレベルの設定)
 - Copy Speed(コピー速度の設定)
3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、設定したい項目を確定します。
4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、各項目を選択、設定してください。
各項目の選択、設定については、以下の各項目ごとの説明を参照してください。
5. 設定が終了したら、MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、設定を確定します。
6. MENUボタンを押して、メニューを終了します。
コピースタンバイ状態に戻ります。

■ コピー方式を設定する

コピーの方式を設定します。正しく設定しないと、コピーができない場合がありますので注意してください。



初期設定: Analog Copy

Analog Copy

常にアナログコピーします。

Digital Move

HDDからCDへ、データを移動します。したがって、この方式でCD-RまたはCD-RWに移動されたグループまたはトラックのデータはHDD上から消去されます。

Digital Copy

常にデジタルコピーします。SCMS(P.5参照)により、デジタルコピーが禁止されているトラックは、コピーできません。

Auto Dig/Anlg

自動的にデジタルコピーするか、アナログコピーするかをトラックごとに切り替えます。SCMS(P.5参照)により、デジタルコピーが禁止されているトラックは、アナログコピーし、禁止されていないトラックはデジタルコピーします。

メモ

- アナログコピー時は、若干レベルが下がってコピーされる場合があります。
- 設定内容は記憶されて、次のコピー時にも適用されます。

■ コピーレベルを設定する

コピー時の音声レベルを設定します。通常、調節は不要ですが、必要に応じて調節することができます。



『コピーメニューを設定する』の手順3で"Copy Level"を確定すると、ディスプレイには以下のように表示されます。



1. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、レベルを調節します。

-12dBから+12dBの範囲で、0.4dBステップで調節できます。

2. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、コピーレベルを確定します。

メモ

- コピー中はレベルの調節ができません。
- 最大音量時にピークレベルメーターの赤色の部分が点灯する場合は、いったんコピーを停止して、レベルを再調節してから再度コピーをしてください。



- レベルを調節すると、コピー速度は最大2倍速になります。

■ コピー速度を設定する

コピーする速度を設定します。



初期設定: Best Effort

Best Effort

コピー方式やコピーレベルの設定およびCD-R/CD-RWの条件に応じた最大速度でコピーします。

- Auto Dig/Anlg設定時: 最大2倍速
- Digital Move設定時: 最大8倍速(CD-R)、最大4倍速(CD-RW)
- Digital Copy設定時: 最大8倍速(CD-R)、最大4倍速(CD-RW)
- Analog Copy設定時: 最大2倍速

1x Copy

コピー方式やコピーレベルの設定にかかわらず、等倍速でコピーします。

2x Copy

コピー方式やコピーレベルの設定にかかわらず、2倍速でコピーします。

メモ

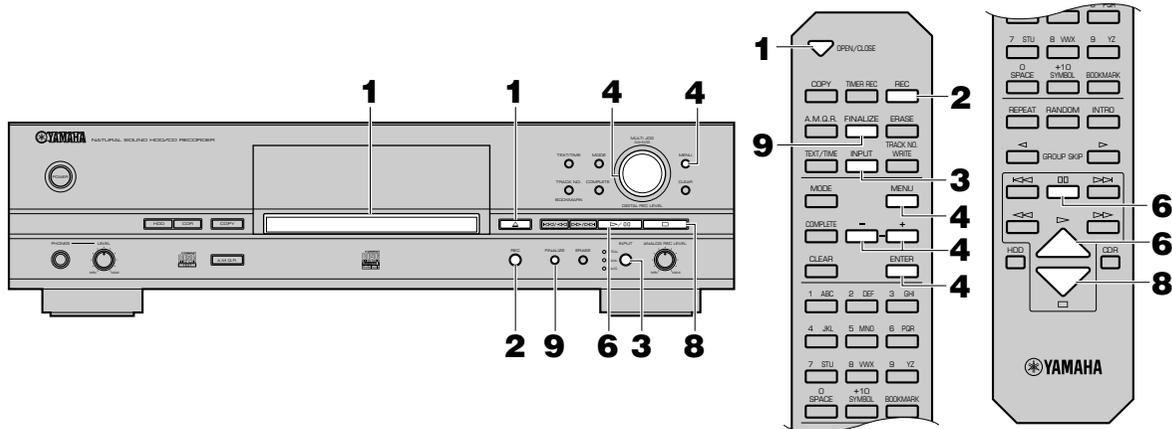
- "Best Effort"を選択した場合でも、CD-RまたはCD-RWの条件により、自動的にコピー速度が低下する場合があります。
- 高速書き込みに対応していないCD-RまたはCD-RWの場合は、2x Copyまたは1x Copyを選択してください。
- 設定内容は記憶されて、次のコピー時にも適用されます。

外部機器からCD-R/CD-RWへの録音

外部機器から直接CD-RまたはCD-RWへ録音することもできます。以下、本機の光/同軸デジタル入力端子に接続した外部CDプレーヤーからデジタル録音する場合を例にあげます。

メモ

- 録音を開始する前に、CD-RまたはCD-RWの録音可能残り時間を確認してください(P.11参照)。

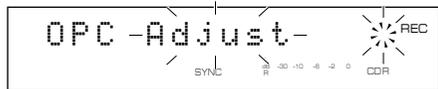


1. 新品またはファイナライズされていないCD-RまたはCD-RWを入れます。

△ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押してトレイを開き、記録面を下に向けて置きます。△ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押してトレイを閉めます。

2. RECボタンを押します。

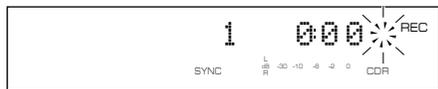
入れたCD-RまたはCD-RWの記録条件等によっては、OPCがはたらきます。調節完了まで約15秒かかります。



OPCが不要な場合は、以下のように表示されます。



数秒後、ディスプレイには以下のように表示され、録音一時停止状態になります。



メモ

- 録音一時停止状態のまま、約5分間放置すると、自動的に一時停止状態から停止状態になります。

3. 録音する入力ソースを選択します。

外部CDプレーヤーからデジタル録音する場合は、OPTICALまたはCOAXIALインジケータが点灯するまで、INPUTボタンを押します。

アナログ録音するときには…

ANALOGインジケータが点灯するまで、INPUTボタンを押します。

4. 録音レベルを調節します。

通常、デジタル録音時には調節は不要ですが、必要に応じて調節することができます。

録音する入力ソースの一番大きい音の(レベルが高い)部分を再生します。

MENUボタンを押すと、ディスプレイがレベル調節の表示になります。MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、レベルを調節します。レベルの調節が終わったら、MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、レベルを確定します。

アナログ録音するときには…

ANALOG REC LEVELツマミを回して、レベルを調節します。

メモ

- 録音レベルの調節は、最大音量時にピークレベルメーターの赤色の部分を点灯させない程度にしてください。

詳しくはP.24『録音レベルを調節する』を参照ください。

5. 録音モードを選択します。

1曲だけ録音したい場合は、"Multi Synchro"を選択して、録音する曲数を1曲に指定してください。

録音開始および停止、トラックマーキングをすべて自動で行いたい場合は、"All Synchro"を選択します。

CD-RまたはCD-RWのファイナライズまで自動で行いたい場合は、"Full Auto"を選択します。

詳しくは、P.69『録音モードを設定する』を参照ください。

6. 録音を開始します。

▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタンまたは00ボタン)を押すと、録音が始まります。

**メモ**

- マルチシンクロ録音、全曲シンクロ録音、フルオートシンクロ録音時には、ソースを再生すると自動的に録音が始まります。

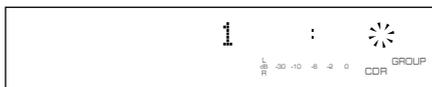
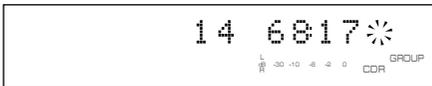
7. 外部CDプレーヤーの再生を開始します。

録音を一時停止するには、▷/00ボタン(リモコンでは00ボタン)を押します。"Wait"が点滅します。数秒後、CDRマークが点滅し、トラックナンバーがひとつ繰り上がります。

録音を再び始めるには、▷/00ボタン(リモコンでは▷または00ボタン)を押します。

8. 録音を終えるには、□ボタンを押します。

"Wait"が点滅します。数秒後、既録音トラック数および既録音総時間が表示されたあと、録音された最初のトラックナンバーが表示されます。

**9. 録音がすべて終了したら、FINALIZEボタンを押して、ファイナライズします。**

ファイナライズについてはP.70を参照ください。

CD TEXTの扱い

コピー可能なCD TEXTを含むCDを外部プレーヤーから録音しても、CD TEXTはコピーされません。CD TEXTをコピーするには、いったんHDDへコピー(P.14)したあと、CD-RまたはCD-RWへコピー(P.60)するか、CDを複製してください(P.72)。

重要

- 録音中に電源を切らないでください。正しく録音できなかったり、CD-RやCD-RWが破損する原因となります。
- CD-Rに録音中、電源を切ると、PMA(Program Memory Area)に情報が書き込まれないため、ディスクに録音できなくなったり、正しく再生できない場合があります。
- 音飛びの原因となる場合があるので、録音中は衝撃や振動を本機に加えないでください。

メモ

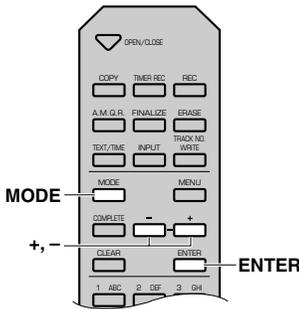
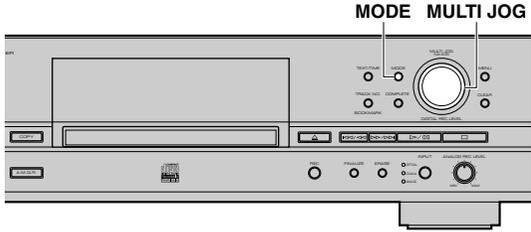
- CS放送等の番組を録音する場合は、まずHDDへ録音することをおすすめします。HDD上で編集してから、CD-RまたはCD-RWにコピーすれば、失敗が少なくCDを作成できます。HDDへの録音のしかたについてはP.20を、編集についてはP.29を参照ください。
- 本機一台で簡単に、すばやくCDを複製することもできます。CDの複製のしかたについてはP.72を参照ください。

さらに進んだ使い方

■ 録音モードを設定する

本機には多様なコピーモードがあります。目的にあわせて適切なモードを選択してください。

初期設定: Track Synchro



1. 録音一時停止状態でMODEボタンを押します。

録音モードの選択に入ります。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、録音モードを選択します。

以下の録音モードから選択してください。

Manual(マニュアル録音)

録音開始、停止、トラックマーキング、ファイナライズ等すべての録音操作は、マニュアルで行います。

Track Synchro(トラックシンクロ録音)

録音開始および停止操作のみマニュアルで行います。トラックマークは曲間を検出して自動的につきます。

Multi Synchro(マルチシンクロ録音)

ソース側の再生と同期して指定した曲数を録音します。曲数は最小1曲から最大99曲の範囲で指定できます。いろいろなソースからお好みの曲だけを録音するときに便利です。

All Synchro(全曲シンクロ録音)

ソース側の再生と同期して全曲を録音します。曲間を検出して自動的にトラックマークがつきます。

Full Auto(フルオートシンクロ録音)

全曲シンクロ録音後、自動的にファイナライズされて、CD-RはすぐCDとして使用できます。

Auto Period(オートピリオド録音)

指定した時間間隔で、トラックマークをつけながら、指定したトータル時間分を録音します。トラックマークをつける時間間隔は最短10秒から最長30分の範囲で、10秒ステップで指定できます。FM放送などの録音内容をサーチするときなどに便利です。

3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、録音モードを確定します。

"Manual"、"Track Synchro"、"All Synchro"または"Full Auto"を確定した場合は、録音一時停止状態に戻ります。"Multi Synchro"を確定した場合は、ディスプレイには以下のように表示されます。手順4、5にしたがって設定します。



"Auto Period"を確定した場合は、ディスプレイには以下のように表示されます。手順6~9にしたがって設定します。



4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、コピーする曲数を指定します。

最小1曲から最大99曲の範囲で指定できます。

5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、指定する曲数を確定します。

録音一時停止状態に戻ります。

6. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、トラックマークをつける時間間隔を指定します。

最短10秒から最長30分の範囲で、10秒ステップで指定できます。

7. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、トラックマークをつける時間間隔を確定します。

ディスプレイには以下のように表示され、録音するトータル時間の指定に入ります。



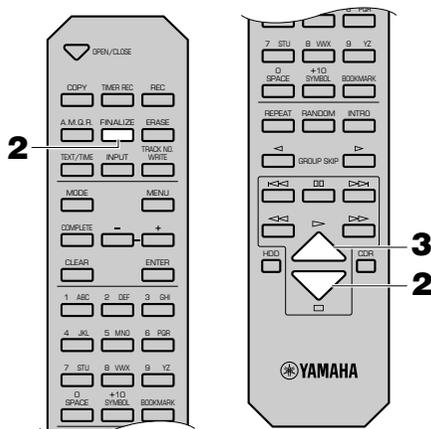
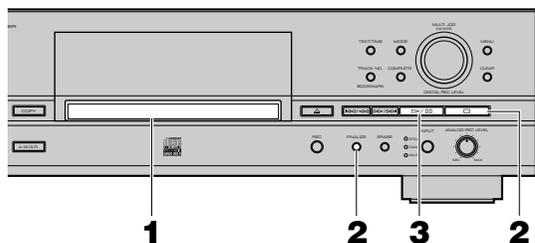
8. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、録音するトータル時間を指定します。

9. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、録音するトータル時間を確定します。

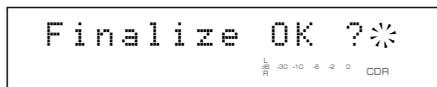
録音一時停止状態に戻ります。

ファイナライズ

ファイナライズとは、録音が終了したCD-Rを一般のCDプレーヤーで再生できるようにしたり、CD-RWをCD-RW対応プレーヤーで再生できるようにする最終処理です。

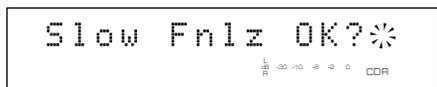


1. 未ファイナライズの録音済みCD-RまたはCD-RWを入れます。
2. FINALIZEボタンを押します。

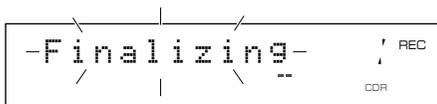


ファイナライズをやめるときは、□ボタンを押します。

低速でファイナライズしたいときは、約3秒間FINALIZEボタンを押したままにします。ディスプレイには以下のように表示され、低速ファイナライズモードになります。



3. ▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押して、ファイナライズを始めます。



ファイナライズ中はレベルメーターにて、進行状況を表示します。



ファイナライズ開始

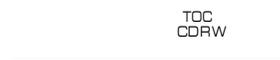


ファイナライズ中

ファイナライズが完了すると、TOCインジケーターが点灯し本機は停止します。



CD-Rの場合



CD-RWの場合

ご注意

- ファイナライズ済みのCD-Rには、追加で録音できません。ファイナライズする前に、録音がすべて終了したか、よく確認してください。
- CD-RまたはCD-RWを入れる前に、CD-RまたはCD-RWに傷やほこり、指紋などの汚れがついていないか確認してください。汚れがついている場合は、CD-RまたはCD-RWを拭いてください。(CD-RまたはCD-RWのお手入れについては、P.4を参照ください。)
- ファイナライズが始まると、ファイナライズが完了するまで、操作ボタンを受け付けません。
- ファイナライズ中は絶対に電源を切ったり、電源コードを抜かないでください。

CD-RWの消去

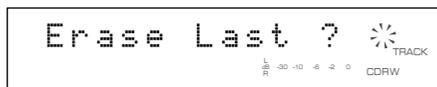
CD-RWでは一度録音したものを消去できます。また、消去した箇所に、新たに追加録音できます。消去方法は以下の4通りです。

■ 最終曲消去

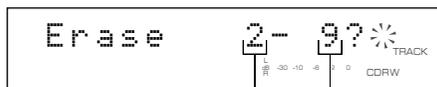
CD-RWの最終曲を消去します。この操作はファイナライズ済みのCD-RWや、1曲しか録音されていないCD-RWではできません。

1. 消去したいCD-RWを入れます。
2. ERASEボタンを押します。

ディスプレイには以下のように表示されます。



最終曲のみを消去するには、手順3に進みます。最終曲のさらに前の曲も含めて消去するにはMULTI JOGノブを回して、消去する曲の範囲を指定してください。



消去を始める曲 最終曲

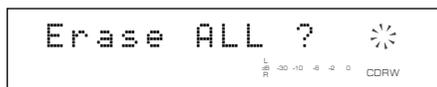
消去を中止したいときは、□ボタンを押します。

3. ▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押して、消去を始めます。
"Erasing"が点滅するとともに、レベルメーターにて進行状況を表示します。
4. 消去が完了すると、本機は停止します。

■ 全曲消去

CD-RWに記録されている全曲を消去します。ファイナライズ済みのCD-RWの場合は、TOCも消去されます。

1. 消去したいCD-RWを入れます。
2. ディスプレイに"Erase ALL ?"が表示されるまで、ERASEボタンを押します。



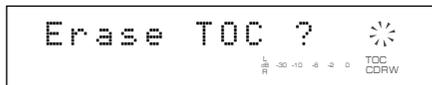
消去を中止したいときは、□ボタンを押します。

3. ▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押して、消去を始めます。
"Erasing"が点滅するとともに、レベルメーターにて進行状況を表示します。
4. 消去が完了すると、本機は停止します。

■ TOC消去

この操作はファイナライズ済みのCD-RWでのみ可能です。TOCを消去したあとは、追加の録音が可能となります。

1. ファイナライズ済みのCD-RWを入れます。
2. ERASEボタンを押します。
ディスプレイに"Erase TOC ?"と表示されます。



消去を中止したいときは、□ボタンを押します。

3. ▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押して、消去を始めます。
"Erasing"が点滅するとともに、レベルメーターにて進行状況を表示します。

4. 消去が完了すると、本機は停止します。

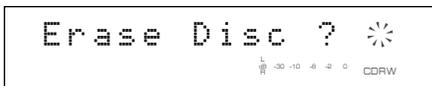
メモ

- TOC消去が完了すると、TOCインジケーターが消灯します。

■ ディスク消去

この操作はCD-RW上すべての情報を消去します。

1. 消去したいCD-RWを入れます。
2. 約2秒間、ERASEボタンを押したままにします。
ディスプレイに"Erase Disc ?"と表示されます。



消去を中止したいときは、□ボタンを押します。

3. ▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押して、消去を始めます。
"Erasing"が点滅するとともに、レベルメーターにて進行状況を表示します。

4. 消去が完了すると、本機は停止します。

ご注意

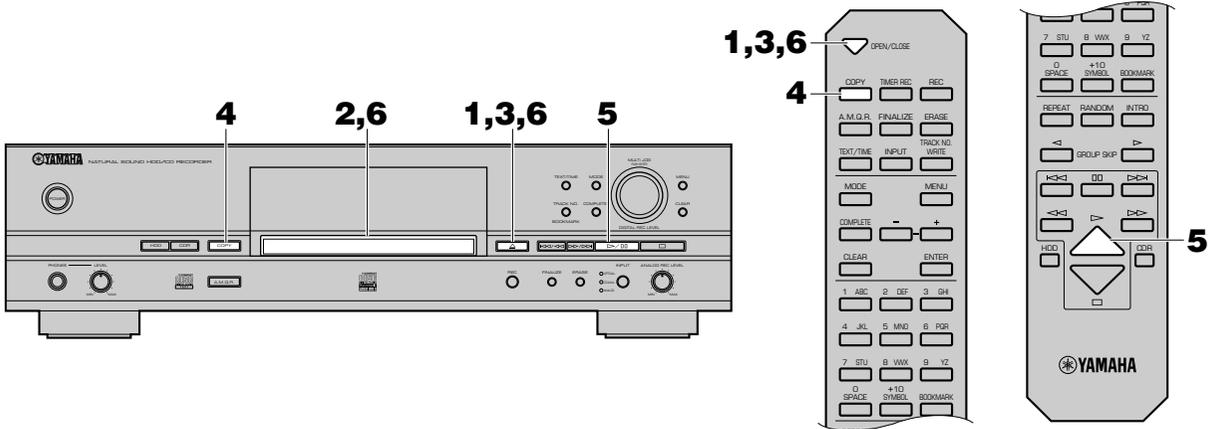
- 消去中は電源を切らないでください。
- 消去中、ディスプレイに"Check Disc"と表示され、消去が停止した場合、CD-RWが汚れていたり、破損している可能性があります。CD-RWを取り出して確認し、もう一度消去してください。
- ディスク消去には、約20分程度の時間がかかります。

CDの複製(Duplicate)

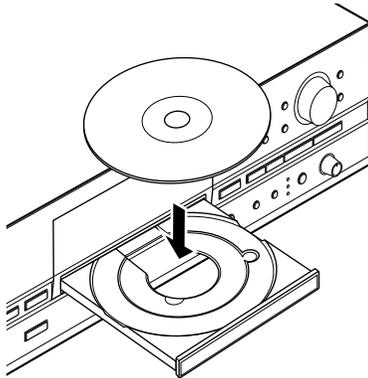
市販のCDを本機一台で簡単に、すばやく複製します。

ご注意

- 高速書き込みに対応していないCD-RまたはCD-RWをご使用の場合、正しく複製できないことがあります。このような場合は、HDDへコピーしたあと、2倍速または1倍速でCD-RまたはCD-RWへデジタルムーブをしてください。



- △ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、ディスクトレイを開けます。
- 複製したいCDをトレイに置きます。
ディスクトレイの溝にあわせ、レーベル面を上にしてCDを置きます。

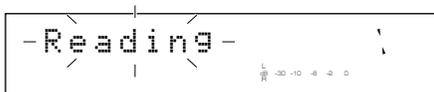


- △ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、ディスクトレイを閉じます。

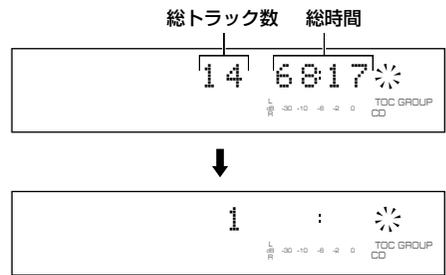
メモ

- ディスクトレイを静かに押ししても、ディスクトレイは閉じません。この場合、CDの再生が始まってしまうので、□ボタンを押して再生を停止してください。

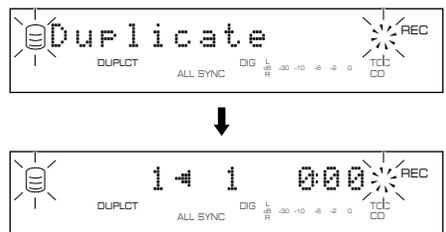
本機にCDを入れると、本機内部でCDの種類や容量を読み取ります。読み取り完了まで約10~15秒かかります。その間、ディスプレイには以下のように表示されます。



情報の読み取りが完了すると、ディスプレイには以下のように表示され、操作可能になります。



- COPYボタンを3回押します。
ディスプレイには以下のように表示され、コピースタンバイ状態になります。この時点では、まだ複製は開始されません。



5. CDからHDDへのコピーを開始します。

▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、コピーが開始します。以下の条件でコピーされます。

- Copy Method: Digital Copy
- Copy Level: OdB
- Copy Speed: Best Effort

ご注意

- □ボタンを押して中断した場合、中断前にコピーが完了しているデータでも、HDD上に残りません。
- SCMSにより、デジタルコピーが禁止されているトラックはコピーされません。

CDからHDDへのコピーが終了すると、ディスプレイには以下のように表示されます。



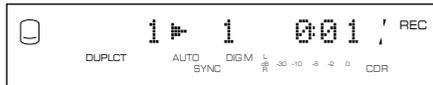
6. 新品のCD-RまたはCD-RWを入れます。

△ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押してディスクトレイを開き、記録面を下に向けて置きます。△ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押してディスクトレイを閉めます。

ご注意

- すでにトラックが録音されているCD-RまたはCD-RWへの追加録音はできません。

ディスクトレイを閉じると、本機は入れたCD-RまたはCD-RWの情報を読み取ります。読み取り終了後、HDDからCD-RまたはCD-RWへのコピーが自動的に始まります。



以下の条件でコピーされます。

- Copy Method: Digital Move
- Copy Level: OdB
- Copy Speed: Best Effort

メモ

- 情報の読み取り後、入れたCD-RまたはCD-RWの記録条件等によっては、OPCがはたります。



調節が完了し、上記のディスプレイ表示が消えると、自動的にコピーが始まります。

ご注意

- □ボタンを押して中断した場合、中断前にコピーが完了しているデータのみCD-RまたはCD-RWに残ります。またHDD上のコピー元データはすべて消去されます。

コピーが終了すると、自動的にHDDの動作が停止し、CD-RまたはCD-RWをファイナライズします。



ファイナライズを終了すると、本機は停止します。

CD TEXTの扱い

複製するCDに、コピー可能なCD TEXTがある場合は、複製時に自動的にCD TEXTをコピーします。

ご注意

- 複製したいCDのトータル時間がCD-Rの録音可能時間(74分のCD-Rで63分、79分のCD-Rで68分)を超える場合は、以下のメッセージが表示され、AudioMASTER™での複製はできません。



- 74分または79分以外のCD-Rや4倍速の書き込みに対応していないCD-Rを本機に入れた場合、あるいはCD-RWを本機に入れた場合は、以下のメッセージが表示され、AudioMASTER™での複製はできません。



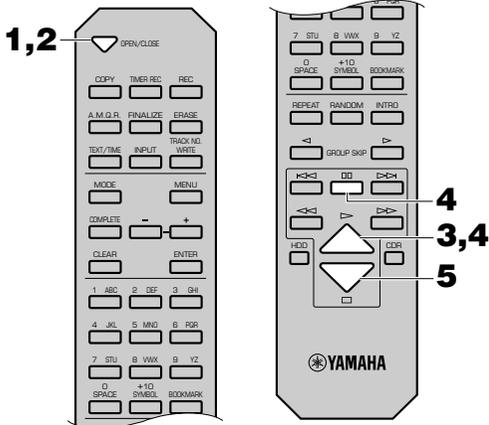
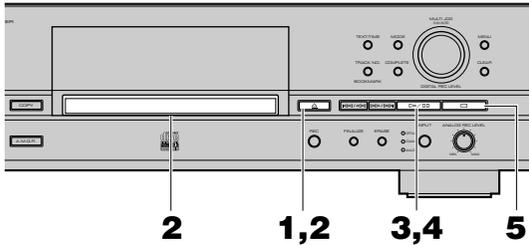
- コピーを開始すると、完了するまでボタン操作を受けつけません。

コピーが完了すると、自動的にHDDとCDの動作が停止します。

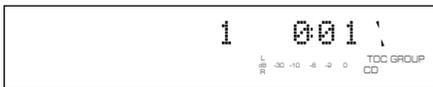
再生

本機では、HDDとCDの二種類の記録媒体を切り替えて再生することができます。HDDを再生する場合はHDDボタンを、CD(CD-RまたはCD-RWを含む)を再生する場合はCDRボタンを押してください。

CDの再生

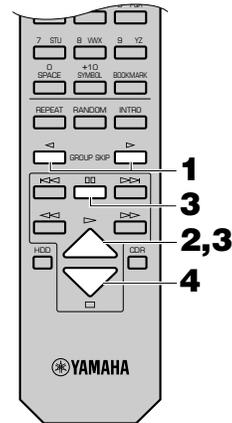
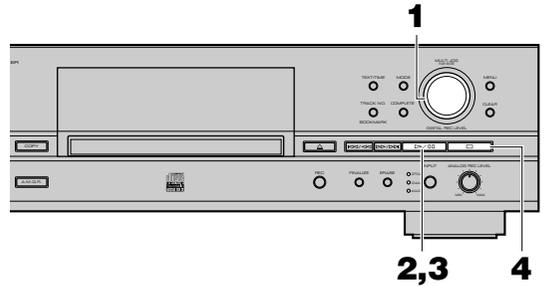


1. △ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、ディスクトレイを開けます。
2. CDをディスクトレイに置き、△ボタン(リモコンではOPEN/CLOSEボタン)を押して、ディスクトレイを閉めます。本機内部でディスク情報を読み取ります。その間、ディスプレイには"Reading"と点滅します。
3. 再生を開始します。
▷/⏏ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、一曲目から再生が始まります。

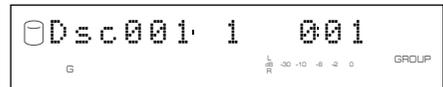


4. 再生を一時停止するには、▷/⏏ボタン(リモコンでは⏏ボタン)を押します。
再生を再び始めるには、▷/⏏ボタン(リモコンでは▷または⏏ボタン)を押します。
5. 再生を終えるには、□ボタンを押します。

HDDの再生



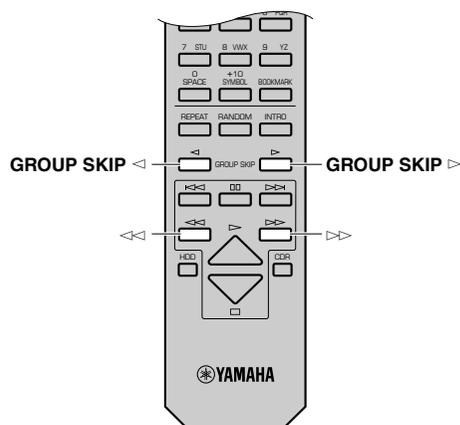
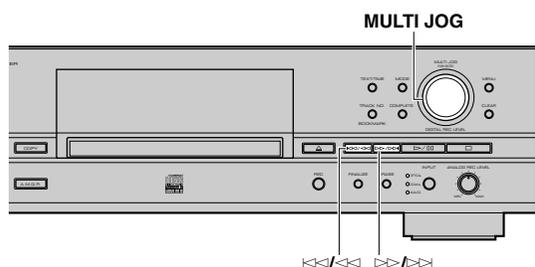
1. GROUPインジケーターが点灯していることを確認し、MULTI JOGノブを回して(リモコンではGROUP SKIP◀またはGROUP SKIP▶ボタンを押して)、再生したいグループ(ディスク、アルバム、ブックマーク)を選択します。
2. 再生を開始します。
▷/⏏ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、選択したグループに記録されている一曲目の最初から再生が始まります。



3. 再生を一時停止するには、▷/⏏ボタン(リモコンでは⏏ボタン)を押します。
再生を再び始めるには、▷/⏏ボタン(リモコンでは▷または⏏ボタン)を押します。
4. 再生を終えるには、□ボタンを押します。

重要

- 再生中に電源を切らないでください。HDD上のデータの破損の原因となることがあります。
- HDD故障の原因となる場合があるので、再生中は衝撃や振動を本機に加えないでください。



聞きたい部分を探す(サーチ)

■ 早送りする

再生中に、>>>/>>>ボタン(リモコンでは>>>ボタン)を押したままにします。

ボタンから手を離れたところから、通常の再生が始まります。

■ 早戻しする

再生中に、<<</<<<ボタン(リモコンでは<<<ボタン)を押したままにします。

ボタンから手を離れたところから、通常の再生が始まります。

メモ

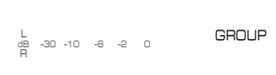
- 一時停止中でもサーチすることができます。一時停止中のサーチでは、音は聞こえません。
- アルバム編集の"Tr. Interval"(P.38参照)でつけた、アルバムの曲間での一時停止やサーチはできません。

聞きたいグループを探す(グループスキップ)

HDDに記録されているグループ(ディスク、アルバム、ブックマーク)から、聞きたいグループを選択することができます。

■ MULTI JOGノブでグループを選択する

MULTI JOGノブを押して、ディスプレイにGROUPインジケータを点灯させます。



MULTI JOGノブを右に回すと、次のグループ、さらに次のグループへと進みます。左に回すと、前のグループ、さらに前のグループに戻ります。

■ 次のグループを聞く

リモコンのGROUP SKIP>>>ボタンを押します。

続けて次のグループに進むには、GROUP SKIP>>>ボタンを繰り返し押しします。

■ 前のグループを聞く

リモコンのGROUP SKIP<<<ボタンを押します。

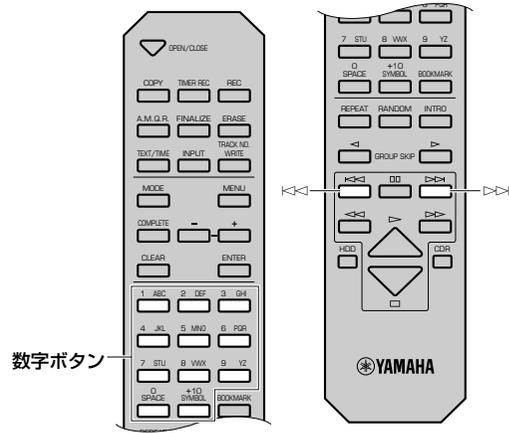
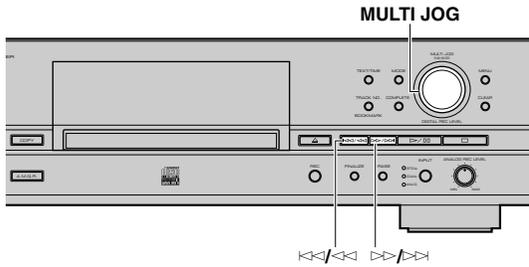
さらに前のグループに戻るには、GROUP SKIP<<<ボタンを繰り返し押しします。

メモ

- 再生中、一時停止中、停止中にかかわらず、グループスキップすることができます。
- 再生は、選択したグループに記録されている一曲目の最初から始まります。

レジュームプレイ機能

□ボタンを押して再生を停止したあと、▷/□ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、停止した曲の最初から再生が始まります。これをレジュームプレイと呼びます。□ボタンを押して再生を停止したあと、もう一度□ボタンを押すと、レジュームプレイ機能が解除されます。解除後の再生は、ディスク(またはアルバム)やCDに記録されている最初の曲から始まります。



聞きたい曲を探す(トラックスキップ)

■ MULTI JOGノブで選曲する

MULTI JOGノブを押して、ディスプレイにTRACKインジケータを点灯させます。



MULTI JOGノブを右に回すと、次の曲、さらに次の曲へと進みます。左に回すと、前の曲、さらに前の曲に戻ります。

■ 次の曲を聞く

▷▷/▷▷ボタン(リモコンでは▷▷ボタン)を押します。

続けて次の曲へ進むには、▷▷/▷▷ボタン(リモコンでは▷▷ボタン)を繰り返し押します。

■ 再生中の曲の最初に戻る

再生中に、◀◀/◀◀ボタン(リモコンでは◀◀ボタン)を1回押します。

■ 前の曲を聞く

◀◀/◀◀ボタン(リモコンでは◀◀ボタン)を2回押します。

さらに前の曲に戻るには、◀◀/◀◀ボタン(リモコンでは◀◀ボタン)を繰り返し押します。

■ リモコンの数字ボタンで選曲する

リモコンの数字ボタンを押して、聞きたい曲を選択します。ディスプレイには聞きたい曲番号が表示されます。

例: 25曲目を選択する場合

+10ボタンを2回押し、すぐ5ボタンを1回押します。

メモ

- ディスク(またはアルバムやブックマーク)やCDに記録されている曲数以上の曲番をリモコンで入力すると、最後の曲を再生します。

メモ

- 再生中、一時停止中、停止中にかかわらず、トラックスキップすることができます。

オンスクリーン表示を見ながら選曲する

本機にモニターを接続すると、再生するグループやトラックのリスト(一覧)を表示させることができます。選曲する際にオンスクリーンを利用すると、グループやトラックの表示が本体のディスプレイに比べ、見やすく表示されるため、便利です。

メモ

- ビデオ出力の設定がオフになっているときは、オンスクリーン表示は出力されません。設定をオンにして使用してください(P.87参照)。

■ グループを選択する

1. MULTI JOGノブを押して、GROUPインジケータを点灯させます。



モニターには以下のように表示されます。



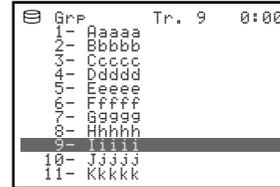
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、グループを選択します。
選択されているグループの表示が反転します。

■ トラックを選択する

1. MULTI JOGノブを押して、TRACKインジケータを点灯させます。



モニターには以下のように表示されます。



2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、トラックを選択します。
選択されているトラックの表示が反転します。

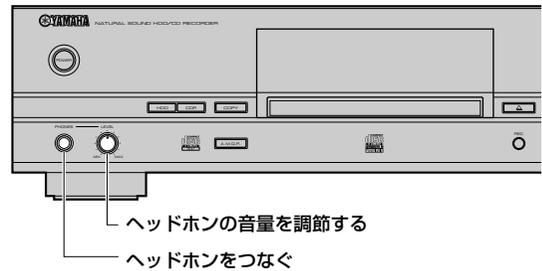
メモ

- ブックマークがついているトラックは表示の前にアスタリスク(*)がついています。

再生

ヘッドホンを使って聞く

お手持ちのヘッドホンのプラグをPHONES端子に接続します。
LEVELツマミを回して、ヘッドホンの音量を調節します。



ご注意

- 本機が接続されているアンプ、レシーバー等の電源が切れていると、本機の音が歪むことがあります。この場合は、接続されているアンプ、レシーバー等の電源を入れた状態でご使用ください。

いろいろな再生のしかた

本機では各種設定により、さまざまな方法で再生することができます。以下設定項目別に、設定手順を説明します。

メモ

- プレイスタイル、ランダム再生、リピート再生、イントロ再生の設定は再生中でも設定できます。
- プレイスタイル、ランダム再生、全曲リピート再生の設定は電源を切っても記憶されています。

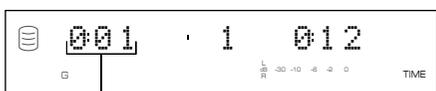
聞きたい部分を時間で探す (タイムサーチ)

聞きたい部分を、時間指定してサーチします。

1. HDDボタンまたはCDRボタンを押して、操作するドライブを選択します。
2. MODEボタンを押して、再生モードの設定に入ります。ディスプレイに"Time Search"と表示されます。



3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押します。ディスプレイには以下のように表示されます。



サーチする時間

4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、サーチする時間を設定します。回すのをやめると、設定した時間をサーチし、その時間から再生します。

メモ

- MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押しても、設定した時間をサーチすることができます。
- <<</<<または>>>/>>>ボタン(リモコンでは<<<または>>>ボタン)を押すと、他のトラックへスキップすることができます。サーチする時間は他のトラックへスキップした時点で、"0:00"にリセットされます。
- リモコンのGROUP SKIP <またはGROUP SKIP >ボタンを押すと、他のグループへスキップすることができます。サーチする時間は他のグループへスキップした時点で、"0:00"にリセットされます。
- タイムサーチ中は、<<</<<または>>>/>>>ボタンを押しつづけても(リモコンでは<<<または>>>ボタンを押しても)、通常のサーチをすることはできません。

5. 通常の再生に戻るには、MODEボタンを押します。

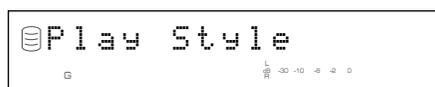
メモ

- ランダム再生中およびイントロ再生中はタイムサーチできません。

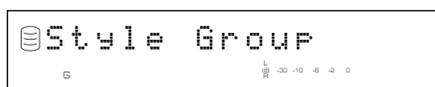
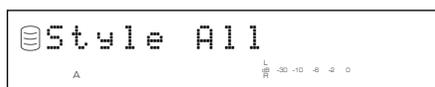
プレイスタイルを設定する

HDD再生時のみ、プレイスタイルを設定することができます。プレイスタイルの設定により、再生するときの演奏範囲が変わります。

1. HDDボタンを押して、HDDドライブを選択します。
2. MODEボタンを押して、再生モードの設定に入ります。
3. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、"Play Style"を選択します。



4. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、プレイスタイルの設定に入ります。
5. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、"Style All"または"Style Group"を選択します。



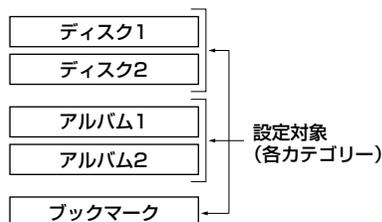
6. MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)、確定します。

■ "Style All"を確定した場合

ディスプレイのAインジケーターが点灯します。



HDD上に記録されているグループ(ディスク、アルバムおよびブックマーク)のうち、どれかひとつの категорияがランダム再生、全曲リピート再生、イントロ再生の設定対象となります。



- ランダム再生設定時は、指定したグループが属するカテゴリの全曲からランダムに選択して再生します。
- 全曲リピート再生設定時は、指定したグループが属するカテゴリの全曲を繰り返し再生します。
- イン트로再生設定時は、指定したグループが属するカテゴリの全曲の最初の部分だけを次々に再生します。

例えば、ディスク1を再生中に全曲リピート再生を設定すると、ディスク1とディスク2に記録されている全曲を繰り返し再生することになります。

メモ

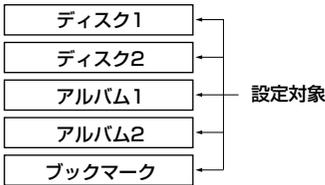
- "Style All"を設定しているとき、ディスプレイをタイトルの表示にしておくと、ディスクが変わる際に、わずかに音が途切れる場合があります。このような場合はTEXT/TIMEボタンを押してタイトル表示を時間表示に切り替えてください。(P.11参照)
- 複数のディスクにまたがって長時間録音されたものを、連続して再生するには"Style All"に設定してください。

■ "Style Group"を確定した場合

ディスプレイのGインジケータが点灯します。



HDD上に記録されているグループ(ディスク、アルバムおよびブックマーク)のうち、どれかひとつにのみランダム再生、全曲リピート再生、イントロ再生の設定が適用されます。



- ランダム再生設定時は、指定したグループに記録されている曲をランダムに選択して再生します。
- 全曲リピート再生設定時は、指定したグループに記録されている全曲を繰り返し再生します。
- イン트로再生設定時は、指定したグループに記録されている全曲の最初の部分だけを次々に再生します。

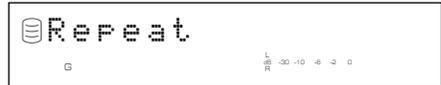
例えば、ディスク1を再生中に全曲リピート再生を設定すると、ディスク1に記録されている全曲を繰り返し再生することになります。

聞きたい曲を繰り返し聞く (1曲リピート再生)

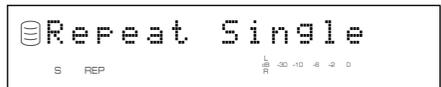
指定した1曲、または再生中の曲を繰り返し再生します。

■ 1曲リピート再生を設定する

1. HDDボタンまたはCDRボタンを押して、操作するドライブを選択します。
2. MODEボタンを押して、再生モードの設定に入ります。
3. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Repeat”を選択します。



4. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、1曲リピート再生の設定に入ります。
5. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Repeat Single”を選択します。



6. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、確定します。
ディスプレイのS REPインジケータが点灯します。



メモ

- リモコンのREPEATボタンを1回押すだけで、簡単に1曲リピート再生を設定することもできます。
- アルバム再生中やランダム再生中でも、再生中の曲がリピートされます。

■ 1曲リピート再生の設定を解除する

『1曲リピート再生の設定をする』の手順5で、“Repeat Off”を選択して確定するか、リモコンのREPEATボタンをS REPインジケータが消灯するまで押してください。

再生

すべての曲を繰り返し聞く (全曲リピート再生)

1つのグループ(1枚のCD)に記録されているすべての曲、または1つのカテゴリーに記録されているすべての曲を繰り返し再生します。

■ 全曲リピート再生を設定する

1. HDDボタンまたはCDRボタンを押して、操作するドライブを選択します。
2. MODEボタンを押して、再生モードの設定に入ります。
3. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Repeat”を選択します。



4. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、全曲リピート再生の設定に入ります。
5. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Repeat Full”を選択します。



6. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、確定します。
ディスプレイのREPインジケータが点灯します。



メモ

- リモコンのREPEATボタンを2回押すだけで、簡単に全曲リピート再生を設定することもできます。
- ランダム再生中は、ランダムに選択された曲を同じ順序で繰り返し再生します。

■ 全曲リピート再生の設定を解除する

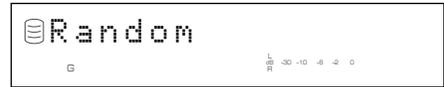
『全曲リピート再生の設定をする』の手順5で、“Repeat Off”を選択して確定するか、リモコンのREPEATボタンをREPインジケータが消灯するまで押してください。

順不同に聞く(ランダム再生)

本機では、HDD上のグループに記録された曲や、CD内の曲を順不同に(ランダムに)選択して聞くことができます。

■ ランダム再生の設定をする

1. HDDボタンまたはCDRボタンを押して、操作するドライブを選択します。
2. MODEボタンを押して、再生モードの設定に入ります。
3. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Random”を選択します。



4. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、ランダム再生の設定に入ります。
5. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Random On”を選択します。



6. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、確定します。
ディスプレイのRNDMインジケータが点灯します。



メモ

- リモコンのRANDOMボタンを押すだけで、簡単にランダム再生を設定することもできます。
- 再生中にランダム再生の設定をすると、次の曲から設定が適用され、ランダム再生となります。

■ ランダム再生を開始する

ランダム再生の設定が終わったら、▶/00ボタン(リモコンでは▶ボタン)を押して、ランダム再生を開始します。

■ ランダム再生を停止する

□ボタンを押します。

■ ランダム再生の設定を解除する

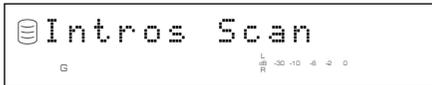
『ランダム再生の設定をする』の手順5で、“Random Off”を選択して確定するか、リモコンのRANDOMボタンを押してください。ディスプレイのRNDMインジケータが消灯します。

曲の最初の部分だけを聞く (イントロ再生)

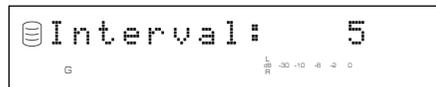
曲の最初の部分を指定した時間分だけ、次々に再生します。

■ イントロ再生を設定する

1. HDDボタンまたはCDRボタンを押して、操作するドライブを選択します。
2. MODEボタンを押して、再生モードの設定に入ります。
3. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、"Intros Scan"を選択します。



4. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、イントロ再生の設定に入ります。
5. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、再生時間を指定します。
再生時間は1秒から10秒までは1秒ステップで、10秒から60秒までは5秒ステップで指定できます。



■ イントロ再生を開始する

『イントロ再生の設定をする』の手順5で再生時間を指定したあと、MULTI JOGノブを押して(リモコンではENTERボタンを押して)確定するか、▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押して、イントロ再生を開始します。

メモ

- リモコンのINTROボタンを押すだけで、簡単にイントロ再生を開始することもできます。
- 1曲リピート再生中は、指定された曲の最初の部分を繰り返し再生します。
- "Style Group"設定時で全曲リピート再生中は、指定されたグループに記録されている全曲の最初の部分を繰り返し再生します。
- "Style All"設定時で全曲リピート再生中は、指定されたグループが属するカテゴリーに記録されている全曲の最初の部分を繰り返し再生します。
- ランダム再生中は、ランダムに選択された曲の最初の部分を再生します。

■ イントロ再生を停止する

□ボタンを押します。

■ イントロ再生の設定を解除する

リモコンのINTROボタンを押してください。

聞きたい曲を好きな順に聞く

ブックマークをつけた曲のリストを再生時に選択すれば、簡単に聞きたい曲を再生できます。

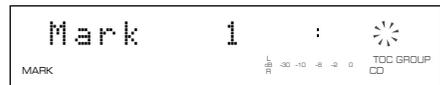
■ ブックマークをつける

聞きたい曲の再生中に、TRACK NO./BOOKMARKボタン(リモコンではBOOKMARK)ボタンを押します。曲順は、ブックマークをつけた順番となります。詳しくは、P.59『ブックマークについて』を参照ください。

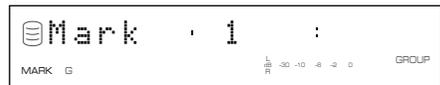
■ ブックマーク再生を開始する

1. HDDボタンまたはCDRボタンを押して、操作するドライブを選択します。
2. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押して、ディスプレイにGROUPインジケータを点灯させます。
3. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、"Mark"を選択します。

CDの場合



HDDの場合



4. 再生を開始します。

▷/00ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、一曲目の最初から再生が始まります。

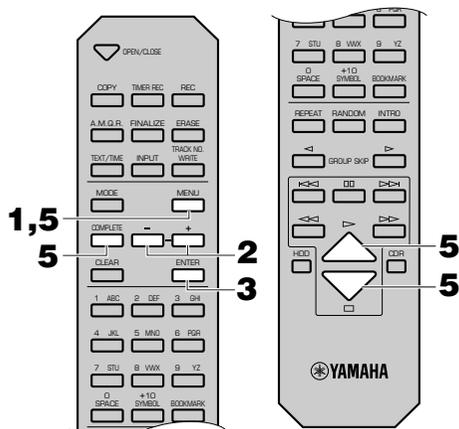
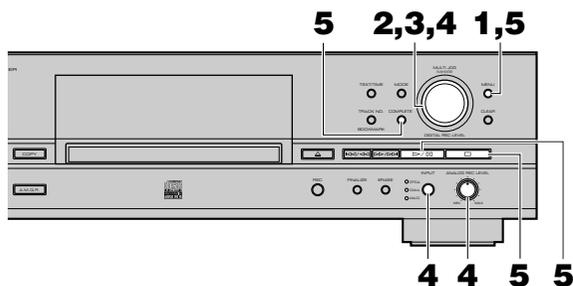
メモ

- 再生される順番は、ブックマークをつけた順番となります。
5. 再生を一時停止するには、▷/00ボタン(リモコンでは00ボタン)を押します。
再生を再び始めるには、▷/00ボタン(リモコンでは▷または00ボタン)を押します。

再生

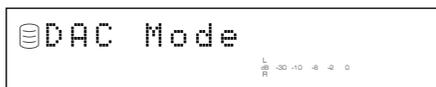
DAC(デジタル/アナログ変換)モード

本機にはDACモード機能があります。この機能を使うと、入力セクターのように、入力信号を切り替えて、アナログ/デジタル両出力端子から接続先のアンプに出力することができます。



1. 停止状態でMENUボタンを押します。
ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。

2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“DAC Mode”を選択します。



3. MULTI JOGノブを押すと(リモコンではENTERボタンを押すと)、DACモードに入ります。

4. INPUTボタンで選択した入力ソースが、アナログ/デジタル両出力端子から出力されます。

- OPTICAL、COAXIAL を選択しているときは、MULTI JOGノブがボリュームツマミとして機能します。
- ANALOG を選択しているときは、ANALOG REC LEVELツマミがボリュームツマミとして機能します。

5. 以下の操作でDACモードは解除され、操作に応じた通常動作になります。

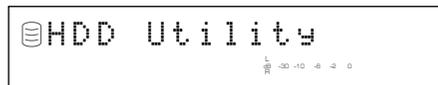
- ▷/⏮ボタン(リモコンでは▷ボタン)を押すと、DACモードに入る前に選択していたドライブを再生します。
- □ボタンを押すと、停止状態になります。
- COMPLETEボタンを押すと、停止状態になります。
- MENUボタンを押すと、メニュー項目の選択に戻ります。

HDDユーティリティ

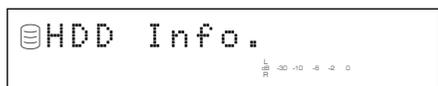
■ HDDの容量を確認する(HDD Info.)

本機に搭載のHDDの容量(全容量、使用量、残容量)を確認することができます。

1. 停止状態でMENUボタンを押します。
ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“HDD Utility”を選択します。

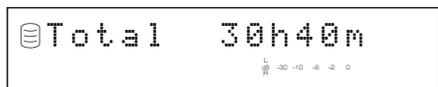


3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押すと、“HDD Info.”と表示されます。

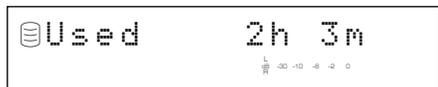


4. もう一度MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押すと、HDDの全容量が表示されます。
MULTI JOGノブを回すと(リモコンで+、-ボタンを押すと)、以下のように表示が変わります。表示は時間単位です。

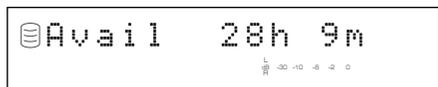
全容量(総時間)



使用量(既記録総時間)



残容量(記録可能時間)



メモ

- 表示される時間は概算値です。

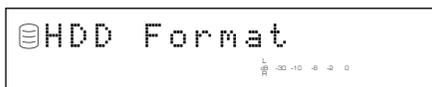
■ HDDをフォーマットする(HDD Format)

本機に搭載のHDDをフォーマットし、初期状態に戻します。

ご注意

- フォーマットすると、記録されていたすべての曲データおよび各設定が消去され、初期状態になります。
- フォーマットすると、HDD上のすべてのデータを初期化しますので、編集操作の取り消しはできません。

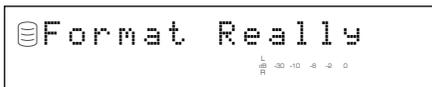
1. 停止状態でMENUボタンを押します。
ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“HDD Utility”を選択します。
3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押します。
ディスプレイがHDDユーティリティ項目選択の表示になります。
4. MULTI JOGノブを回して(リモコン+、-ボタンを押して)、“HDD Format”を選択します。



5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押すと、“Initialize ?”と表示されます。



6. \triangleright /00ボタン(リモコンでは \triangleright ボタン)を押すと、確認のため、“Format Really”と表示されます。



フォーマットしても良い場合は、INPUTボタンを、フォーマットをやめる場合はROボタンを押してください。

7. INPUTボタンを押すと、“Format OK”の表示になり、その後電源を入れたときの表示になります。

ご注意

- 新品のHDDを取り付けた場合のフォーマット方法は、上記手順とは異なります。添付の別紙を参照ください。

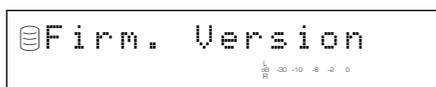
■ ファームウェアのバージョンを確認する (Firm. Version)

本機にはファームウェアと呼ばれる、操作を制御するソフトウェアが組み込まれています。以下はそのファームウェアのバージョン確認の手順です。

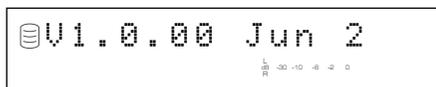
1. 停止状態でMENUボタンを押します。
ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、"Sys. Utility"を選択します。



3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押すと、"Firm. Version"と表示されます。



4. もう一度MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押すと、ファームウェアのバージョン情報がディスプレイに表示されます。

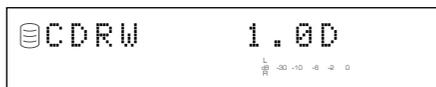


MULTI JOGを回すと(リモコンでは+、-ボタンを押すと)、システムのファームウェアバージョン→CDRドライブのファームウェアバージョン→HDDの種類の順番で表示されます。

システムのファームウェアバージョン



CDRドライブのファームウェアバージョン



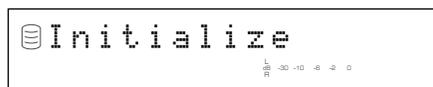
HDDの種類



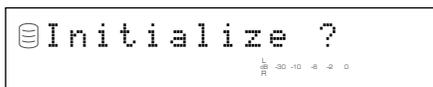
■ 各設定を初期設定に戻す (Initialize)

各種メニュー等で、設定変更した項目を初期設定に戻します。また、本機が記憶しているOPCデータも初期化します。

1. 停止状態でMENUボタンを押します。
ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、"Sys. Utility"を選択します。
3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押します。
ディスプレイがシステムユーティリティ項目選択の表示になります。
4. MULTI JOGノブを回して(リモコン+、-ボタンを押して)、"Initialize"を選択します。



5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押すと、"Initialize ?"と表示されます。

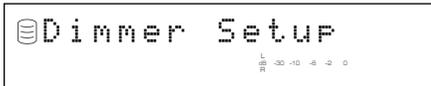


6. COMPLETEボタンを押します。
電源を入れたときの表示になり、各設定を初期設定値に戻します。

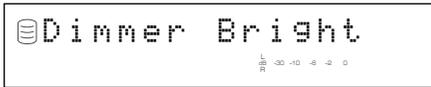
■ ディスプレイの明るさ設定(Dimmer Setup)

ディスプレイの明るさを設定します。

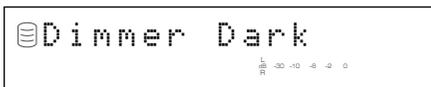
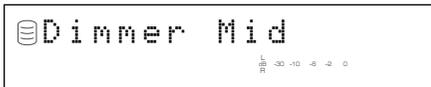
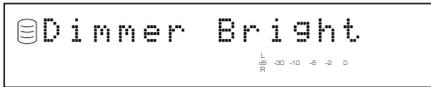
1. 停止状態でMENUボタンを押します。
ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Sys. Utility”を選択します。
3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押します。
ディスプレイがシステムユーティリティ項目選択の表示になります。
4. MULTI JOGノブを回して(リモコン+、-ボタンを押して)、“Dimmer Setup”を選択します。



5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押すと、現在の設定が表示されます。



MULTI JOGノブを回すと(リモコンでは+、-ボタンを押すと)、表示と明るさが3段階で変わります。



メモ

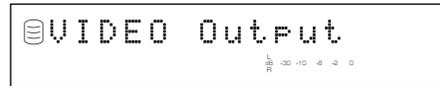
- 初期設定は“Dimmer Bright”になっています。

6. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押すか、COMPLETEボタンを押します。
ディスプレイの明るさが設定されます。

■ ビデオ出力の設定(VIDEO Output)

オンスクリーン表示の出力をオン/オフします。

1. 停止状態でMENUボタンを押します。
ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Sys. Utility”を選択します。
3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押します。
ディスプレイがシステムユーティリティ項目選択の表示になります。
4. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“VIDEO Output”を選択します。



5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押すと、現在の設定が表示されます。



MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、オン/オフを切り替えます。

メモ

- 初期設定は“VIDEO On”になっています。

6. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押すか、COMPLETEボタンを押します。
ビデオ出力のオン/オフが設定されます。

メモ

- “VIDEO Off”に設定すると、内部のビデオ回路も動作停止状態になります。より高音質で、録音や再生を楽しむことができます。

■ オートプレイの設定(Auto Play)

本機の電源が入ると、自動的に再生を始めるオートプレイ機能を設定します。

1. 停止状態でMENUボタンを押します。
ディスプレイがメニュー項目選択の表示になります。
2. MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、“Sys. Utility”を選択します。
3. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押します。
ディスプレイがシステムユーティリティ項目選択の表示になります。
4. MULTI JOGノブを回して(リモコン+、-ボタンを押して)、“Auto Play”を選択します。



5. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押すと、現在の設定が表示されます。



MULTI JOGノブを回して(リモコンでは+、-ボタンを押して)、オン/オフを切り替えます。

メモ

- 初期設定は、“Auto Play Off”になっています。

6. MULTI JOGノブ(リモコンではENTERボタン)を押すか、COMPLETEボタンを押します。

オートプレイのオン/オフが設定されます。
オンに設定された場合は、次に電源を入れたときに適用されます。

- 電源を切ったときに、選択されていたドライブを再生します。
- 電源を切ったときに、ランダム再生やリピート再生が設定されていた場合、その設定が適用されます。

メモ

- “Auto Play On”に設定されていても、タイマー録音を設定してある場合は、タイマー録音の設定が優先され、次に電源を入れたときは録音が始まります。タイマー録音については、P.22を参照してください。

■ ファームウェアの更新(Firm. Update)

将来の機能拡張に備えて用意されたメニューです。

オンスクリーン表示

本機にモニターを接続すると、再生するグループやトラックのリスト、コピー/録音時の設定および設定項目のリストを表示させることができます。

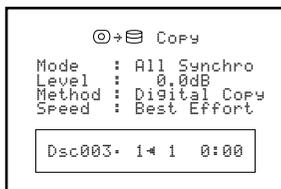
■ グループやトラックのリスト表示

グループナンバーおよびグループタイトル、またはトラックナンバーおよびトラックタイトルが表示されます。MULTI JOG ノブを押して切り替えることができます。



■ コピー時の表示

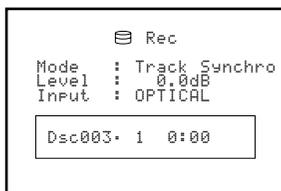
コピーするときの設定等が表示されます。



例:CDからHDDへコピーする場合

■ 録音時の表示

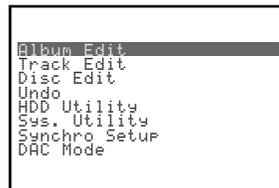
録音するときの設定等が表示されます。



例:HDDへ録音する場合

■ 設定項目のリスト表示

各種設定をするときに項目名が表示されます。



例:メニューを設定する場合

■ タイトル編集時の表示

アルバムタイトル(P.34)、トラックタイトル(P.50)、ディスクタイトル(P.57)を編集するときに表示されます。



例:トラックタイトルを編集する場合

Can't Copy

SCMSの規定により、デジタルによる録音またはコピーが禁止される場合に約3秒間表示されます。

詳しくはP.5「デジタル録音のルールとシステムについて」を参照ください。

Can't Edit

トラックやディスクを編集する際、システムの制約上、編集ができない項目を選択した場合に表示されます。

Can't Tr. Lev.

トラックのレベルが調節されているアルバムを、AudioMASTER™でCD-Rにコピーしようとした際に表示されます。

Can't use HDD

搭載されているHDDが、他のCDR-HD1300でフォーマットされたものである場合に表示されます。そのHDDを使用するCDR-HD1300を使って、P.85の手順にしたがい、フォーマットをしてください。

Change Discs!

CDのDuplicate時、CDからHDDへのコピーのステップが終了すると、録音用CD-R/CD-RWへの交換を促すため、このメッセージが表示されます。

Check Disc

CDを裏返しに入れたり、入れたCDに著しい傷があり正常に読み出せない場合や、動作中に何らかのエラーがあった場合に表示されます。CDを確認のうえ、必要に応じて交換してください。

Data Track

データが記録されているトラックを再生しようとした際に表示されます。

Disc Full

CD-R/CD-RWで、すでに録音可能時間いっぱいまで録音されていて、これ以上録音できない場合に表示されます。

Disc No.Full

HDDに記録できる最大ディスク数は999なので、これを超過してディスクを作ろうとした際に表示されます。

Drive Check

HDDまたはCDドライブになんらかの異常がある場合に表示されます。お買い上げ店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点までご相談ください。またはHDDの設定が正しくスレーブになっていない場合に、しばらく「Wait」が表示されたあと、表示されます。別紙を参照のうえ、正しくHDDを取り付けてください。

Erasing

CD-RWの各種消去中に表示されます。進行状況の目安がレベルメーター上に表示されます。

Finalize OK?

CD-R/CD-RWをファイナライズする時に、確認のため表示されます。ファイナライズする場合は▶/00ボタン(リモコンでは▶ボタン)を押してください。

Finalizing

ファイナライズ中に点滅表示されます。進行状況の目安がレベルメーター上に表示されます。

Format Really

HDDをフォーマットする時に、「Initialize ?」と表示された後、再確認のため表示されます。

HDD Full

HDDで、すでにHDDの録音可能時間いっぱいまで録音されていて、これ以上録音できない場合に表示されます。

Initialize ?

HDDのフォーマットをする時や、各設定を初期設定に戻す時に、確認のため表示されます。

Invalid Mode

タイマー録音の設定時に選択できない録音モードを選択している場合に表示されます。

New Disc

新品のCD-R/CD-RWを本機に入れたときや、ディスク消去、全曲消去したCD-RWを本機に入れたときに表示されます。

No Data

HDD上に録音されている曲(データ)が全くない場合、状態では表示されます。

No Disc

ディスクトレイにCDが入っていない場合に表示されます。

No Enough Spc

コピーする際、コピー先の容量が不足したり、コピーするとトラックナンバーがいっぱいになる場合に表示されます。

No Input

デジタル入力端子に接続した外部機器から録音する際に、入力信号がない場合に表示されます。

No Previous

アルバム編集メニューの"Tr. Interval"や、トラック編集メニューの"Track Adjust"を行う際、編集しようとするトラックのひとつ前のトラックが見当たらない場合に表示されます。

No Source

コピーする際に、コピー元に何も録音されていない場合に表示されます。

Not Audio

オーディオ用ではない、PC用などのCD-R/CD-RWを本機に入れ、録音しようとした際に表示されます。

No Undo data

編集操作の取り消しができない場合に表示されます。

OPC Adjust

CD-R/CD-RWの記録面の反射に対して、本機のレーザーの強さを調節している間、表示されます。調節には通常約15秒かかりますが、種類によってはこの時間が長くなる場合があります。

Pack Before !

トラックやディスクを編集する際、Packを行わないと編集ができない項目を選択した場合に表示されます。

Reading

トレイの中に入れたCD/CD-R/CD-RWの情報を読み取る間、表示されます。読み取りには通常約10~15秒かかりますが、種類によってはこの時間が長くなる場合があります。

Slow Final OK?

CD-R/CD-RWを低速でファイナライズする時に、確認のため表示されます。ファイナライズするには▶/⏏ボタン(リモコンでは▶ボタン)を押してください。

Standby

CD-R/CD-RWに録音する際、RECボタンを押すとしばらくの間点滅します。

TEXT Save?

コピー可能なディスクタイトル、トラックタイトル、アルバムタイトルを含むデータをCD-R/CD-RWにコピーした場合、ファイナライズせずにディスクトレイを開けようとする则表示されます。

Timer Standby

タイマー録音の設定が完了すると表示されます。また、タイマー録音の開始前に、約5秒間点滅します。

Track No.Full

ひとつのディスクに記録できる最大トラック数は99なので、これを超過してトラックを作ろうとした際に表示されます。

Unavailable

AudioMASTER™でコピーする際に、74分または79分以外のCD-Rや4倍速の書き込みに対応していないCD-Rを本機に入れた場合、あるいはCD-RWを本機に入れた場合に表示されます。

Unrecordable

録音可能でないCD-R/CD-RWにコピーまたは録音しようとした場合、あるいは容量いっぱいの状態のHDDにコピーまたは録音しようとした場合に表示されます。

Wait

CD-R/CD-RWに録音する際、▶ボタンを押して停止すると、ディスク情報をPMA(Program Memory Area)に書き込みます。書き込みの間、この表示が点滅します。またはHDD上のデータを処理している間や起動時にHDDの検出に時間がかかる場合、この表示が点滅します。

故障かな?と思ったら

ご使用中に本機が正常に動作しなくなった場合は、下記の点をご確認ください。下記以外で異常が認められた場合や、対処しても正常に動作しない場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買上店または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点にお問い合わせ、サービスをご依頼ください。

症状	原因	対応
POWERスイッチを押しても電源が入らない。	電源プラグの差し込みが不完全。	電源プラグをコンセントにしっかり差し込み直してください。
CDを再生できない。	レーザーピックアップのレンズが結露している。	電源を切り、約20~30分経ってから、電源を入れ直して再生を始めてください。
	CDが裏がえしにセットされている。	CDのレーベル面を上にして入れてください。
	CDがひどく汚れている。	クリーニングしてください。
CDの再生が始まるのに時間がかかる。違った場所から再生が始まる。	CDに傷がある、または壊れている。	CDを確認してください。 CDを交換してください。
録音・コピーができない。	CD-R/CD-RWがファイナライズされている。	ファイナライズ前の録音可能なCD-R/CD-RWを入れてください。
	すでに録音が完了しているCD-R/CD-RWを入れた。	録音可能なCD-R/CD-RWを入れてください。
	INPUTボタンの位置が適切でない。	INPUTボタンを入力信号に合った位置にしてください。
	デジタルコピーしたソースをデジタルで録音またはコピーしようとしている。	録音するにはアナログに切り替える。
	HDD上のディスクや、CD-R/CD-RWに録音可能な残り時間が足りない、またはすでに99曲録音されている。	CD-R/CD-RWの場合は、録音可能なものと交換してください。HDDの場合は、他のディスクを選択してください。
	HDDの残量がなくなっている。	不要なものを消去して、HDD上にスペースを確保する。
	録音中に電源コードがはずれたり、電源が切れて、録音したものが消失した。	CD-Rの場合は、新しいものに交換して、CD-RWの場合は、最初から録音し直してください。
	CD-R/CD-RWが汚れている、または壊れている。	CD-R/CD-RWをクリーニング、またはCD-R/CD-RWを交換してください。
HDDが取り付けられていない。	添付の別紙を参照のうえ、別途お買い求めいただいたHDDを正しく取り付けてください。	
コピー時に振動や、大きな回転音がする。	本機はCD/CD-R/CD-RWを高速回転させて、コピーします。	コピー速度を落として、コピーしてください。
HDD上のひとつのディスクに100分以上の連続録音ができない。	ひとつのディスクの最大録音時間は99分59秒です。	録音モードにかかわらず、録音時間が99分59秒を超えると、自動的に次の空いているディスクに連続して録音します。
デジタル接続したアンプで曲の始まりの部分が途切れる。	エンファシスの異なったソースを録音したトラックを再生している。	本機のアナログ出力端子を使用してアンプに接続してください。
ディスクが切り替わる際に、音が途切れる。	ディスクをまたいで録音した部分を再生中、ディスプレイがタイトル表示になっている。	TEXT/TIMEボタンを押して、時間表示に切り替えてください。
録音したCD-R/CD-RWが、本機以外のCDプレーヤーやDVDプレーヤーで再生できない。	お使いのCDプレーヤーやDVDプレーヤーがCD-R/CD-RWに対応していない。	CD-R/CD-RWに対応しているCDプレーヤーやDVDプレーヤーをご使用ください。
	CD-R/CD-RWがファイナライズされていない。	CD-R/CD-RWをファイナライズしてください。
音飛びがする。	本機またはソース側の機器が振動やショックを受けている。	設置場所を変えてください。 (何らかの振動やショックによって、すでにソース自体が正しく録音されていない場合を除く。)
	CDがひどく汚れている。	クリーニングしてください。
ブーンというハム音がする。	正しく接続されていない。	ステレオピンケーブルをしっかりと接続してください。 ステレオピンケーブルを交換してください。
正常に動作しない。	内部マイコンの動作が停止している。	電源を切り、1分以上経ってから、電源を入れ直してください。
ファンの音がする。	本機内部の温度が上昇している。	本機内部の温度が上昇すると、冷却用のファンが回転します。故障ではありません。
アナログレコードを録音し、トラックを編集したところ、トラックの変わり目でノイズが発生する。	アナログレコードが持っているワウフラッター等で、非常に低い周波数成分がノイズとなっている。	短いフェードイン、またはフェードアウトをトラックに付加することで、改善することができます。

症状	原因	対応
リモコンで操作できない。	リモコンの乾電池が消耗している。	2本とも新しい乾電池に交換してください。
	本機から遠いところでリモコン操作している。 受光部に向けてリモコン操作していない。	リモコン受光部から6m、60度の範囲内でリモコン操作してください。
	受光部に強い日光や照明(インバータ蛍光灯など)が当たっている。	リモコン受光部に強い光が当たらないように本機の設置場所や方向、または照明の位置を工夫してください。
リモコンを使うとテレビが正常に機能しない。	リモコン受光部の付いているテレビの近くでリモコンを使用している。	本機をテレビから離れた場所に設置してください。テレビのリモコン受光部を隠してください。
テレビの画像が乱れる。	室内アンテナを使用している。	屋外アンテナを使用するか、テレビと離して設置してください。
HDDが選択できない。	HDDが正しく取り付けられていない。	添付の別紙を参照のうえ、別途お買い求めいただいたHDDを正しく取り付けてください。
	新しく取り付けたHDDが、取り付けたCDR-HD1300でフォーマットされていない。	HDDを取り付けたCDR-HD1300でフォーマットしてください。
"Drive Check"と表示される。	HDDが正しくスレーブに設定されていない。	HDDに記載されている設定方法を参照して、正しくスレーブに設定してください。

製品情報のご案内

ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページには、最新の製品情報等が掲載されています。ご活用ください。

ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ:
<http://www.yamaha.co.jp/audio/>

仕様

■ オーディオ部

周波数特性	5~20,000 Hz、±0.5 dB
S/N比(EIAJ)	
再生	105 dB
録音	92 dB
高周波歪率(1 kHz)	
再生	0.004 %
録音	0.006 %
ダイナミックレンジ	
再生	99 dB
録音	92 dB

■ 入力端子

アナログ入力(REC)端子	
形状	ピンジャック
標準入力レベル	500 mV/24 kΩ
デジタル入力(OPTICAL)端子	
形状	光端子
デジタル入力(COAXIAL)端子	
形状	同軸
標準入力レベル	0.5 Vp-p(75 Ω)

■ 出力端子

アナログ出力(PLAY)端子	
形状	ピンジャック
標準出力レベル(1 kHz、0 dB)	2.0 ± 0.5 Vrms
デジタル出力(OPTICAL)端子	
形状	光端子
デジタル出力(COAXIAL)端子	
形状	同軸
標準出力レベル	0.5 Vp-p(75 Ω)
PHONES端子	
標準出力レベル(150 Ω、-20 dB)	
	300 mV/150 Ω

■ 一般

電源	AC 100V、50/60 Hz
消費電力	32 W
動作環境	
温度	+5~35°C
湿度	30~90 %RH(結露ないこと)
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	435×115.5×414.5 mm
質量	7.8 kg(HDD含まず)

仕様および外観は改良のため変更することがあります。



音楽を楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまいます。適当な音量を心がけ、窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。

ヤマハホットラインサービスネットワーク

ヤマハホットラインサービスネットワークは、本機を末永く、安心してご愛用いただけるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

- **保証期間**
お買上げ日より1年間です。
- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。
- **修理料金の仕組み**
 - ◆ **技術料** 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
 - ◆ **部品代** 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
 - ◆ **出張料** 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。
- **補修性能部品の最低保有期間**
補修性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年(テープデッキは6年)です。補修性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- **持ち込み修理のお願い**
故障の場合、お買上げ店、または最寄りのヤマハ電気音響製品サービス拠点へお持ちください。
- **製品の状態は詳しく**
サービスをご依頼なさるときは製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品番、製造番号などもあわせてお知らせください。
※ 品番、製造番号はAV製品の背面もしくは底面に表示してあります。
- **スピーカーの修理**
スピーカーの修理可能範囲はスピーカーユニットなど振動系と電気部品です。尚、修理はスピーカーユニット交換となりますので、エージングの差による音色の違いが出る場合があります。
- **摩耗部品の交換について**
本機には使用年月とともに性能が劣化する摩耗部品(下記参照)が使用されています。摩耗部品の劣化の進行度合は使用環境や使用時間等によって大きく異なります。
本機を末永く安定してご愛用いただくためには、定期的に摩耗部品を交換されることをお勧めします。
摩耗部品の交換は必ずお買上げ店、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご相談ください。

摩耗部品の一例

ボリュームコントロール、スイッチ・リレー類、接続端子、ランプ、ベルト、ピンチローラー、磁気ヘッド、光ヘッド、モーター類など

※ このページは、安全にご使用いただくためにAV製品全般について記載しております。

■ ヤマハAV製品の機能や取扱いに関するお問い合わせ

お客様ご相談センター

TEL (0570) 01 - 1808 (ナビダイヤル)

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHSからは下記番号におかけください。

TEL (053) 460 - 3409

FAX (053) 460 - 2777

住所 〒430-8650

静岡県浜松市中沢町 10-1

ご相談受付時間 10:00~12:00, 13:00~18:00

(日・祝日及び弊社が定めた日は休業とさせていただきますのであらかじめご了承ください。)

■ ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

(ヤマハ電気音響製品サービス拠点)

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内
TEL (011) 512 - 6108

仙台 〒984-0015 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F
TEL (022) 236 - 0249

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1番1号
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
TEL (03) 5762 - 2121

浜松 〒435-0016 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場内
TEL (053) 465 - 6711

名古屋 〒454-0058 名古屋市中区玉川町2-1-2
ヤマハ(株)名古屋流通センター3F
TEL (052) 652 - 2230

大阪 〒565-0803 吹田市新芦屋下1-16
ヤマハ(株)千里丘センター内
TEL (06) 6877 - 5262

広島 〒731-0113 広島市安佐南区西原6-14-14
TEL (082) 874 - 3787

四国 〒760-0029 高松市丸亀町8-7
(株)ヤマハミュージック神戸 高松店内
TEL (087) 822 - 3045

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL (092) 472 - 2134

愛情点検



★永年ご使用のAV製品の点検を！

こんな症状はありませんか？

- 電源コード・プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 電源コードに深いキズか変形がある。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても正常に作動しない。
- その他の異常・故障がある。



すぐに使用を中止してください。

事故防止のため電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 浜松市中沢町10-1

ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページ
<http://www.yamaha.co.jp/audio/>



HDDの取り付けについて

お問い合わせいただいたCDR-HD1300Iにはハードディスク(HDD)が搭載されていません。内蔵型HDDを別途お問い合わせの上、下記手順にしたがって、正しく取り付けてください。

■ HDDの必要条件

インターフェース IDE/ATAタイプ
データ転送モード PIOモード0~4および
マルチワードDMAモード0~2対応
サイズ 3.5インチタイプ
容量 20~137GB

■ 取り付け手順

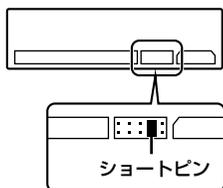
取り付けの前に

- 必ず電源を切って、電源コードをコンセントから抜いてください。
- すべての接続を外してください。
- HDDをSLAVE(スレーブ)に設定してください(下記参照)。

HDDのMASTER(マスター)とSLAVE(スレーブ)の設定について

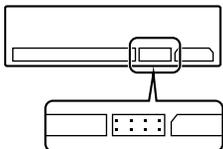
IDE/ATAタイプのHDDはお使いになる機器と接続するときに、MASTERまたはSLAVEに設定する必要があります。本機で使用する場合は、SLAVEに設定すると作動するように設計されています。設定方法については、通常HDD本体に記載されています。

例: Western Digital社製WD800ABの場合



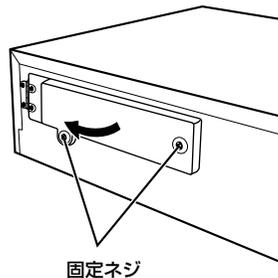
ジャンパースイッチの右から2番目の位置にショートピンを差し込むとSLAVEに設定される

例: Seagate社製ST340810Aの場合



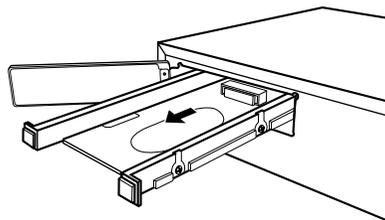
ショートピンをどの位置にも差し込まないとSLAVEに設定される

1. リアパネルのHDDスロットドア固定ネジ2本をゆるめ、HDDスロットドアを開きます。



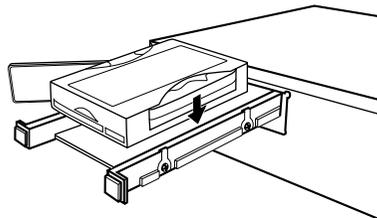
2. HDDトレイを引き出します。

- IDEケーブルや電源ケーブルをHDDトレイに引っ掛けないようにご注意ください。
- HDDトレイを無理に引っ張ったり、過度の力を加えないでください。

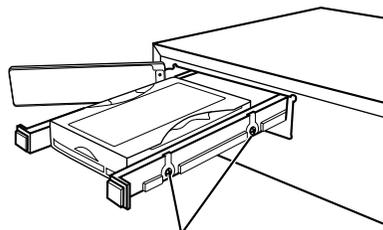


3. HDDをトレイに置きます。

- HDDは衝撃に弱い機器ですので、振動や衝撃を加えないようご注意ください。



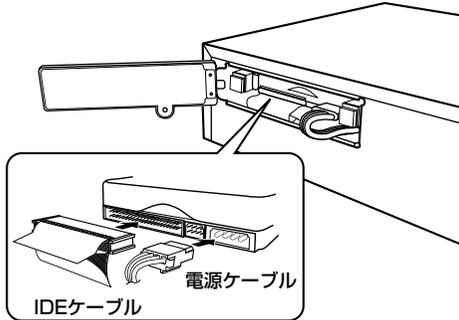
4. HDD固定ネジ4本をしめます。



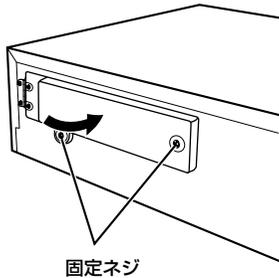
■ 取り付け手順 (つづき)

5. HDDトレイを奥に押し込み、IDEケーブルと電源ケーブルを差し込みます。

- 端子とコネクターの向きが正しいか確認のうえ、しっかりと差し込んでください。
- 静電気により、HDDが破損する場合がありますので、HDDのターミナルピンや基板に触れないようにご注意ください。
- HDDトレイを無理に押し込んだり、過度の力を加えないでください。



6. HDDスロットドアを閉じて、HDDスロットドア固定ネジ2本をしめます。



■ HDDのフォーマット手順

新品のHDDを取り付けた場合は、本機で使用する前にHDDをフォーマットする必要があります。

1. 電源コードをコンセントに接続し、電源を入れます。
ディスプレイには"Format Start?"と表示されます。
2. >/00ボタンを押します。
ディスプレイには"Format Really"と表示されます。
3. >/00ボタンを押します。
ディスプレイには"Push PLAY KEY"と表示されます。
4. >/00ボタンを押します。
"Wait"が点滅し、しばらくするとフォーマットが始まります。フォーマットが完了するまで約15秒かかります。
5. フォーマットが完了すると"Format OK"と表示され、その後電源を入れた時の表示になり、本機で 사용할 ことができます。

メモ

- お使いのCDR-HD1300ですでにフォーマットされているHDDを取り付けた場合、フォーマットは不要です。ただし、他のCDR-HD1300で使用していたHDDを取り付けた場合は、取扱説明書のP.85の手順でフォーマットする必要があります。

■ 推奨HDDについて

弊社で動作確認を行ったHDDは以下の通りです。
(2002年6月現在)

メーカー名	シリーズ名/品番	容量
Seagate	U6シリーズ/ST340810A	40GB
	U6CEシリーズ/ST340810ACE	
	BARRACUDA ATA IVシリーズ/ ST380021A	80GB
Western Digital	Caviarシリーズ/WD800AB	

※推奨HDDについては、ヤマハオーディオ&ビジュアルホームページまたはお客様ご相談センターでもご案内しています。取扱説明書の『製品情報のご案内』を参照ください。

※本書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。